

学年暦

	B	月	火	水	木	金	±
			1	2	3	4	5
			オリエン テーション I	オリエン テーションⅡ	健康診断 (1・4 年生)	健康診断 (2・3 年生)	入学式
	6	7	8	9	10	11	12
		1	聖中高入学式	①	①	1	1)
1	13	14	15	16	17	18	19
4 月		2	①	2	2	2	2
	20	21	22	23	24	25	26
		3	2	3	3	3	3
	27	28	29	30			
		4	③ 昭和の日				

	Ħ	月	火	水	木	金	±
					1	2	3
							憲法記念日
	4	5	6	7	8	9	10
	みどりの日	こどもの日	④ 振替休日	4	4	4	4
_	11	12	13	14	15	16	17
5 月		(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)
	18	19	20	21	22	23	24
		6	6	6	6	6	6
	25	26	27	28	29	30	31
		7	7	7	7	7	7

	Ħ	月	火	水	木	金	±
	1	2	3	4	5	6	7
		8	8	(8)	(8)	8	8
	8	9	10	11	12	13	14
		9	9	9	9	9	9
6	15	16	17	18	19	20	21
月		10	10)	10)	10)	10)	10
	22	23	24	25	26	27	28
		11)	11)	(1)	11)	11)	0)
	29	30					
		12					

[・]丸数字の日程で授業を行います。 ・補講は、土曜日に実施することもあります。

	B	月	火	水	木	金	±
			1	2	3	4	5
			12)	12)	12	12)	(2)
	6	7	8	9	10	11	12
		13)	(13)	(13)	13	13)	(3)
7	13	14	15	16	17	18	19
7 月		(14)	(14)	(14)	14)	14)	(4)
	20	21	22	23	24	25	26
		15 海の日	(15)	(15)	15	15	(15)
	27	28	29	30	31		
		補講日	定期試験 I	定期試験Ⅱ	SRC		

	E	月	火	水	木	金	±
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
			追試験				
Ω	10	11	12	13	14	15	16
月		山の日					
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

	目	月	火	水	木	金	±
	8月31日	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
0	14	15	16	17	18	19	20
月		敬老の日			オリエン テーション	1	1)
	21	22	23	24	25	26	27
		①	① 秋分の日	1	1	2	2
	28	29	30				
		2	2				

	B	月	火	水	木	金	±
				1	2	3	4
				2	2	3	3
	5	6	7	8	9	10	11
		3	3	3	3	4)	4
10	12	13	14	15	16	17	18
月		④ スポーツの日	4	4	4	(5)	(5)
	19	20	21	22	23	24	25
		(5)	(5)	(5)	(5)	多摩祭準備日	多摩祭
	26	27	28	29	30	31	
	多摩祭片付け日	6	6	6	6	6	

	E	月	火	水	木	金	±
							1
							6
	2	3	4	5	6	7	8
		文化の日	7	7	7	7	7
11	9	10	11	12	13	14	15
11 月		7	業界研究セミナー	(8)	(8)	(8)	8
	16	17	18	19	20	21	22
		(8)	8	9	9	9	9
	23	24	25	26	27	28	29
	勤労感謝の日	⑨ 振替休日	9	10	10)	10)	10

	日	月	火	水	木	金	±
	11月30日	1	2	3	4	5	6
		10	10	(1)	(1)	11)	(1)
	7	8	9	10	11	12	13
		(1)	11)	12)	(12)	(12)	AL 発表祭
12	14	15	16	17	18	19	20
12 月		(12)	12)	13)	(13)	(13)	12
	21	22	23	24	25	26	27
		(13)	13)				
	28	29	30	31			

	E	月	火	水	木	金	±
					1	2	3
					元旦		
	4	5	6	7	8	9	10
		(14)	(14)	(14)	14)	(14)	(13)
1	11	12	13	14	15	16	17
月		成人の日	(15)	(15)	15)	共通テスト準備	共通テスト
	18	19	20	21	22	23	24
	共通テスト	(15)	補講日	補講日	補講日	(15)	(14) · (15)
	25	26	27	28	29	30	31
		定期試験I	定期試験Ⅱ	SRC			

	E	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
		追試験					
	8	9	10	11	12	13	14
2月				建国記念日			
月	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
		天皇誕生日					

	B	月	火	水	木	金	±
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
2	15	16	17	18	19	20	21
3月						春分の日 卒業のつどい	
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

Contents

1.	大学概要	
	基本理念	1
	経営情報学部ディプロマポリシー	2
	経営情報学部カリキュラムポリシー	5
	学生生活	7
2.	経営情報学部で学ぶにあたって	
	授業	11
	初年次教育科目の指定について	14
	履修登録・確認・削除	15
	ホームゼミ履修登録に関する要領について	15
	ホームゼミ変更手続きについて	16
	試験	18
	成績	22
	学科選択	25
	進級要件・卒業要件、卒業見込判定、履修上限、認定科目	26
	ジョブ型人材育成コース	30
	コース・系修了要件	31
	前提科目	33
	数理・データサイエンス・AI教育プログラム	36
	教職課程	37
3.	各種制度及び補助	
	オフィスアワー制度について	42
	学生による授業評価(VOICE)について	43
	アセスメント	43
	TOEIC 試験補助について	43
	2025年度資格情報	44
4.	各種規程・規則	
	多摩大学学則(抜粋)	45
	多摩大学学生徵戒規程(抜粋)	52

	多摩大学履修規程(抜粋)	54
	多摩大学経営情報学部履修細則	56
	多摩大学外国人留学生規定(抜粋)	61
	多摩大学早期卒業規程(抜粋)	61
	多摩大学経営情報学部早期卒業細則(抜粋)	62
	多摩大学成績評価規程(抜粋)	63
	多摩大学奨学金規程(抜粋)	64
5.	カリキュラム(教育課程)	
	カリキュラム表(科目一覧)	68
	2024年度からの変更点について	80
	カリキュラムマップ	82
	カリキュラムツリー	84
	履修モデル	88
6.	教員	
	実務経験のある教員等による授業科目一覧	92

基本理念

多摩大学の設立母体である学校法人田村学園建学の精神である「質実清楚・明朗進取・感謝奉仕」を礎とした本学の基本理念は「国際性・学際性・実際性」の3つのキーワードで表現されます。

<国際性>

グローバル社会の一員として、積極的な役割を果たす人材を育成する。

<学際性>

行き過ぎた専門化の弊害を是正するため、学際的な研究・教育への取組みを重視する。

<実際性>

大学に対する「象牙の塔」批判を克服すべく、「社会に通用する大学」を標榜する。

経営情報学部ディプロマポリシー

【経営情報学部 ディプロマポリシー】

1 育成する人材

本学は「現代の志塾」を教育理念とし、グローバル化、情報化社会の進展に即応して、世界の中で大きな役割を担うことで日本の将来を背負うという自覚に基づいた強い実行力と、それぞれの地域社会の可能性に対しての広い視野を持ち、自らを厳しく律することができる高い倫理観を備えた「志」の高い「多摩グローカル人材(多摩のローカリティを究めることにより、グローバルに目を開く"グローカリティ"という思想を持つ、多摩地域の活性化をリードするグローバル人材) | を育成する。

経営情報学部では、「多摩グローカル人材」の具体像として、企業経営、情報科学に関する学術と応用を教育研究し、高度の経営情報知識と、これを支える豊かな教養とを合わせ備えた創造的、実践的な問題解決能力を有する人材を育成する。

2 学位授与方針

経営情報学部の教育課程においては、以下の学修成果目標を達成し「志」を実現できる力すなわち「学士力」を備え、学則に定める単位数などの卒業要件を満たした者に卒業を認定し、学位を授与する。

(学修成果目標)

(1)知識と理解【グローカル社会に対する理解】

基礎的な学力を養い、グローバルとローカルの関係性を意識しながら産業社会で発生する様々な問題に対処していける専門的能力を体系的に修得する。

(2)思考と判断【考え抜く力】

現状を分析して課題を明らかにできる課題発見力、課題解決に向けたプロセスを明らかにして準備できる計画力、課題に対して新たな価値や解決方法を生み出せる創造力を修得する。

(3)関心と意欲【社会の発展に貢献する力】

物事に積極的に取り組む主体性や目的に向かって周囲の人を動かしていける巻き込み力、失敗を恐れずに粘り強く行動していける実行力を身につけ、国際的ビジネスの場で活躍するとともに、わが国の産業社会の健全たる発展に貢献できるようになる。

(4)表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】

自分の意思をわかりやすく伝えることができる発信力や、聞き上手になって積極的に相手の意見を受け止められるようになる傾聴力、組織の中で自分がどのような役割を果たすべきなのかが理解できる状況把握力や協調性を身につけることで、コミュニケーション能力を高め、所属する組織や社会の活動に貢献できるようになる。

(5)高い志【環境対応能力と先進性】

社会における多様な価値観や文化的な背景に対する理解や配慮ができる多様性や、社会のルールや約束を守ることができる規律性を身につけ、社会の発展に積極的に関与していくという高い志を確立する。

【経営情報学科 ディプロマポリシー】

1 育成する人材

経営情報学科では、「多摩グローカル人材」の具体像として、情報科学に関する学術と応用を教育研究し、 高度の経営情報知識と、これを支える豊かな教養とを合わせ備えた創造的、実践的な問題解決能力を有する 人材を育成する。

2 学位授与方針

経営情報学科では、以下の能力を身に付け、「志」を実現できる力すなわち「学士力」を備え、学則に定める単位数などの卒業要件を満たした者に卒業を認定し、学位を授与する。

- (1)社会課題に対する高い関心を持ち、情報技術を利活用して課題を発見する能力
- (2)課題を解決するために必要な専門的情報技術スキルとして、以下のうち一つ以上
 - a. 複雑で多様な情報を効率的に収集・処理し、分析・提案する能力(分析系)
 - b. 課題解決のための情報処理システムの構築・運用・管理を行う能力(開発系)
 - c. 多様な情報処理技能と論理性を持ち、適切な課題解決手法を選択する能力
- (3) 基礎的な経営学の概念を理解し、経営学の視点からも社会構造を理解する能力
- (4)人間性を信頼し、協働による課題解決を遂行できるコミュニケーション能力

【事業構想学科 ディプロマポリシー】

1 育成する人材

事業構想学科では、「多摩グローカル人材」の具体像として、企業経営に関する学術と応用を教育研究し、 高度の経営情報知識と、これを支える豊かな教養とを合わせ備えた創造的、実践的な問題解決能力を有する 人材を育成する。

2 学位授与方針

事業構想学科では、以下の能力を身に付け、「志」を実現できる力すなわち「学士力」を備え、学則に定める 単位数などの卒業要件を満たした者に卒業を認定し、学位を授与する。

- (1)社会課題に対する高い関心を持ち、経営・経済の知識を利活用して課題を発見する能力
- (2)課題を解決するために必要な経営・経済のスキルとして、以下のうち一つ以上
 - a. アジア・ユーラシアという視点でプロジェクトや組織のマネジメントができる能力(アジア・ユーラシア系)
 - b. 社会科学を基軸とした幅広い教養を深めるとともに、経営学·経済学の知識で地域社会の発展に貢献

できる能力(地域系)

- c. 経営学の考え方や理論・概念および専門的知識を体系的に理解し説明する能力(経営系)
- (3)基礎的な情報学の概念を理解し、情報の基礎的なスキルを利活用することができる能力
- (4)高いレベルのコミュニケーション能力を身につけ、グローカルな経営環境の中で発信できる能力

経営情報学部カリキュラムポリシー

【経営情報学部 カリキュラムポリシー】

経営情報学部では、「志」の高い「多摩グローカル人材」を育成するため、ディプロマポリシーで掲げた5つの学修成果目標を以下の2つの柱で構成されたカリキュラムに反映させて、学生自身が各自の「志」を実現できる「学士力」を身につけ、人間的成長を促すための教育を体系化された教育課程で実現する。

講義の成績は、一般講義科目に関してはシラバスに記載された到達目標への達成度により絶対評価で評価する。ゼミなどの演習科目に関しては、ディプロマポリシーで掲げた5つの学修成果目標を評価の視点として、ゼミ活動によりどれだけ成長できたのかを総合的に判断し評価する。

(1)ゼミを中心とした体系的な履修カリキュラム

双方向型少人数教育をゼミの形で行い、産業社会や地域社会の中で直面する問題を採り上げ、それらを分析し解決策を提案・実施する活動を通じて、問題解決の実践力を養う実学教育プログラムを展開する。

まず入学直後の1年次には、「プレゼミ」を履修する。「プレゼミ」は、今後のキャリア形成を見据えて自らの「志」を確立することと、ゼミ活動を通じて主体的学びの態度を習得することで、自らが学修計画を立てる大学での学びへのソフトランディングを図ることを目的としている。

2年次から4年次までの3年間は、担当教員の指導の下、特定の専門分野を深掘りするための演習を行う 「ホームゼミ」を履修し、問題解決能力に磨きをかけると共に、社会に対する関心を広げ、グループワークを 通じてコミュニケーション能力を高める。

「プレゼミ」と「ホームゼミ」により、卒業まで連続した4年間ゼミを実施する。

(2)実践的知識獲得のための講義カリキュラム

問題の分析・解決策提案・実践に必要な考え方や知識を幅広く学ぶため、学際性、国際性、実際性を考慮した科目群を配置する。講義内容は、知識断片の記憶を排し、どのような手法や知識がどういう問題解決に役立つかを中心に教える実学教育プログラムを展開する。

経営情報学部のカリキュラムは、豊かな人格形成の基礎となる教養と産業社会に関する基礎的な理解を得ることを目的とする「基礎科目群」と、特定の専門領域に関する問題を探求する「専門科目群」によって構成している。

1年次の段階では、基礎的な知識の習得と自らの可能性と向き合って将来の方向性を発見し「志」を固めていくことを目標に「基礎科目群」を中心に履修し、2年次以降に所属する学科とホームゼミの選択を通じて、集中的に学んでいく専門領域を確定させる。

2年次からは、「経営情報学科」と「事業構想学科」に分かれ、それぞれの学科の「専門科目群」の科目を中心に、ホームゼミ担当教員の指導の下、体系的に専門教育を実施する。

また、「多摩グローカル人材」となるためには、実体験に基づく実社会に対する深い理解が重要なことから、一般講義科目のほか、インターンシップなどのキャリア教育科目、および課外活動や留学などの特別教育プログラムを幅広く実施する。特別教育プログラムでの学修成果については、国内のものは「アクティブ・ラーニング実践」で、海外のものは「Study Abroad」で単位の認定を行う。

【経営情報学科 カリキュラムポリシー】

経営情報学科では、必修科目である経営情報論を中心に「情報デザイン系」「分析系」「開発系」の各科目群の選択必修科目を履修することで、情報技術や情報処理の知識や技術を学び、実践的な活用能力を身に付ける。また、学部共通として経営理論、経営管理、マーケティング、会計、キャリアデザイン、コミュニケーションスキルに関する科目を設置している。さらに、学生の問題意識や興味に合わせて、選択科目として「アジア・ユーラシア系」「地域系」「経営系」に関する科目群を設置している。

【事業構想学科 カリキュラムポリシー】

事業構想学科では、必修科目である事業構想論を中心に「アジア・ユーラシア系」「地域系」「経営系」の各科目群の選択必修科目を履修することで、組織マネジメント、国際経済や国際ビジネス、地域ビジネスについて学び、事業を構想する力(創造的問題解決力)を身に付ける。また、学部共通として、経営理論、経営管理、マーケティング、会計、キャリアデザイン、コミュニケーションスキルに関する科目を設置している。さらに、学生の問題意識や興味に合わせて、選択科目として「情報デザイン系」「分析系」「開発系」に関する科目群を設置している。

<学科教育の特徴>

- (1) 基礎科目群と専門科目群をおき、基礎に両学科共通の、専門基礎科目群をおく。
- (2)経営情報学科は、「情報デザイン系」「分析系」「開発系」を中心に、体系的な学修となるように2~4 年次の選択必修科目を開講する。
- (3)事業構想学科は、「アジア・ユーラシア系」「地域系」「経営系」のそれぞれにおいて、体系的な学修となるように2~4年次の選択必修科目を開講する。

学生生活

(1) 多摩大学多摩キャンパスルールに関する指針

この指針は、学生を社会に送り出すため、多摩大学経営情報学部生(以下「学生」という。)が学生生活上守るべき特に必要な事項について、定めるものとする。

- 1. 学生は、学則諸規則ならびに教育方針・指導方針を守り、学生の本分に反する行為、他人に迷惑をかける行為をしてはならない。
- 2. 学生は、授業では担当教員の指示に従わなければならない。
- 3. 学生は、学生証の交付を受け、常に携帯し、本学教職員の請求があったときは、これを呈示しなければならない。また、学生証を貸与してはならない。
- 4. 学生は、「多摩大学経営情報学部の喫煙に関する細則」に基づき、許可なく構内及びキャンパスの周辺で喫煙をしてはならない。また、法律に基づき 20歳未満の者はいかなる理由があろうと喫煙をしてはならない。
- 5. 学生は、監督する教職員の届出により許可された場合を除き、構内で飲酒をしてはならない。また、 法律に基づき、20歳未満の者はいかなる理由があろうと飲酒をしてはならない。
- 6. 学生は、自動車で通学・送迎してはならない。
- 7. 学生は、バイク・自転車(特定小型原動機付き自転車を含む)で通学する場合は許可を受け、所定のルールに従わなければならない。
- 8. 学生は、入れ墨、タトゥーその他これに類する外観を有するものを公然と他人の目に触れさせてはならない。
- 9. 学生は、多摩キャンパスの施設・器物を破損または汚損した場合は大学に申し出なければならない。
- 10. 本指針に違反したものは、学則第42条に定める処分の対象とする。
- 11. 本指針の改廃は、学生委員会の議により原案を作成し、教授会の議を経て学長が行う。

附則

この指針は、2022年11月1日から施行する。

<別表>

違反回数	対応	
1 回目	注意・指導の上、保証人等への文書による通知	
2回目	学則第 42条による停学処分	

(2) 学生証

学生証は本学学生の身分を証明する重要なものです。請求のあったときにはいつでも提示できるよう、常に 携帯してください。

《提示が必要なとき》

- ・試験・授業を受けるとき
 - 受けるとき・図書館へ入館するとき
- ・通学定期を購入するとき
- ・各種証明書の発行を受けるとき
- ・学割証の発行を受けるとき
- ・その他、本学教職員・交通機関係員から請求があったとき

《学生証に関する注意》

- ・他人に貸与又は譲渡してはいけません。
- ・紛失や盗難にあった場合は、直ちに学生課に届け出て、再発行(有料)の申請をするとともに、必ず最寄りの警察に届け出てください。(再発行の手続は学生課にて行ってください。)
- ・破損・汚損した場合や記載事項に変更のある場合は、学生課に届け出てください。
- ・卒業、退学等により学籍を離れるときは、直ちに学生課に返却してください。

(3)事務局窓口受付時間

平日 8:50~17:00

土曜日 8:50~12:30 ※一部、受付を行っていない部署がありますので、注意してください。 (日曜日、祝祭日、その他大学所定の休日は休業)

(4) T-NEXT(多摩大学学生ポータル)

T-NEXT は多摩大学の学生・保証人及び教職員が閲覧できる学内システムです。シラバスの閲覧、履修登録、学科選択、掲示板、講義サポート(講義資料掲示等)といった大学での重要な申請や通知を行います。T-NEXT へのログインの方法や個人のパスワード等については、入学時のオリエンテーション等にて説明を実施しています。不明な場合はメディア・サービスに問い合わせてください。

(5) 学生生活におけるルール、諸事項の確認方法について

学生の皆さんに対する伝達、連絡等は、原則としてT-NEXTのみでお知らせします。掲示した事項については、周知されたものとして取扱います。大変重要な掲示をT-NEXTで行いますので必ず毎日確認してください。また、多摩大学での学生生活に関する最新情報は、以下のサイトにて発信していますので、確認してください。

サイト名	掲載内容	URL(サイトアクセス方法)
学修支援情報サイト	授業・履修・成績・試験・ 教職課程 等	https://tamauniv-kyoumusite.com/
学籍管理 (氏名・住所等) 奨学会 たまゆに。 保険、落とし物、保健室 等		https://tamauniv.jp/

(6) 伝言・照会

電話による伝言依頼、住所、電話番号の照会等は受け付けておりません。教員と連絡が取りたい場合は、 T-NEXTシラバスに掲載されている教員のメールアドレス宛に連絡してください。

(7) 多摩大学経営情報学部の喫煙に関する細則

(趣旨)

第1条 この細則は、多摩大学学生規則第15条および、健康増進法(平成14年法律第103号)第25条(受動喫煙の防止)に基づき、多摩大学経営情報学部(以下「本学」という。)の学生が健康かつ快適にキャンパス生活を過ごせることを目的とし、必要事項を定める。

(責務)

第2条 本学の学生は、本細則に定める事項を遵守するとともに、相互に協力して、健康かつ快適に過ごせるキャンパスとなるよう務めなければならない。また、本細則の目的を達成するために本学が実施する事業 に積極的に協力しなければならない。

(禁煙)

第3条 多摩キャンパス内および通学中は特定屋外喫煙場所の喫煙を除き、禁煙とする。

2 新しいタバコ(電子タバコ、非燃焼、加熱式タバコ、無煙タバコ)を禁煙の対象とする。

(喫煙場所)

第4条 本学における「特定屋外喫煙場所」は「多摩キャンパスA棟3階階段上指定区域」に設置する。それ以外の場所の喫煙は一切禁止する。

(厳重注意)

第5条 教職員が第4条に定める喫煙場所以外での喫煙、未登録者の喫煙および吸い殻を捨てる行為を見つけた場合、当該学生に学生証の提示を求め、厳重注意を行い、学生はそれに応じなければならない。なお、教職員は速やかに学生課へ報告するものとする。

- 2 厳重注意は、必要に応じて警備員に委託することができる。
- 3 厳重注意は、所定の文書(以下「厳重注意書」という。)を当該学生に渡すことをもって行う。なお、当該学生が厳重注意書の受け取りを拒否した場合であっても、厳重注意を行ったものとみなす。

(懲戒)

第6条 厳重注意を受けた当該学生がそれにもかかわらず違反を行った場合に、学則に則り懲戒とする。

2 懲戒は、学内に告示するとともに、学生本人並びに保証人に対して通達する。

(監視カメラ)

第7条 喫煙場所周辺及び喫煙が確認された場所に監視カメラを設置する。監視カメラの映像をもとに厳重 注意を行うことができる。

2 本カメラは第6条の目的のみに利用する。

(事務所管)

第8条 この細則の事務所管は、多摩キャンパス学生課とする。

(改廃)

第9条 本細則の改廃は、学生委員会の議により原案を作成し、教授会の議を経て学長が行う。

附則

この規程は、令和3年11月1日から施行する。

附則

この規程は、令和7年2月1日から施行する。

(8) 合理的配慮について

多摩大学経営情報学部では障害の有無にかかわらず、人格と個性を尊重し合い、共に学ぶことができる大学として、障害のある学生の支援に努めています。

授業における配慮を希望する学生、配慮内容について相談したい学生は、学生課保健室に相談の申し込みを してください。

10

授業

(1) セメスター制

1年を春学期と秋学期の2学期に分けて授業を行います。そして、本学では1学期毎に授業が完結するセメスター制を導入し、半期に集中して授業を行うことにより学修効果を高めています。

原則として学期毎に15回の授業を実施します。週2回授業を行う科目もあります。授業は学年暦に従って行われ、祝日に授業を行うこともあります。

春学期:4月1日(火)から9月17日(水)まで

秋学期:9月18日(木)から翌年3月31日(火)まで

(2) 単位制

科目の履修には単位制が採用されています。単位制とは、科目毎に一定の基準により単位数が決められ、その科目を履修し、試験等に合格して単位を修得する制度です。4年間の在学を経て修得した単位数が卒業の要件として定められた基準を満たした場合に、卒業が認められます。

(3) 授業時間

授業時間は1時限90分で行います。

時 限	授業時刻		
1時限	9時00分	~	10時30分
2時限	10時40分	~	12時10分
昼休み	12時10分	~	13時00分
3時限	13時00分	~	14時30分
4時限	14時40分	~	16時10分
5時限	16時20分	~	17時50分
6時限	18時00分	~	19時30分

(4) 休講

①教員の届出による休講

担当教員が病気や学会出張等止むを得ない理由により出講できない場合には、補講・代講等の講義又は課題等への振替を行います。

②交通機関の運休による休講

交通機関の事故・ストライキ、台風・地震等自然災害による交通機関の運休が発生した場合、休講の措置を取ります。この場合は、T-NEXT又は本学ホームページにてその旨を掲示します。

③台風および大雪にともなう休講

台風や大雪等により警報が発せられた場合、休講措置をとります。この場合は、T-NEXT又は本学ホームページにてその旨を掲示します。

(5) 補講

補講は休講等に対する措置として、平常授業を補うために行うものです。学年暦に記載されている補講日や、 担当教員と調整のうえ設定された日時で補講を行います。補講が行われる科目や日時についてはT-NEXTの 掲示にて連絡します。

(6) 授業の出席・欠席・公欠に関するルール

1.授業の出席について

授業の出席確認については、原則としてICカードリーダーによる学生証の読み取りによって行うこととし、<u>学生証を忘れた場合は欠席扱いとします。</u>ただし、学生証を忘れた場合であっても、授業に参加し、授業内での課題等による平常点の対象とします。

- ・破損・紛失・盗難等によって、学生証の再発行の手続きを行ったものについては、当該授業時間内に、再発行の手続き書類を担当教員に提出することによって、出席として扱う(盗難の場合は、警察へ届け出が必須)。
- ・自宅に忘れた等の理由での、学生証の再発行手続きは受け付けない。また、同様の理由での仮学生証の発 行も行わない(仮学生証は、定期試験期間中のみの対応となる)。
- ・学生証の貸し借りによる出席の不正が判明した場合は、懲戒処分の対象となるので、学生証の貸し借りは 厳に慎むこと。

2.授業の欠席について

授業の性質に基づいて担当教員が欠席(遅刻)の扱いを定めているので、シラバスや担当教員の説明をよく確認すること。

以下に説明する、公欠扱い、及び欠席届を提出した回、学生証を忘れた回を含め、授業に出席していない回数が、1授業科目あたり3分の1を超える場合※は、原則として単位認定の対象としない。

※15回のうち6回以上、あるいは30回のうち11回以上

- ・遅刻や早退により授業を受けない時間が30分以上になる場合は欠席として扱う。
- ・遅刻あるいは早退した場合は、2回で欠席扱いとなる。
- ・履修登録期間の授業も出席回数に含まれる。
- ・学生の欠席について、事務局から担当教員に連絡することはない。

3.公欠について

下記に示す場合は公欠扱いとなるので、教務課まで問い合わせること。公欠が認められた欠席については、 欠席数に算入されないが、出席になるということではない。T-NEXT上で、公欠は「公」として表示される が、「欠席ではない」という意味である。

- ① [忌引き] 親族(一親等、二親等、もしくは配偶者の場合)の死亡に伴う行事(通夜、葬儀、告別式)に参列する場合、教務課へ申し出て、指示に従い手続きをする。(注)忌引きの対象には、四十九日等の法事・法要は含まない。
- ② 学校保健安全法に定める、学校において予防すべき伝染病罹患により欠席した場合、保健室へ申し出て、指示に従い手続きをする。
- ③ 学校保健安全法に定める、学校において予防すべき伝染病罹患の疑いにより医者(医療機関)から出校 停止の指示を受けた場合、保健室へ申し出て、指示に従い手続きをする。
- ④ 裁判員制度により、裁判員候補者として呼出しを受けた場合、または裁判員に選任された場合、教務 課へ申し出て、指示に従い手続きをする。
 - (②、③については、医師からの出校停止期間を公欠扱いとします)

公欠扱いとなった授業については、授業担当教員の指示に従うこと(課題やレポート等により、授業 担当教員が当該授業に相当する学習を課すものとします)。

[忌引きにより公欠扱いとなる期間]

下記に示す期間とします。葬儀のため遠隔の地に赴く場合には、往復に要する日数を加えた日数とします。特別な事情がある場合は起算日に関わらず、葬儀等が行われた日を含む下記期間とすることが可能

です。

- 一親等の場合は、死亡した日から起算して連続7日(休日含む)の範囲内
- 二親等の場合は、死亡した日から起算して連続3日(休日含む)の範囲内
- 配偶者の場合は、死亡した日から起算して連続7日(休日含む)の範囲内

[欠席届について]

交通機関の遅延、交通事故、教職課程に関する実習、就職活動等は公欠扱いとはならない。ただし、教職課程に関する実習、就職活動に対しては、「欠席届」を提出することで配慮の対象となる場合がある。 欠席届が提出された場合でも、「欠席」が「出席」に変わることはなく、成績評価にあたって配慮するかどうかは各授業担当教員の判断による(欠席届の提出が授業担当教員による成績評価における配慮を確約するものではない)。

(7) 授業中のマナー

本学は、学生の皆さんが安心して勉学に励むことができるよう、快適で安全な環境づくりを心がけています。 学生の皆さんが快適で楽しいキャンパスライフを送ることができるよう、下記のとおり授業中のマナー向上 にご協力をお願い致します。

- 私語
 - *授業中は控えてください。
- ・教室の入退室
 - *遅刻はしないでください。
 - *授業担当教員の断りなく途中退出はしないでください。
- ・出席
 - *代返等、出席に関する不正行為はやめましょう。

代返:学校で出欠をとる際、出席しない者に代わって出席をよそおって返事をすること。

出典 三省堂大辞林

- ・携帯電話・スマートフォン端末等の使用
 - *授業担当教員の指示・許可を得て授業のために使用する場合を除き、これらの機器の使用を禁止します。
 - *授業中は必ず電源を切るかマナーモードに設定してください。
 - *授業に関係のないイヤホンの使用は禁止します。
- ・飲食
- *原則できませんが、授業担当教員の指示に従ってください。
- ・ゴミの放置
 - *授業中や休み時間に出たゴミは、教室に放置せずゴミ箱へ入れ、教室美化に努めましょう。

(8) アクティブ・ラーニング(以下「AL」)

学生を中心とした効果的な学修を目指し、主体的な深い学びを得るため、下記のAL手法を取り入れた授業を行います。

AL手法の概要

【授業形態】

■講義:知識伝達・習得を目標とする授業 ■演習:既習知識の応用を目標とする授業

初年次教育科目の指定について

(1) 初年次教育科目について

大学での学修は、自ら資料・情報を収集し、自ら考えをまとめていく側面が強くなります。また、皆さんは「経営情報学」等の専門分野を学ぶこととなります。よって、1年生のときに、大学での学修の基礎的能力を皆さんに養ってもらいます。

このような観点から、多摩大学経営情報学部では「初年次教育科目」を指定しています。

カリキュラム上、必修科目ではない科目もありますが、「初年次教育科目」は、1年生のうちに<u>原則必ず履修</u>することになります。

※初年次教育(First-Year Experience)とは

主に大学新入生を対象にした、高校からの"円滑な移行"をはかり、学習及び人格的な成長の実現にむけて、大学での学習と生活を"成功"させるべく、総合的につくられた教育プログラム(2006,中央教育審議会大学分科会大学教育部会)

(2) 初年次教育の内容と科目の指定について

内容(カカサ充電業の上端がお切る)	科目
(中央教育審議会大学分科会大学教育部会)	★:必修科目
①大学生活への適応(大学生活、学修、対人関係等)	★プレゼミ I (③④⑥を兼ねる)
	★プレゼミⅡ (③④⑥を兼ねる)
②大学で必要な学修技術の獲得(読み、書き、批判的	★スタディースキル入門
四十十二四十 (4.4.) こい (1.4.)	ビジネス数学基礎
思考力、調査、タイムマネジメント)	ICTコミュニケーション入門
の水学十分。の法内	★プレゼミ I (①④⑥を兼ねる)
③当該大学への適応	★プレゼミⅡ(①④⑥を兼ねる)
④自己分析	★プレゼミ I (①③⑥を兼ねる)
	★プレゼミⅡ(①③⑥を兼ねる)
⑤ライフプラン・キャリアプランづくりへの導入	★ビジネススキル基礎
⑥学修目標・学修動機の獲得	★プレゼミ I (①③④を兼ねる)
①子修日信·子修到版V/25行	★プレゼミⅡ(①③④を兼ねる)
	グローカルビジネス入門
	グローバルヒストリー
	IT活用法
	ICTビジネス入門
⑦専門領域への導入	経営学入門
	マーケティングマネジメント論
	アジアと日本の歴史
	多摩学
⑦専門領域への導入	グローカルビジネス入門 グローバルヒストリー IT活用法 ICTビジネス入門 経営学入門 マーケティングマネジメント論 法学(憲法) アジアと日本の歴史

履修登録・確認・削除

(1)履修登録とは

履修登録とは、授業を受けて単位を修得するために、毎学期の始めに、各自の履修計画に基づき、シラバス、カリキュラム表、その学期の時間割表等から履修授業を決定して、履修授業の登録をする手続きのことです。履修登録を怠ったり、登録漏れや間違いがあったりした場合は、たとえ授業に出席し試験を受けたとしても単位は修得できません。従って、この手続きは、最も重要な手続きであることを認識してください。

(2)登録・確認方法

T-NEXT上から授業を登録・確認する方法により行います。なお、T-NEXTの利用に当たっては、多摩大学学内システムアカウント、及びパスワードが必要です。

(3) 履修登録・確認上の注意

- ・履修登録及び確認は、パソコン及びスマートフォン等から行ってください。 なお学内のパソコンも使用可能です。
- ・履修登録期間中(特に最終日)は学内のパソコン及び学内ネットワークの利用が混雑したり、パソコンの動作が遅くなったりすることが予想されます。登録に当たってはあらかじめ履修授業を決定した上で、十分に時間的な余裕を持って行ってください。

ホームゼミ履修登録に関する要領について

ホームゼミは卒業要件に含まれる重要な科目に位置づけられることから、これまでの運用で特例としていた 事項を含め、ホームゼミ履修登録に関わる要領を以下のとおり定めます。

- (1)ホームゼミは必修科目であることから、全学年に共通した事前履修登録科目とします。 また、学生本人から履修削除期間内に申し入れがない限りホームゼミの履修削除はできないものとします。
- (2)ホームゼミの変更は履修登録期間内に教務課でホームゼミ変更届を受理した場合に限り実施できるものとします。
- (3)ホームゼミ V 及びホームゼミ Ⅵ については、学生が卒業対象学期を迎えた場合に限り、同時履修することができます。

ホームゼミ変更手続きについて

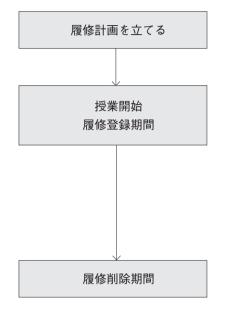
○ ホームゼミ変更手続きに関する要領

所属するホームゼミの変更は原則として、期間内(各学期開始から履修登録期間終了まで)に以下手順に基づき、学生から申し出があったことを条件として受理されるものとします。

【手順】

- (1) 学生は、ホームゼミ変更を希望する旨、変更後担当教員から承認を得る。
- (2)学生は、教務課窓口でホームゼミ変更届の用紙を入手する。
- (3)学生は、変更後担当教員へホームゼミ変更届への署名を依頼する。
- (4)変更後担当教員は、ホームゼミ変更届に署名し、学生へ返却する。
- (5) 学生は、教務課窓口へ変更後担当教員の署名が記入されたホームゼミ変更届を提出する。
- (6) 教務課は、(5) で提出されたホームゼミ変更届を以って、当該学生の担当教員情報の変更処理を行う。

(4)履修登録・確認・削除の流れ



前学期の成績結果、シラバス、カリキュラム表、時間割等から、履修する授業を決定してください。

授業開始

春学期:4月7日(月) 秋学期:9月19日(金)

履修登録・履修削除期間

- ・各期間の詳細についてはT-NEXT等で別途案内します。
- ※履修登録のスケジュールや方法は変更する可能性があります。必ず T-NEXT 等での案内を確認してください。

履修登録に際しての注意事項

- ・クラス分けしている科目があるので注意してください。
- ・履修について、卒業要件や進級要件で不明なことや確認したいことがある場合、提供されている資料を確認した後、教務課窓口まで相談に来てください。
- ・履修登録は、T-NEXTにて行います。T-NEXT 利用に当たっては、 学内システムアカウント、及びパスワードが必要です。不明な場合は、メディア・サービスで再発行手続をしてください。
- ・ネットワークの混雑を考え、履修登録は余裕を持って行ってくだ さい。

試験

(1) 学期末試験の種類

①定期試験

各学期末の試験期間中に実施する試験であり、春学期定期試験と秋学期定期試験の年2回実施します。

○試験期間

春学期定期試験:7月29日(火)、7月30日(水) 秋学期定期試験:1月26日(月)、1月27日(火)

○試験時間

試験時間は1時限60分間です。

時 限	試験時刻	遅刻限度時刻	途中退席可能時刻
1 限	9:20~10:20	9:40	10:00
2 限	10:50~11:50	11:10	11:30
昼休み	11:50~12:30		
3 限	12:30~13:30	12:50	13:10
4 限	14:00~15:00	14:20	14:40
5 限	15:30~16:30	15:50	16:10
6 限	17:00~18:00	17:20	17:40

- ※平常講義の時間割と時間帯・教室・曜日が異なりますので発表された時間割に注意してください。
- ※試験開始後、20分以上遅刻した場合、受験を認めません。
- ※試験開始から40分経過以降、途中退席を認めます。
- ◎受験には学生証を必要としますが、試験当日持参しなかった場合、自動証明書発行機にて仮学生証の交付を行います。その際には、手数料として、100円を徴収します。
- ・仮学生証の有効期限は当該試験期間内に限ります。
- ・一旦納入された手数料は、如何なる理由があっても返金しません。

②授業内試験

- ○各担当教員の判断により、講義時間中等に必要に応じて随時実施する試験をいいます。
- ○仮学生証の発行は行いません。試験当日に学生証を持参しなかった場合には、各担当教員によって取扱いが異なります。

③定期試験の追試験

定期試験中に病気又は止むを得ない理由により、試験を受験できなかった者には、審査の上で追試験を許可することがあります。

○手続き期間

教務課窓口への事前届出を原則としますが、事後となった場合は、当該科目の試験当日を含む2日以内とします。なお、2日目が休日の場合は、その翌業務日までとします(期限内に手続きが全て完了しない場合、 追試験を受験することはできません)。

○手続きの際に必要な書類

- 1. 追試験受験願(教務課に備付)
- 2. 理由を証明する添付書類

病気・ケガ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・医師の診断書等

交通機関の遅延等・・・・・・・・・・・・・・・遅延証明書等

忌引(一親等、二親等、もしくは配偶者の場合)・・・・・・会葬礼状等

その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・理由を詳細に記載した書類等

○追試験受験料(1科目につき1,000円。但し、一親等及び配偶者の忌引の場合は免除します。)

○試験日

春学期試験の追試験・・・・8月5日(火) 秋学期試験の追試験・・・・2月2日(月)

④再試験制度について

(1) 再試験

卒業年次の学生は、その年度の春学期又は秋学期に履修登録して不合格になっている科目に限り、多摩大学履修規程第5条に基づき、再試験を受験できる可能性があります。

再試験を実施する科目は制限がありますので十分注意してください。

○ 多摩大学経営情報学部再試験実施要項

この要項は、多摩大学履修規程第5条に基づき、再試験の実施に関する事項を定める。

(1) 再試験について

卒業年次の学生は、その年度の春学期、又は秋学期に履修登録して不合格になっている場合に限り、多摩 大学履修規程第5条に基づき、再試験を受験できる可能性がある。

(2) 再試験の受験資格は次のとおりとする。

【春学期】

以下6つの要件をすべて満たしている場合に受験を許可する。

- ① 3年次若しくは4年次へ進級している学生で、かつ当該学期末の時点で在学期間が4年以上となる者
- ② 再試験対象の科目が不合格となり、卒業に必要な単位が不足した場合
- ③ 再試験を受験し合格(単位修得)することにより、不足単位が満たされ卒業が可能となる場合
- ④ 卒業までの不足単位が6単位以内であること
- ⑤ 該当科目において授業に出席した回数が3分の2以上で、かつシラバスの評価基準に「試験(定期試験を含む)・テスト・レポート」等の要素が評価基準に含まれている場合には、該当する試験・テストの受験、及びレポートの提出を行った者
- ⑥ 指定期間内に再試験受験の申込み手続きが完了している場合

【秋学期】

以下6つの要件をすべて満たしている場合に受験を許可する。

① 3年次若しくは4年次へ進級している学生で、かつ当該学期末の時点で在学期間が4年以上となる者

- ② 再試験対象の科目が不合格となり、卒業に必要な単位が不足した場合
- ③ 再試験を受験し合格(単位修得)することにより、不足単位が満たされ卒業が可能となる場合
- ④ 卒業までの不足単位が6単位以内であること
- ⑤ 該当科目において授業に出席した回数が3分の2以上で、かつシラバスの評価基準に「試験(定期試験を含む)・テスト・レポート」等の要素が評価基準に含まれている場合には、該当する試験・テストの受験、及びレポートの提出を行った者
- ⑥ 指定期間内に再試験受験の申込み手続きが完了している場合
- (3) 再試験を受験できる科目数は、不足単位分のみとする。また、当該学期に履修登録している科目(演習科目、及び認定科目を除く)に限る。
 - ※「当該学期に履修登録している」の詳細
 - ・春学期の場合は、春学期に履修登録している科目
 - ・秋学期の場合は、秋学期に履修登録している科目
- (4) 再試験の受験が許可された者は、指定の期間内に下記受験手続を完了しなければならない。期日までに手続が完了しない場合は、受験資格が失効されるものとする。
- ① 再試験受験申請書の教務課への提出
- ② 再試験受験料(1科目につき3.000円)の教務課への納付
- (5)再試験の合格評価は、多摩大学履修規程第9条に定める合格最低評価をもって行う。
- この要項の改廃は、教務委員会の議を経て委員長が行う。

附則

この要項は、令和7年4月1日から施行する。

(2) 試験実施上の注意事項

受験できる科目は、「履修登録」をして許可を受けた科目に限ります。受験に際して次のことに留意してください。

- 1 試験会場は、講義が行われる講義室とは異なることがあるので注意すること。
- 2 科目によっては、講義が行われる曜日・時限とは異なるので注意すること。
- 3 受験の際は、学生証を必ず持参し、試験中は机上の右上に置くこと。
- 4 学生証を持参しない場合は受験することはできない。但し仮学生証の交付を受けた場合は受験を認める。
- 5 答案には学部、学科、学籍番号、氏名を明瞭に記入すること。記入してない答案は無効となる。
- 6 受験中、机上に置くことのできる物品は、学生証のほかには次のとおり。
 - (1) 筆記用具(ボールペン、シャープペン、万年筆、鉛筆、鉛筆削り、消しゴム)
 - (2) 時計(ただし電算機、辞書機能付きは除く)
 - (3) マスク・目薬・ティッシュペーパー
 - (4) 当該科目の持込許可条件で許可されたもの
- 7 携帯電話・スマートフォンは電源を必ず切りカバンの中にしまうこと。
- 8 荷物は床もしくは隣のイスの上に置くこと(机の中には入れないこと)。本やノート等は必ずカバンの中にしまうこと。
- 9 遅刻は試験開始後20分までであれば、受験を認める。この際、遅刻した学生の席については監督者の指示に従うこと。
- 10 その他、監督者の指示に従うこと。
- 11 試験期間中に不正行為をした者は、事実を確認の上多摩大学学則、多摩大学履修規程第8条、及び多 摩大学学生懲戒規程により処罰される。

不正行為とは

- ①替え玉受験すること(依頼すること、引き受けること)。
- ②他人の答案や他人が所持する持込可能指定物を交換すること(双方)。
- ③カンニングペーパー(器具)を使用すること。

(机上・机の中・衣服の中にあって例え使用していなくても不正行為とする)。

- ④机、その他(壁、床、手など)に記入し、これを利用しようとすること。
- ⑤他人の答案や他人が所持する持込可能指定物を見て写すこと及び故意に他人に見せること。
- ⑥試験中に携帯で話すこと。試験時間中に電話が鳴動した場合、理由に関わらず、不正行為とみなす。
- ⑦「解答はじめ。」の指示の前に問題冊子を開き解答を始めること。
- ⑧「解答やめ。筆記用具を置いて下さい。」の指示に従わず、筆記用具を持ち解答を続けること。
- ⑨その他上記①~⑧に類似する行為。
- ⑩監督者の指示に理由なく従わないこと。

成績

(1)成績評価

成績評価は、学期末試験(定期試験・授業内試験)、レポート及び平常点等を総合的に考慮して絶対評価で判定します。

		一般講義科目		演習	科目
	配分基準	成績通知書	成績証明書	成績通知書	成績証明書
	100点~90点	A +	A +	P	Р
∧ 1/a	89点~80点	А	А		
合格	79点~70点	В	В		
	69点~60点	С	С		
不合格	59点以下	F	表示しない	F	表示しない
認 定※	_	N	N	N	N

[※]認定科目の単位認定、又編入学における単位認定等の場合のみ付与します。認定科目に該当する科目は 多摩大学経営情報学部履修細則の別表第2を参照してください。

(2)成績発表

成績は、T-NEXTで発表します。

(3)成績評価に関する問合せ(成績照会)

当該学期の成績評価について確認をしたい場合は、成績照会申請期間内に手続きをしてください。詳細は、 学期毎に案内します。

(4)評定平均(GPA)

成績評価方法の一種として授業科目毎の成績評価を5段階 (A+又はP、A、B、C、F) で評価し、それぞれに対して4.0、3.0、2.0、1.0、0のグレードポイントを付与し、この単位当たり平均 (GPA、グレード・ポイント・アベレージ) を出します。認定 (N) は GPA 計算に算入しません。

GPAは成績優秀者奨学金や、早期卒業、退学勧告、学科選択の学生選考、ホームゼミ選抜、教職課程の履修許可など幅広く活用されます。GPA除外科目として、教職に関する科目・「情報科教育法 I」・「情報科教育法 I」・「情報科教育法 I」・「情報科教育 法 II」、及び認定科目が該当します。GPA除外科目、及び認定科目に該当する科目は、多摩大学経営情報学部履修細則の別表第1、及び第2を参照してください。

(5)褒賞制度

本学では学業や社会活動において優れた業績を挙げた学生を選考し、褒賞する制度を設けています。

褒賞名	選考基準
優秀学生賞 (Academic Achievement Award)	各講義科目において顕著に優れた成績を収めた学生 学業に対する取組が真摯で他の模範となる学生
社会・研究活動賞 (Outstanding Achievement Award in Research and Social Activities)	課外活動・研究活動で顕著な成績をおさめた者または団体
学長賞及び学部長賞 (President's Award, Dean's Award)	本学学生として模範的行為のあった者または団体
最優秀学生賞 (Best Student Award)	大学在学中4年間を通じて総合的に最も優秀な成績を収めた卒業予定者5名 及び本学学生として模範的行為のあった者若干名

※優秀学生賞は、各学期末に選考します。

社会・研究活動賞、学長賞及び学部長賞は、例年3月に発表します。

(6)成績優秀者奨学金制度

成績優秀者奨学金は、特に学力が優れている者に対する奨励を目的としています。各学期の評定平均(GPA) 上位者20名に対して奨学金を支給します。また、成績優秀者奨学生に選定された学生には、「成績優秀学生 賞」を授与します。

- ・区分1・・・各学期分の授業料相当額
- ·区分2…5万円

① 評定平均算出方法

4.0×(「A+」と「P」の修得単位数)+3.0×(「A」の修得単位数)+2.0×(「B」の修得単位数)+1.0×(「C」の修得単位数) 総履修登録単位数(「F」の単位数を含む)

② 選定要領

- ・学期毎、学年成績が上位の者から順に候補者を選出する。ただし、当該学期学費未納者は、対象外 とする。
- ・入試合格時に選定され奨学金を支給されている者 (1年次生) 及び、支給日当日に在籍していない者 は対象外とする。
- ・区分1の奨学生候補者数の選定
 - ア、教職に関する授業科目を除く5科目以上を履修していて評定平均が3.2以上の者とする。
 - イ、複数名が対象となった場合は、評定平均最上位の者とする。
 - ウ、評定平均最上位の者が複数名の場合は、修得単位の多い者、修得単位数が同一の場合は、その 者全員を区分1とし、奨学金は、区分1の定員(1名)を超える人数分については区分2の支給額 を加え、均等に分配することとする。なお、均等に分配できない場合は、小数点を切り捨てる。
- ・区分2の奨学生候補者数は、教職に関する授業科目を除く5科目以上を履修している者とし、区分1 と併せて各学期20名以内とする。

(7)成績不良者

下記のとおり望ましい入学年度別の成績(目安)を定めています。よって、本目安に到達できなかった場合は、成績不良者として保証人にご報告します。

【2022年度以前入学生の場合】

年次	女 学期	望ましい学年・学期別の	成績不良のご報告基準
十八		単位修得目安(累積)	
1年次生	春学期	16単位~20単位	16単位未満
十八王	秋学期	32単位~40単位	32単位未満
2年次生	春学期	48単位~60単位	48単位未満
2年从主	秋学期	64単位~80単位	64単位未満
2年%出	春学期	80単位~100単位	_
3年次生	秋学期	96単位~120単位以上	_
4 <i>年</i> 7 <i>84</i>	春学期	112単位~124単位以上	_
4年次生	秋学期	124単位以上	_

【2023年度以降入学生の場合】

/T.\m	₩ ₩	望ましい学年・学期別の	成績不良の	ご報告基準
年次	学期	単位修得目安	(下記いずれ	かの場合)
1 年 次 仕	春学期	16単位~20単位	16単位未満	
1年次生	秋学期	32単位~40単位	32単位未満	
2年次生	春学期	48単位~60単位	48単位未満	通算 GPA1.0未満
2 年	秋学期	64単位~80単位	64単位未満	
3年次生	春学期	80単位~100単位	80単位未満	
3年次王	秋学期	96単位~120単位以上	_	_
4年次生	春学期	112単位~124単位以上	_	_
44八土	秋学期	124単位以上	_	_

学科選択

(1)学科選択とは

経営情報学部において入学後の1年間は、学生は学科には所属せず経営情報学部の学生として広く経営情報の素養を身につけることが期待されます。学生の皆さんは、2年次進級時に経営情報学科もしくは事業構想学科に所属する事になり、これを学科選択と言います。学科選択においては学生の志望が優先されますが、志望者数が定員を超えた場合は、1年次の単位修得状況や成績等による選抜が行われます。

(2)選抜方法

基本的に1年次の単位修得状況や成績等をもとに選抜を行います。不本意な結果を招かないために、1年次に努力を払うようにしてください。

※評定平均(GPA)算出方法

4.0×(「A+」と「P」の修得単位数)+3.0×(「A」の修得単位数)+2.0×(「B」の修得単位数)+1.0×(「C」の修得単位数) 総履修登録単位数(「F」の単位数を含む)

(3)申請手続きの流れ

学科説明会

プレゼミⅡで詳細を連絡します。

申請期間

プレゼミⅡで詳細を連絡します。

所属学科発表

2026年3月にT-NEXTにて通知します。

進級要件・卒業要件、卒業見込判定、履修上限、認定科目

(1)令和5(2023)年度以降入学生

1. 『進級要件』

<3年次から4年次への進級>

3年次終了時点で、卒業要件として算入される124単位の内88単位以上を修得し、通算 GPA1.0以上であること。

2. 『卒業要件』

- ・4年以上在学する必要があり、休学期間は在学年数に含まれません。
- ・卒業要件単位数については、以下の表のとおり単位を修得する必要があります。

7	科目群	必修	特別選択 必修	選択必修	・準必修	選択	合計
基礎	教養・キャリア	1	2	27	4(語学)		
全 促	専門基礎	2	_	2	0	22	124
専門	学科専門	2	_	28		22	124
等门	演習	16	_		.8		
	合計	21	2	7	9	22	124

- ※1 「特別選択必修」「選択必修・準必修」区分の科目のうち、卒業要件を超えて修得した科目は、 「選択 |区分に算入されます。
- ※2 所属している学科以外の「選択必修・準必修」区分の科目を修得した場合は、「選択」区分に算入されます。
- ※3 演習科目群の卒業要件として算入される単位数の上限は32単位までとします。
- ※4 「アクティブ・ラーニング実践」及び「Study Abroad」を合算し、卒業要件として算入される単位数の 上限は16単位までとします。

3. 『履修上限』

各学期20単位まで履修登録することができます。ただし前期のGPAが2.8以上の場合、各学期24単位まで履修登録することができます。なお、前々学期にGPA2.8以上を修得しても前学期に留学・休学等でGPAが2.8未満もしくは単位修得していない場合、上限単位数の引き上げは適用しません。履修上限外科目は以下とします。

	履修上限外科目		
GPA算入科目			
ホームゼミI~VI	プログラミング入門	データ分析入門	会計入門
経営管理入門			
GPA 除外科目			
インターンシップⅠ・Ⅱ	Study Abroad	アクティブ・ラーニング	ブ実践
教職に関する科目	情報科教育法Ⅰ・Ⅱ	単位互換科目	
ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	フランス語Ⅰ・Ⅱ		

4. 『認定科目』

認定科目				
インターンシップI・II Study Abroad	アクティブ・ラーコ	ニング実践		
単位互換科目 キャリア・デザインIV	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	フランス語Ⅰ・Ⅱ		

(2)平成31(2019)年度~令和4(2022)年度入学生

1.『谁級要件』

<3年次から4年次への進級>

3年次終了時点で88単位以上修得していなければ、4年次に進級できません。

2.『卒業要件』

- ・4年間在学する必要があり、休学期間は在学年数に含まれません。
- ・卒業要件単位数については、以下の表のとおり単位を修得する必要があります。

- The state of the							
科目群		必修	特別選択 必修 ^{*1}	選択必修*1		選択	合計
産業社会	教養	6	2	10	(語学) 4		
	ビジネス			6		60	124
学科専門 4 16 ^{**2} 問題解決学		3 ^{*2}					
问起胜次子	演習 **3	16					
合 計		26	2	3	86	60	124

- ※1 「特別選択必修」「選択必修」区分の科目のうち、卒業要件単位を超えて修得した科目は、「選択」区分に算入されます。
- ※2 所属している学科以外の「選択必修|区分の科目を修得した場合は、「選択」区分に算入されます。
- ※3 演習科目群の卒業要件として算入される単位数の上限は36単位までとします。

3. 『履修上限』

各学期20単位まで履修登録することができます。ただし前期のGPAが2.8以上の場合、各学期24単位まで履修登録することができます。なお、前々学期にGPA2.8以上を修得しても前学期に留学・休学等でGPAが2.8未満もしくは単位修得していない場合、上限単位数の引き上げは適用しません。履修上限外科目は以下とします。

	履修上限外科目	
GPA算入科目		
立志特講Ⅰ~Ⅲ	問題解決学特講Ⅰ~Ⅲ	ホームゼミI~Ⅷ
GPA除外科目		
インターンシップⅠ・Ⅱ	AP数学 Study Abroad	アクティブ・ラーニング実践
教職に関する科目	情報科教育法Ⅰ・Ⅱ	単位互換科目
ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	フランス語Ⅰ・Ⅱ	

4. 『認定科目』

	認定科目	
インターンシップⅠ・Ⅱ	Study Abroad	アクティブ・ラーニング実践
単位互換科目	キャリア・デザインⅣ	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ
フランス語Ⅰ・Ⅱ	AP数学	

(3)平成30(2018)年度入学生

1.『進級要件』

<3年次から4年次への進級>

3年次終了時点で88単位以上修得していなければ、4年次に進級できません。

2. 『卒業要件』

- ・4年間在学する必要があり、休学期間は在学年数に含まれません。
- ・卒業要件単位数については、以下の表のとおり単位を修得する必要があります。

科	科目群 必修 特別選択 選択必修 ^{*1} 必修**		選択	合計			
産業社会	教養	6	2	10	(語学) 4		
	ビジネス					72	124
問題解決学	学科専門	4	4 16 ^{*2}				
问起肝次子	演習 **3	6		4	4		
合 計 16		2	3	34	72	124	

^{※1 「}特別選択必修」「選択必修」区分の科目のうち、卒業要件単位を超えて修得した科目は、「選択」区分に算入されます。

- ※2 所属している学科以外の「選択必修」区分の科目を修得した場合は、「選択」区分に算入されます。
- ※3 演習科目群の卒業要件として算入される単位数の上限は36単位までとします。

3. 『履修上限』

各学期24単位まで履修登録することができます。

履修上限外科目は以下とします。

	履修上限外科目		
GPA算入科目			
立志特講Ⅰ~Ⅲ	問題解決学特講Ⅰ~Ⅲ		
GPA 除外科目			
インターンシップⅠ・Ⅱ	キャリア・デザインⅡ~Ⅳ	AP数学 Stu	ıdy Abroad
アクティブ・ラーニング実践	教職に関する科目	情報科教育法Ⅰ・Ⅱ	
単位互換科目	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	フランス語Ⅰ・Ⅱ	

4.『認定科目』

	認定科目	
インターンシップⅠ・Ⅱ	キャリア・デザインⅡ~Ⅳ	Study Abroad
アクティブ・ラーニング実践	単位互換科目	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ
フランス語Ⅰ・Ⅱ	AP数学	

(4)卒業見込判定

卒業見込の判定基準は、以下のとおりです。条件を満たす学生に「卒業見込証明書」を発行します。

「春学期 |: 下記3点の条件を全て満たす学生

- ・3月末時点の在学期間(休学期間を除く)が3年以上であること。
- ・卒業要件に参入される修得単位数が88単位以上であること。
- ・必修科目の単位を全て修得していること(ホームゼミV・VI以外)

「秋学期」: 下記3点の条件を全て満たす学生

- ・9月末時点の在学期間(休学期間を除く)が3年6ヵ月以上であること。
- ・卒業要件に参入される修得単位数が102単位以上であること。
- ・必修科目の単位を全て修得していること(ホームゼミVI以外)

ジョブ型人材育成コース

経営情報学部ではジョブ型人材育成コースを設置しており、先端的マーケティング心理コース・実践的ビジネスエンジニアリングコースの2種類について各コース定員20名程度を限度とし、学生が選択することができます。コースの選択希望の受付は、1年次の秋学期にT-NEXTアンケート機能等によって行います。

(1)各コースの特色

- ・先端的マーケティング心理コース(MPコース) 経済・経営に不可欠なデータサイエンスを深く学び、加えて心理学の知見をマーケティングに生かし、 データ時代の経営をリードする創造的マーケターを目指します。
- ・実践的ビジネスエンジニアリングコース (BEコース) ビジネス現場での即戦力として活躍し、ビジネス・シミュレーションの経験を通じてイノベーターシップを備えた人材になることを目指します。

(2)コース選択時の注意事項

- ・各コースの定員を超える希望があった場合には選抜を行います。選抜にあたっては、1年次の単位修得 状況や成績等によって、優先的にコースの履修許可を与える場合があります。
- ・ 先端的マーケティング心理コースは原則、経営情報学科に所属すること、実践的ビジネスエンジニアリングコースは原則、事業構想学科に所属することとしています。
- ・先端的マーケティング心理コースを希望する場合、原則として1年次終了時点で「プログラミング入門」 「データ分析入門 | の単位を修得していることを条件としております。
- ・実践的ビジネスエンジニアリングコースを希望する場合、原則として1年次終了時点で「会計入門」「経営管理入門」の単位を修得していることを条件としております。
- ・コースに応募した場合は、必ず教員の面談を受けていただきます。

コース・系修了要件

コース修了要件(2023年度以降入学生対象)

経営情報学部では、各コースに修了要件を定めています。修了要件を満たすことで、修了証が発行されます。

『コース修了要件』

以下の表のとおり単位を修得することによって、修了することができます。但し、コースに所属していることを条件とします。

〔コース修了要件〕

先端的マーケティング心理コース修了要件

科目群		必修	準必修	選択必修	選択	計
学科専門	コース科目				12	12
計		_	_	_	12	12

- ※1)上記要件には1年生科目(プログラミング入門・データ分析入門)は含まれません。
- ※2) コース科目については、「経営情報学科2025年度カリキュラム表 | (P68~69) を参照してください。

実践的ビジネスエンジニアリングコース修了要件

科目群		必修	準必修	選択必修	選択	計
学科専門	コース科目				12	12
計		_	_	_	12	12

- ※3)上記要件には1年生科目(会計入門・経営管理入門)は含まれません。
- ※4) コース科目については、「事業構想学科2025年度カリキュラム表」(P70~71) を参照してください。

系修了要件(2023年度以降入学生対象)

経営情報学部では、各学科の専門科目に設定された系科目の修了要件を定めています。系修了要件を満たす ことで、修了証が発行されます。

『系修了要件』

以下の表のとおり単位を修得することによって、修了することができます。

[系修了要件]

経営情報学科 系修了要件

科目群		必修	準必修	選択必修	計
基礎	情報系	2	(準必修2.	6 単位必須)	8
	学科内系共通	2	2	4	8
専門	分析系(データ分析)			16	16(%1)
	開発系(プログラミング)			16	16(%1)
計		4	2	8	32

※1)分析系・開発系のいずれかを選択し、選択した科目群から16単位を修得してください。 なお、学生ハンドブック等において経営情報学科の3つの系が記載されているが、情報デザイン系については、系修了要件の対象には含まれません。

※2)系修了科目については、「経営情報学科2025年度カリキュラム表」(P68~69)を参照してください。

事業構想学科 系修了要件

科目群		必修	準必修	選択必修	計
基礎	経営経済系		4		4
	学科内系共通	2	2		4
専門	アジア・ユーラシア系				
	地域系			24	24(%3)
	経営系				
計		2	6	24	32

^{※3)}アジアユーラシア系・地域系・経営系のいずれかを選択し、選択した科目群から24単位を修得してください。

※4)系修了科目については、「事業構想学科2025年度カリキュラム表」(P70~71)を参照してください。

前提科目

2025年度前提科目一覧(2023年度以降入学生適用)

下記の科目を履修するには、前提科目の単位修得が必要であり、前提科目の単位を修得していない場合、履 修できません。

【語学系】

科目名	配当年次	前提科目名(配当年次)
韓国ビジネスコミュニケーションI	2年	韓国語I(1年)
韓国ビジネスコミュニケーションⅡ	2年	韓国語 (1年)
中国ビジネスコミュニケーションI	2年	中国語 (1年) 中国語 (1年)
中国ビジネスコミュニケーションII	2年	日本語講座初級(1年)
Basic Office English I	2年	日本語講座中級1(1年)
Basic Office English II	2年	日本語講座中級II(1年)
Practical English Conversation I	2年	日本語講座上級(1年)
Practical English Conversation II	2年	English Expression I(1年) English Expression II(1年)
TOEIC I	2年	*上記から同一言語にこだわらず2科目の単位修得が
TOEIC II	2年	必要です。
TOEIC III	3年	TOEIC I
TOEIC IV	3年	TOEIC II *上記2科目の単位修得が必要です。

【その他】

配当年次	前提科目名(配当年次)	
2年		
2年		
2年	初級簿記(1年)	
経営情報学科:4年		
事業構想学科:3年		
経営情報学科:4年	財務分析	
事業構想学科:3年	(経営情報学科:4年、事業構想学科:3年)	
2年	ミクロ経済学(1年)	
2年	マーケティング・リサーチ(2年)	
2年	ライティング・スキル(1年)	
	2年 2年 2年 経営情報学科:4年 事業構想学科:3年 経営情報学科:3年 3年 2年 2年	

※上記以外の科目に関しては前提科目を特に定めていませんが、他に履修することが望ましい科目を設け講義を進めていく場合があります。詳細につきましては、シラバスをよく参照してください。

2025年度前提科目一覧(2019-2022年度入学生適用)

下記の科目を履修するには、前提科目の単位修得が必要であり、前提科目の単位を修得していない場合、履 修できません。

【語学系】

科目名	配当年次	前提科目名(配当年次)
韓国ビジネスコミュニケーションI	2年	韓国語I(1年)
韓国ビジネスコミュニケーションⅡ	2年	韓国語 (1年)
中国ビジネスコミュニケーションI	2年	中国語 (1年) 中国語 (1年)
中国ビジネスコミュニケーションII	2年	日本語講座初級(1年)
Basic Office English I	2年	日本語講座中級1(1年)
Basic Office English II	2年	日本語講座中級II(1年)
Practical English Conversation I	2年	日本語講座上級(1年)
Practical English Conversation II	2年	English Expression I(1年) English Expression II(1年)
TOEIC I	2年	*上記から同一言語にこだわらず2科目の単位修得が
TOEIC II	2年	必要です。
TOEIC III	3年	TOEIC I
TOEIC IV	3年	TOEIC II *上記2科目の単位修得が必要です。

【その他】

科目名	配当年次	前提科目名(配当年次)
中級簿記	2年	初級簿記(1年)
マクロ経済学	2年	ミクロ経済学(1年)
アドバンスド・ライティング・スキル	2年	ライティング・スキル(1年)

※上記以外の科目に関しては前提科目を特に定めていませんが、他に履修することが望ましい科目を設け講義を進めていく場合があります。詳細につきましては、シラバスをよく参照してください。

2025年度前提科目一覧(2018年度以前入学生適用)

下記の科目を履修するには、前提科目の単位修得が必要であり、前提科目の単位を修得していない場合、履 修できません。

【語学系】

科目名	配当年次	前提科目名(配当年次)
韓国ビジネスコミュニケーションI	2年	韓国語I(1年)
韓国ビジネスコミュニケーションII	2年	韓国語II(1年)
中国ビジネスコミュニケーションI	2年	中国語I(1年) -中国語II(1年)
中国ビジネスコミュニケーションII	2年	日本語講座初級(1年)
Basic Office English I	2年	日本語講座中級I(1年)
Basic Office English II	2年	日本語講座中級II(1年)
Practical English Conversation I	2年	日本語講座上級(1年)
Practical English Conversation II	2年	English Expression I(1年) English Expression II(1年)
TOEIC I	2年	*上記から同一言語にこだわらず2科目の単位修得
TOEIC II	2年	が必要です。
TOEIC III	3年	TOEIC I
TOEIC IV	3年	TOEIC II *上記2科目の単位修得が必要です。

【その他】

科目名	配当年次	前提科目名(配当年次)
中級簿記	2年	初級簿記(1年)
マクロ経済学	2年	ミクロ経済学(1年)
アドバンスド・ライティング・スキル	2年	ライティング・スキル(1年) もしくは 文章伝達入門(1年)*2018年度以前開講

※上記以外の科目に関しては前提科目を特に定めていませんが、他に履修することが望ましい科目を設け講義を進めていく場合があります。詳細につきましては、シラバスをよく参照してください。

数理・データサイエンス・AI教育プログラム

多摩大学では、「数理・データサイエンス・AIに関する専門知識」を身につけた学生の輩出と、教育のDX化をさらに推進させるための教育プログラムを設けています(2024年度以降入学生対象)。経営情報学部では、「リテラシー」・「応用基礎」の2種類のレベルを設定しており、プログラムを構成する科目の単位を修得することで各レベルの認定を受けることが可能です。認定された学生には、修了証が発行されます。

<リテラシーレベル>多摩大学数理・データサイエンス・AI 教育基礎プログラム

・育成する人材

「数理・データサイエンス・AI |に関する専門的な基礎知識を有する「多摩グローカル人材|

・修了要件

下記2科目の単位を修得した者

No.	科目名称	単位
1	AIの活用基礎	2
2	ICT コミュニケーション入門	2

<応用基礎レベル>多摩大学経営情報学部数理・データサイエンス・AI教育応用プログラム

・育成する人材

「数理・データサイエンス・AI」に関する専門的な知識を、経営情報学の分野においてより応用的に活用できる「多摩グローカル人材」

・修了要件

下記7科目のうち、No1~6の科目の単位を修得した者

No.	科目名称	単位
1	AIの活用基礎	2
2	マーケティング・データ分析	2
3	マーケティング・データ分析実践	2
4	IT活用法	2
5	先端情報技術概論	2
6	データベース I (Access)	2
7	データサイエンスI(データ利活用の基礎スキル) ※修得推奨科目	2

教職課程

教育職員免許状(以下、教員免許)を取得したい学生は、教職課程を履修して必要な単位を修得してください。

(1)多摩大学経営情報学部にて取得可能な教員免許

学部	学科	種類	教科
経営情報学部	※1)経営情報学科	高等学校教諭(一種)	情報・※2)数学

- ※1) 事業構想学科を学科選択した学生は、多摩大学では高等学校教諭(一種)情報の教員免許を取得することはできません。
- ※2) 明星大学での数学科教員免許取得について

高等学校教諭(一種)数学の教員免許は、明星大学通信教育課程の科目等履修生として取得することができますが、多摩大学で高等学校教諭(一種)情報の教員免許を取得することが必須条件になります。数学科教員免許取得を希望する学生は、1年生の秋学期授業終了までに教務課へお問い合わせください。 基本的には2~4年生で科目履修をすることとなります。

(2) 最低修得単位数(教育職員免許法で定められている最低単位数)

大学において修得することを必要とする科目の最低単位数					
教育の 基礎的理解に 関する科目	道徳、総合的な 学習の時間等の 指導法指導、 生徒指談等に 教育相談等に 関する科目	教育実践に 関する科目	教育職員免許法 施行規則 第66条の6に 定める科目	教科及び 教科の指導法に 関する科目	大学が独自に 設定する科目
10	8	5	8	24	12

(3)教職に関する科目

(◎:必修科目)

免許法施行規則に 定める科目区分	本学で開講している科目名	配当年次・開講学期	単位数
	◎教育原理	1 - 秋	2
	◎教職概論	1 - 秋	2
教育の基礎的理解に	◎教育制度論	2-春	2
関する科目	◎教育心理学	3-春	2
	◎特別支援教育概論	2-秋	1
	◎教育課程総論	2-春	1
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	◎特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2-秋	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び	◎教育方法 (ICT を活用した教育の理論及び 方法を含む)	2-秋	2
生徒指導、教育相談等に 関する科目	◎生徒指導・進路指導論	2-春	2
N 9 011 L	◎教育相談	3-秋	2
教育実践に関する科目	◎教育実習	4-集中(春秋学期)	3
秋月天成に関りる村日	◎教職実践演習	4-集中(春秋学期)	2
	合 計		23

※教職に関する科目は卒業要件単位に含まれません。

(4)教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(基礎教育科目)

(◎:必修科目、○:選択必修科目)

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する開設授業科目	
科 目 単位数		科目	配当年次・開講学期
日本国憲法	日本国憲法 2		1-秋
※1)体育	2	○スポーツI	1-秋
		○スポーツⅡ	2-春
		○English Expression II	1-秋
※2) 外国語コミュニケーション	2	○韓国語Ⅱ	1-秋
		○中国語Ⅱ	1-秋
数理、データ活用及び人工知能に	2		2-春
関する科目又は情報機器の操作	_		_ 0

^{※2)} English Expression II、韓国語 II、中国語 II の3科目より1科目選択必修

(5)教科及び教科の指導法に関する科目(2024年度以降入学生)

◎: 必修科目(25 単位すべて修得してください) ○: 選択必修科目(14 単位以上修得してください)

科目区分	2023年度~開講科目	単位	配当 年次・学期
情報社会 (職業に関する内容を含む) ・情報倫理	◎情報倫理 ◎情報法 ◎情報と職業	2 2 2	1-秋 2-春 3-春
	○情報セキュリティ○先端情報技術概論○知覚心理学	2 2 2	2-秋 2-秋 2-秋
コンピュータ・情報処理	◎ビジネス数学基礎◎コンピュータ概論◎データサイエンス I (データ利活用の基礎スキル)	1 2 2	1-春 1-秋 2-春
	○プログラミング言語(C#) ○データサイエンスⅡ (推定・検定) ○Web プログラミング実践 ○Web サービス開発	2 2 2 2	2-春 2-秋 3-春 3-秋
情報システム	◎データベース I (ACCESS) ◎データベース II (SQL)	2 2	2-春 2-秋
	○情報工学概論○マーケティング・リサーチ○マーケティング・データ分析	2 2 2	2-春 2-春 2-秋
情報通信ネットワーク	◎情報ネットワーク◎コンピュータネットワーク活用	2 2	2-春 3-春
	○ユーザインタフェース ○クリエイティブデザイン II (3DCG)	2 2	2-春 2-秋
マルチメディア表現・ マルチメディア技術	◎クリエイティブデザイン I (動画編集)	2	2-春
	○Web デザイン ○Web プログラミング入門 ○デザイン思考	2 2 2	2-春 2-秋 3-春
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用含む)	◎情報科教育法 I ◎情報科教育法 II	2 2	3-春 3-秋

- ※教科及び教科の指導法に関する科目において、教育職員免許法で定められている最低単位数は24単位となりますが、本学の場合、25単位の修得が必要となっております。ご注意ください。
- ※本学の場合、教科及び教科の指導法に関する科目の選択必修科目を「大学が独自に設定する科目」として 設定しております。
- ★「情報科教育法Ⅰ・Ⅱ」は卒業要件単位、及び進級要件単位に含みません。

(6) 教職課程の履修許可について

●教職課程の履修許可について

- ①原則として、教員採用試験の受験を希望していること。
- ②教職課程の履修が認められる者

●必要要件

▶ 1年次終了時

1年次中に修得した単位が原則32単位以上(教職に関する科目は除く)で、かつその成績のGPAが2.1以上に達した者

▶ 2年次終了時

64単位以上(教職に関する科目は除く)修得していること

▶ 3年次終了時

94単位以上(教職に関する科目は除く)修得していること

原則として、教職に関する科目(「教育実習」「教職実践演習」を除く)をすべて修得していること。 また、基礎教育科目・教科及び教科の指導法に関する科目の必修科目33単位(※内訳は下記)中31単位 以上と、教科及び教科の指導法に関する科目の選択必修科目の内12単位以上修得していること。

※内訳

- ①教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(基礎教育科目):8単位
- ②教科及び教科の指導法に関する科目:25単位

(7) 教育実習について

● 教育実習の目的について

教育実習は、「学校教育の実状や教員の実務」を理解し、これまで大学で身につけた知識や理論を基に実習校において教育職員として必要な現場の知識や技術、態度等を身につけるための実地修練の場です。

●教育実習の実施時期

教育実習の実施時期は4年次の5・6月を原則としますが、実習校(基本的に母校実習)の都合により、他の時期に行うこともあります。

● 教育実習事前事後指導

4年次の教育実習履修有資格者を対象に、教育実習事前説明会を実施し、教育実習申込書、教育実習日誌 等を配布します。

● 教育実習手数料

教育実習手数料は、教育実習申込みの際に教務課にて納入してください。

教育実習手数料:20,000円

●実習校との事前打ち合わせ

教育実習開始前に、教育実習についての打ち合わせが実習校で行われます。実習に際しての指導を受けたり、実習生の準備状況の報告を行ったりするもので、実習に欠かせない重要なものです。必ず出席してください。日時は、実習校の教員と調整をして決定します。(2年終了頃~3年次)

● 教育実習報告会

教育実習終了後に教育実習報告会を開催します。教育実習を終えた4年生は、教育実習での成果を発表してもらいます。

● 教育実習要件

▶ 教育実習参加資格(3年次終了時以下を満たす者)

- ①「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」4科目8単位以上を修得済みであること。
- ②「教職に関する科目」において「教育実習」「教職実践演習」を除く10科目18単位を修得済みであること。
- ③「情報科教育法Ⅰ」「情報科教育法Ⅱ」を修得済みであること。

▶ その他参加条件

- ①健康診断を毎年受診しており、業務に支障が出る疾患がないこと。(※判断基準が必要)
- ②「教育実習」における事前指導・事後指導を全て受講できること。
- ③「教育実習」にかかる手続き(実習先確保含む)を滞りなく行うこと。
- ※実習校の確保は、実習の前年度に出身校や最寄りの学校等へ交渉し、各自で行ってください。本学から 紹介や斡旋等は原則ありません。

● 留意事項

▶ 教育実習は、特殊で極めて重要な科目です。実習校だけではなく、都道府県、及び市区町村の教育委員会との対外的な関係もあります。

また、現場実習では、生徒から「先生」と呼ばれるという特殊な立場でもあり、生徒に対する影響も大きいということを決して忘れないでください。さらに、実習校では、他大学からの実習生と比較されたうえで、多摩大学の学生として評価されることも、しっかり心得ておいてください。

- ▶ 成績は教育実習を実施した学期に反映されます。
 - 例) 春学期中に教育実習を実施した場合、春学期の成績へ反映されます。
 - ※春学期は7月末日までとします。8月以降で実施した場合、秋学期の成績に反映されます。

● 実習用通学定期乗車券の購入について

- ▶「実習用通学定期乗車券」とは学生が教育実習のために多摩キャンパス以外の場所に1ヶ月以上通う場合に適用される通学定期券です。申請から「通学証明書(実習用)」の発行までに1か月程度の時間を要する場合もありますので、予めご承知おきください。
- ▶ 学修支援情報サイト(多摩大学教職課程について) 詳細はT-NEXTのLink「多摩キャンパス学修支援情報サイト」の教職関連で確認してください。

(8) 教職課程履修カルテ(教職カルテ)について

① 教職カルテの目的

「教職カルテ」の作成を通じて、当該学期に学修した内容を振り返り、各自が学んだことは何か、学び足りなかったことは何か、さらに研究を進めたいことは何かなどを改めて考えさせる機会の提供を目的としています。更に、教職課程の履修を通じて、「教員として最小限必要な知識技能を確実に身に付けさせるとともに、その知識技能を明示的に確認することを目的とする」ものです。 4 年次に履修する「教職実践演習」の授業内で総括を行います。

② 作成及び提出について

教職カルテのデータを担当教員から履修者へ送りますので、適宜更新・提出してください。

(9) 教員免許状の申請について

大学から東京都教育庁へ教員免許状の一括申請を行います。

教員免許状申請料は、案内が教務課から届きますので、それに従って所定の料金(3,700円)を教務課窓口に納入してください。(4年次1月~2月頃)

免許状は卒業のつどいの際に、学位記と併せてお渡しいたします。

オフィスアワー制度について

【オフィスアワーとは】

多摩大学経営情報学部では、オフィスアワーを実施しています。オフィスアワーとは、本学の<u>経営情報学部の学生が受講する授業科目に関し、担当の教員に直接質問等をし、教員が返答するために行う面談の時間</u>のことです。1週間の中に必ず90分以上設定し、公表した上で、学生からの相談を受けられるように待機しています。予約は不要です。

- ※担当授業科目には、ホームゼミを含みます。
- ※上記「学生」とは、経営情報学部生に加え、経営情報学部の科目を受講している科目等履修生と聴講生を含みます。
- ※非常勤教員については、授業後の時間、及び随時電子メールで質問を受け付けています。詳細は T-NEXTの掲示で確認してください。

【基本原則】

- ・面談内容は授業内容に関することとします。
- ・面談場所は3階教育サポート室奥のラウンジを使用します。
- ・オフィスアワー情報については、T-NEXT等で公表します。
 - URL: https://www.tama.ac.jp/student/smis/support.html
- ・ 1 人の面談時間単位は、15分です。

【予約希望の場合】

面談は、予約なしでも可ですが、事前に予約することもできます。希望する学生は、3階教育サポート室 カウンターにて、面談予約希望の旨を申し出てください。また、申し込む場合は、申込用紙を受け取り、 必要事項を記入して提出してください。

- ※予約申込時間:月曜日~金曜日9:30~16:30
- ※直接教員と約束をした場合でも、該当する時間に予約があった場合には予約した学生を優先します。
- ※曜日や時間、面談場所が変更になる場合があります。
- ※予約可能な時間は15分間を限度とします。

予約した場合には、面談当日指定された場所に遅れない様に直接行ってください。もしも予約時間定刻に 予約した学生がいない場合、他の学生が優先されます。

学生による授業評価(VOICE)について

学生満足度向上のため、全ての講義科目について、学生による授業評価(VOICE)を実施しています。より良い講義の実施のために、学生から率直な意見を聞く無記名式アンケートです。詳細は掲示にてお知らせしますので、積極的に回答してください。

なお、過去の学生による授業評価(VOICE)結果については、3階図書館にて公開しています(公開時期は T-NEXTにて連絡します)。履修する授業を選択する際等に参考にしてください。

また、授業評価(VOICE)を受けて、科目毎に教員がフィードバックを行います。シラバスに記載されますので、T-NEXTより確認してください。

アセスメント

アセスメントとは、専攻・専門にかかわらず、大卒者として社会で求められる汎用的な能力・態度・志向を 測定するためのプログラムです。1年次と3年次にアセスメントテストを実施します。外部の一般化された 試験を用いて社会で求められる一般的な能力等を測定し、自身の現状を客観的に把握することができます。 また、1年次と3年次に受験することで、カリキュラムによる学修成果を、大学の成績とは異なる視点で確 認できます。

アセスメントでの気付きを通して、大学での学びをより主体的なものにする原動力としてください。

TOEIC 試験補助について

大学から補助を受けて、無料で学内TOEICを受けることができます。

就職や留学に行く際の目安、また自分の英語の実力がどの程度伸びたかを見るよいチャンスです。積極的に活用して、自身の成長の指標にしてください。申し込みの詳細については随時更新しますので、教育サポート室で最新情報を確認してください。

2025年度資格情報

(1)授業内で取得できる資格

授業内で資格試験を実施する。

〈対象科目・資格一覧〉

科目名	資格
ビジネススキル基礎・実践	ビジネス能力検定ジョブパス(3級・2級)
ビジネス数学基礎・実践	ビジネス数学検定(3級・2級)
English Expression I	TOEIC
English Expression II	TOEIC
ICT コミュニケーション入門	Excel®表計算処理技能認定試験(3級)

(2)資格取得受験料補助

対象資格の試験の受験料を一部補助する。

〈補助対象資格一覧〉

分野	資格	分野	資格
	FP技能検定		実用英語技能検定(英検)準2級~1級
	ファイナンシャルプランナー		観光英語検定
	公認会計士		中国語検定準4級~1級
経営	簿記3級~1級		ハングル能力検定5級~1級
	経営学検定初級~上級	グローバル	日本語能力試験1級
	リテールマーケティング(販売士)検定	7 11 7 170	貿易実務検定
	ビジネス会計検定		TOEIC(学外受験の場合)
	基本情報技術者		TOPIK
	応用情報技術者		LPI Level
	Word文書処理技能認定試験(2・3級)		IELTS
	Excel®表計算処理技能認定試験(2·3級)		リテールマーケティング
	情報セキュリティマネジメント		ビジネス実務マナー検定
	ITパスポート		ビジネス能力検定2級
	統計検定4級~準1級		ビジネス実務法務検定
	統計検定1級(統計数理のみ)		ビジネス文書検定
	統計検定1級(統計応用のみ)		CAD利用技術者試験
	統計検定1級(統計数理+統計応用)		秘書検定
情報	色彩検定		宅地建物取引士
	CG-ARTS検定	その他	日経TEST
	CGクリエイター検定	(4) [6]	社会保険労務士
	WEBデザイン技能検定		中小企業診断士
	Pythonエンジニア認定試験		ホテルビジネス実務検定2級
	ウェブ解析士		知的財産管理技能検定3級
	MOS検定		準経営士補
	ビジネス統計スペシャリスト		環境経営士
	G検定		VEリーダー認定試験
	情報検定		国内旅程管理主任者
	データサイエンティスト検定		総合旅程管理主任者

【注意】

「資格取得受験料 補助金申請書」のとおりとする(資格補助金の申請の詳細は、キャリア支援課に問い合わせてください)。

4各種規程・規則

多摩大学 学則(抜粋)

第1章 総則

(使命・目的)

第1条 多摩大学(以下「本学」という。)は、永年に及ぶ産業教育における経験を基盤とし、国際化・情報化時代に即応して、学生に高度な外国語能力と世界に通用する教養・最新の経営知識及び的確な情報処理能力を修得せしめ、国際的ビジネスの場で活躍できる人材の育成を目指すとともに、わが国の産業社会の健全たる発展に寄与する指導的人材を育成することを使命・目的とする。

(自己点検及び評価)

- 第2条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、大学の使命・目的及び社会的使命を達成するため、大学 における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。
- 2 自己点検及び評価について必要な事項は、別に規程で定める。

(個人情報保護)

- 第3条 本学は、教育・研究活動等の適正かつ円滑な運営を図り、個人情報の有用性に配慮するため、個人 の権利及び利益を保護する。
- 2 個人情報保護について必要な事項は、別に規程で定める。

(ハラスメントの防止)

- 第4条 本学は、ハラスメントの防止及びハラスメントに起因する問題が生じた場合に、適切な対応を行う ための措置を講じ、学生、教育職員及び事務職員等の快適な環境を作り、教育、研究及び就業の機会と権 利を保障する。
- 2 ハラスメントの防止について必要な事項は、別に規程で定める。

第3章 修業年限、在学年限、学年、学期及び休業日

(修業年限)

第10条 本学の修業年限は、4年とする。ただし、第39条の規定により卒業を認められた者については、 この限りでない。

(在学年限)

- 第11条 学生は、8年を超えて在学することができない。
- 2 編入学、転入学及び再入学の許可を得た者の在学年限は、第20条第2項に定める。

(学年)

第12条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。ただし、秋学期入学生については、10月1日に始まり、翌年9月30日に終る。

(学期)

- 第13条 学年を次の2学期に分ける。
- (1) 春学期 4月1日から 9月30日まで
- (2)秋学期10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

- 第14条 授業を行わない日(以下「休業日」という。)は、次のとおりとする。ただし、学長が必要と認めると きは、休業日を変更又は臨時に休業日を定めることができる。
 - (1)日曜日
- (2)国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- (3)本学の開学記念日 10月20日
- (4)メモリアルデー 1月16日

- (5)夏季休業 8月10日から9月20日まで
- (6) 冬季休業 12月25日から翌年1月5日まで
- (7)春季休業 翌年2月10日から3月31日まで
- 2 休業日の変更又は臨時の休業日については、その都度公示する。

第4章 学籍

(入学の時期)

第15条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、再入学及び転入学については、学期の始めとすることができる。

(入学資格)

- 第16条 本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。
 - (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程により、これに相当する 学校教育を修了した者
 - (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の 指定した者
 - (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を 修了した者
 - (5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (6) 文部科学大臣の指定した者
 - (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入 学資格検定に合格した者を含む。)
 - (8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
 - (9) 本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

(入学の出願)

第17条 本学に入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類を添えて願い出なければならない。

(入学者の選考)

第18条 前条の入学志願者に対しては、試験を行いその成績等により選考する。

(入学手続き及び入学許可)

- 第19条 入学者の選考に合格した者は、所定の期日までに入学誓約書その他所定の書類を提出し、第42条 に規定する、所定の学費を納付しなければならない。
- 2 学長は、正当な事由なくして期日までに前項の手続きを完了しない者の合格を取消すことができる。
- 3 学長は、第1項の入学手続きを完了した者に入学式において入学を許可し、学生証を交付する。

(編入学、転入学及び再入学)

- 第20条 次の各号の一に該当し、本学に入学を志願する者は次のとおりとする。
 - (1)大学を卒業した者又は退学した者
 - (2)短期大学又は高等専門学校を卒業した者
 - (3)専修学校専門課程を卒業した者
 - (4)他の大学に在学中の者で、現に在学する大学の学長による転学の承認を得た者また、学長は次の各号の一において入学を許可することができる。
 - (1)編入学については、編入学定員内において、選考の上、入学を許可することができる。

- (2) 転入学及び再入学については、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。
- 2 前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき 年数については、教授会の議を経て学長が決定する。
- 3 前3条の各規定は、第1項の入学に準用する。

(休学)

- 第21条 疾病その他特別の事由により修学することができない者は、1 学期又は 1 年間(2 学期)を区分として、様式第 1 に規定する休学願を提出し学長の許可を得て休学することができる。
- 2 学長は、疾病その他特別の事由により修学することが適当でないと認めるときに、教授会の議を経て、 休学を命ずることができる。

(休学の期間)

- 第22条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の事由があるときは、1年を限度として休学期間の延 長を認めることができる。
- 2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。
- 3 休学期間は、第10条の修業年限及び第11条の在学年限に算入することができない。

(復学)

第23条 休学期間中にその事由が消滅したときは、様式第2に規定する復学願を提出し学長の許可を得て復学することができる。ただし、復学の時期は、学期の始めとする。なお、休学の期間が満了したときには 復学となる。

(転学)

第24条 他の大学又は短期大学に入学又は転入学を志願しようとする者は、所定の手続により願い出て、学 長の許可を得なければならない。

(転学部)

- 第25条 転学部を願い出る者は、選考し各教授会の議を経て、学長がこれを許可する。
- 2 転学部について必要な事項は、別に規程で定める。

(留学)

- 第26条 外国の大学又は短期大学で修学することを志願する者は、様式第4に規定する留学願を提出し学長の許可を得なければならない。
- 2 第36条の規定は、前項の留学の場合に準用する。
- 3 第1項の許可を得て留学した期間は、第11条に定める在学年限に含めることができる。

(願い出による退学)

第27条 病気その他の事由により退学しようとする者は、様式第5に規定する退学願を提出し学長の許可を 得なければならない。

(除籍)

- 第28条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。
- (1)第11条に定める在学年限を超えた者
- (2)第22条第2項に定める休学期間を超えてなお修学できない者
- (3)長期間にわたり行方不明の者
- (4)学費の納付を怠り、催促してもなお納付しない者
- (5)死亡の届け出があった者
- 2 前項第4号の規定により除籍された者が、復籍を願い出たときは、学長がこれを許可することがある。

第5章 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

- 第29条 授業科目は、基礎教育科目及び専門教育科目とする。
- 2 授業科目の種類及び単位数等は、別表第1及び第5のとおりとする。

(単位の計算方法)

- 第30条 各授業科目の単位は、1 単位の授業科目を 4 5 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね 1 5 時間から 4 5 時間までの範囲の授業をもって 1 単位として単位数を計算する。
- 2 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行う。ただし、学長が本学で教育上特別の必要があると認められるときは、教授会の議を経て、これらの期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

(履修方法)

- 第31条 学生は、所属する学部及び学科の所定の授業科目を履修しなければならならない。
- 2 学生は、当該年度又は当該学期に履修する授業科目を選択し、指定期間内に所定の方法により履修科目 を届出なければならない。
- 3 履修について必要な事項は、別に規程で定める。

(単位修得等の認定)

- 第32条 単位修得の認定その他授業科目履修の認定は、試験その他の審査により行う。
- 2 試験及び審査の方法について必要な事項は、別に規程で定める。
- (第1年次に入学した者の既修得単位の認定)
- 第33条 本学の第1年次に入学した者が大学又は短期大学を卒業又は中途退学している場合、本学で教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、学長が既に修得した単位から、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目について、合計30単位を超えない範囲において、本学で修得したものとして認定することができる。

(成績の評価)

- 第34条 授業科目の成績は、一般講義科目は、A+、A、B、C、Fの5段階、ゼミナール科目はP、Fの2段階の評語をもって表示する。
- 2 表示した成績は、Fを不合格としその他を合格とする。
- 3 第33条、第35条及び第36条により認定された授業科目の成績は、認定(N)の評語をもって表示する。
- 4 成績評価について必要な事項は、別に規程で定める。

(他学部科目の履修)

- 第35条 学生は、他の学部に開設されている授業科目のうち定められた科目を、24単位を超えない範囲に おいて履修することができる。ただし、履修を希望する者は、あらかじめ学部長の許可を得なければならない。
- 2 前項の履修により修得した単位は、卒業に必要な修得単位数に算入することができる。

(他の大学の授業科目の履修)

- 第36条 学生は、他の大学、短期大学又は外国の大学との協議に基づき、授業科目を履修又は外国の大学に 留学することができる。
- 2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、教授会の議を経て、学長が60単位を限度として認定することができる。
- 3 本学を休学時に他の大学、短期大学又は外国の大学で修得した単位の認定については、別表第2に掲げる単位認定料を徴収する。

(教育職員免許状取得のための課程)

第37条 本学に教育職員免許状取得のための課程を置く。

- 2 本学において資格の取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科は、別表第3のとおりとする。
- 3 教育職員免許状を得ようとする者は、別表第4に定める「教科に関する基礎及び専門科目」及び別表第5 に定める「教職に関する科目」を履修しなければならない。
- 4 別表第5に定める「教職に関する科目」は、卒業に必要な単位数に算入することができない。

第6章 進級、卒業及び学位

(谁級)

第38条 別表第1に定める所定の要件を満たした者は、教授会の議を経て、学長が進級を認める。

(卒業)

- 第39条 本学に4年以上在学し、別表第1に定める所定の単位数以上を修得した者は、教授会の議を経て、 学長が卒業を認める。
- 2 当該学部の学生として3年以上在学した者が、別表第1に定める所定の単位数以上を優秀な成績で修得したと認めるとき、前項の規定にかかわらず教授会の議を経て、学長が早期卒業として認めることができる。
- 3 早期卒業について必要な事項は、別に規程で定める。

(学位)

- 第40条 学長は、卒業を認めた者に次の学位を授与し、「卒業証書・学位記」を交付する。
 - (1)経営情報学部 学士(経営学)
 - (2) グローバルスタディーズ学部 学士(グローバルスタディーズ学)

第7章 賞罰

(表彰)

第41条 人物及び学業の優秀な者又は本学の学生として表彰に価する功績があった場合は、教授会の議を経て、学長が表彰する。

(懲戒)

- 第42条 本学則若しくは本学で定める諸規則に違反した者又はその他学生としての本分に反する行為があった場合は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。
- 2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。
- 3 懲戒について必要な事項は、別に規程で定める。ただし、定めた規程は、本学則と同様の取扱で公開する。

第8章 学費

(学費の種類及び額)

- 第43条 学生は、学年毎に授業料その他所定の学費を納付しなければならない。
- 2 学費の種類及びその額は、別表第2のとおりとする。

(学費の納付)

- 第44条 授業料及び施設費(維持費)は、年額の二分の一ずつを次の2学期に分けて納付しなければならない。
 - (1) 春学期(4月から9月まで): 納期 4月中
 - (2)秋学期(10月から翌年3月まで):納期10月中
- 2 図書教材費は、学年始めの月に一括して納付しなければならない。

(復学等の場合の学費)

第45条 春学期又は秋学期に復学又は入学した者は、当該学期分の授業料及び施設費(維持費)並びに当該 学年度分の図書教材費が未納の場合は、これ等を含め一括して復学又は入学した月に納付しなければなら ない。

(退学等の場合の学費)

- 第46条 春学期又は秋学期の中途で退学又は除籍された者の当該学期分の学費は、徴収する。
- 2 停学期間中の学費は、徴収する。

(休学の場合の学費)

- 第47条 休学を許可された者又は命ぜられた者は、休学期間が1学期以上にわたる場合においてその学期分の授業料及び施設費(維持費)は徴収しない。
- 2 休学を許可された者又は命ぜられた者は、休学在籍料として別表第2に定める額を納付しなければならない。ただし、休学期間が1学期以下の場合においては、休学在籍料は年額の半分を納付するものとする。 (研究生等の学費)
- 第48条 研究生、聴講生及び特別聴講学生の入学検定料、入学金及び授業料等の学費については、別に定める。

(既納の学費)

第49条 既納の入学検定料、入学金及び授業料等の学費は、返還しない。ただし、入学式までに入学を辞退した場合には、既納した入学手続納付金のうち、入学金を除く金額を返還する。

(ダブル・ディグリー・プログラムに関わる学費)

- 第50条 海外の大学との協定に基づくダブル・ディグリー留学制度に則り、ダブル・ディグリー留学を許可された者は、留学先の学費を納付する必要がある場合に限り、当該学期分の授業料及び施設費(維持費)並びに当該年度分の図書教材費は徴収しない。
- 2 前項の条件で留学を許可された場合、所定の金額を本学に納付しなければならない。金額については別 途定める。

第9章 奨学

(奨学)

- 第51条 能力があるにもかかわらず経済的理由によって就学が困難な者及び特に学力が優れている者に対して、奨学の方法を講ずることができる。
- 2 奨学の方法は、奨学金の給付又は貸与とする。
- 3 奨学について必要な事項は、別に規程で定める。

第10章 研究生、特別聴講学生、科目等履修生、聴講生及び外国人留学生

(研究生)

- 第52条 本学の特定の専門事項について、研究することを志願する者がいるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考し学長が研究生として入学を許可することができる。
- 2 研究生について必要な事項は、別に規程で定める。

(特別聴講学生)

- 第53条 他の大学又は外国の大学の学生で、協議に基づき本学の特定の授業科目を履修することを志願する者がいるときは、学長が特別聴講学生として入学を許可することができる。
- 2 特別聴講学生について必要な事項は、別に規程で定める。

(科目等履修生)

- 第54条 本学の特定の授業科目を履修することを志願する者がいるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考し学長が科目等履修生として入学を許可することができる。
- 2 科目等履修生について必要な事項は、別に規程で定める。

(聴講生)

- 第55条 本学の特定の授業科目を聴講することを志願する者がいるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考し学長が聴講生として入学を許可することができる。
- 2 聴講生について必要な事項は、別に規程で定める。

(外国人留学生)

第56条 外国人であって、外国において通常の過程による12年の学校教育課程を修了した者又はこれと同

等以上の資格ある者が、本学に入学を志願するときは、日本政府、日本政府の承認した外国政府若しくは 日本駐在の外国公館の発行した身分証明書又はこれに準ずる証明書のある者に限り、選考し学長が入学を 許可することができる。

2 外国人留学生について必要な事項は、別に規程で定める。

第11章 公開講座

(公開講座)

- 第57条 地域社会の発展に寄与し、社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設 することができる。
- 2 公開講座について必要な事項は、別に規程で定める。

第12章 寄付講座

(寄付講座)

- 第58条 学外の機関等から授業科目の運営に必要な経費の寄付を受け、本学の教育研究に資するため、本学に寄付講座を開設することができる。
- 2 寄付講座について必要な事項は、別に規程で定める。

附則

1 この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附則

1 この学則は、令和7年4月1日から施行する。

多摩大学学生懲戒規程(抜粋)

(目的)

第1条 この規程は、多摩大学学則(以下「学則」という。)第41条の規定に基づき学生の懲戒について必要な事項を定めることを目的とする。

(徴戒の定義)

- 第2条 懲戒対象者は、学則に規定する学部学生、研究生、特別聴講生、科目等履修生、聴講生及び外国人 留学生(以下「学生」という。)とする。
- 2 懲戒は、本学で学生の本分を全うさせるために、学校教育法及び学校教育法施行規則に基づき行う。
- 3 懲戒は、総合的に検討し教育的見地に基づき行う。
- 4 懲戒により学生に科す不利益は、懲戒目的を達成するため必要最小限とする。

(徴戒の種類)

- 第3条 学則第41条第2項で規定した懲戒の種類は、次の各号の一に該当する内容とする。
 - (1)退学は、学生としての身分を奪う事。
 - (2) 停学は、無期又は有期としその期間の登校を禁止する事。
 - ア 停学の期間は、在学年限に含め修業年限に含めない。
 - イ 停学の期間が 1 ヶ月以下でかつ特別の事情がある場合は、学生委員会で審議し第7条に規定する学 長の決定において修業年限に含めることができる。
 - ウ 有期停学は6ヶ月以下とする。
 - (3)訓告は、口頭及び文書により厳重な注意を行い、期限を定めて反省文の提出をさせる事。

(徴戒の基準)

- 第4条 前条に定める懲戒の基準は、次の各号の一に該当する内容とする。
 - (1)退学
 - ア 本学及び社会秩序を乱し、本学の教育研究活動を妨げる行為を行った場合で特に悪質と判断した場合
 - イ 学内又は学外において重大な非違行為を行った場合で特に悪質と判断した場合
 - ウ 本学の規則等又は命令に違反する行為を行った場合で特に悪質と判断した場合
 - エ 本学が実施する試験等において、不正行為を行った場合で特に悪質と判断した場合
 - オ その他退学を受けた者の行為を教唆若しくは幇助した場合
 - (2)停学
 - ア 本学及び社会秩序を乱し、本学の教育研究活動を妨げる行為を行った場合
 - イ 学内又は学外において悪質な非違行為を行った場合
 - ウ 本学の規則等又は命令に違反する行為を行った場合で悪質と判断した場合
 - エ 本学が実施する試験等において、悪質な不正行為を行った場合
 - オ その他懲戒処分をしても改善の見込みがない場合
 - (3)訓告
 - ア 学内又は学外において非違行為を行った場合
 - イ 本学の規則等又は命令に違反する行為を行った場合
 - ウ 本学が実施する試験等において、不正行為を行った場合

(審議)

- 第5条 学部長は、学生が懲戒の対象となりうる事項があったと認められるとき、学生委員会に調査を命ずる。
- 2 学生委員会は、事実関係の調査及び懲戒の種類の審議を行い、結果を教授会へ報告する。

(調査)

- 第6条 学生委員会は、当該学生及び関係者等から資料の提出を求め、事情及び意見を聴くことができる。
- 2 学生委員会は、当該学生に弁明の機会を与える。
- 3 当該学生は、弁明の場において必要な証拠を提出し証人の喚問を求めることができる。また、当該学生は、補佐人を指名し補佐を受けることができる。
- 4 当該学生が、弁明の場を正当な理由なく欠席したとき、弁明の権利を放棄したものとする。
- 5 学生委員会は、懲戒処分決定前に謹慎を命ずることができる。ただし、謹慎の期間は、3ヶ月以内とする。
- 6 謹慎は、当該学生の行為が第4条で定める懲戒基準に該当するとき行うことができる。
- 7 謹慎期間は、停学期間に通算することができる。
- 8 謹慎期間中は、本学の教育課程の履修登録、履修、試験等の受験及び課外活動へ参加することはできない。ただし、学部長が教育指導上必要と認めた場合は、参加ができる。
- 9 謹慎期間中に休学又は退学を申し出た場合は、これを認めない。

(徽戒の決定及び解除)

- 第7条 懲戒は、教授会の議を経て、学長が行う。
- 2 懲戒は、様式第1に定める懲戒通知書に理由も添えて当該学生に通知する。ただし、有期停学の場合は、停学解除日も通知する。
- 3 無期停学の解除を行う場合は、教授会の議を経て、学長が行う。学長は、決定により停学解除を当該学 生に文書で通知する。

(再審杳)

- 第8条 懲戒を受けた学生は、事実誤認、新事実の発見又はその他正当な理由があるとき、それらを示す資料を添えて文書にし、学長に再審査の申請を行うことができる。
- 2 再審査の申請は、懲戒通知書の決定日から1ヶ月以内とする。
- 3 学長は、再審査を行うかどうか判断し教授会の議を経て決定する。
- 4 学長は、再審査の必要があると決定したとき、学部長に再審査を命じる。
- 5 学長は、再審査の必要がないと決定したとき、当該学生に文書で通知する。
- 6 再審査の申請を行い学長が教授会の議を経て、懲戒の決定又は解除行うまでは、すでに決定された懲戒 内容の変更はできない。
- 7 再審査の調査は、第6条の規定を準用する。

(停学期間中の措置)

- 第9条 停学期間中は、当該学生が本学の教育課程の履修登録、履修、試験等の受験、及び課外活動へ参加することはできない。ただし、学部長が教育指導上必要と認めた場合は、この限りではない。
- 2 停学期間中は、当該学生に対して定期的な面談及び指導を行う。
- 3 停学期間中に休学又は退学を申し出た場合は、これを認めない。

(事務)

第10条 学生課は、学生の懲戒についての庶務を担当する。

(規程の公開)

第11条 本規程は、学生の不利益等につながる重要な規程であることから、本学のホームページ、学生ハンドブック等に学則と同様の取扱で公開する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

多摩大学履修規程(抜粋)

(目的)

- 第1条 この規程は、多摩大学学則(以下「学則」という。)第31条、第32条及び第34条の規定に基づき、 授業科目(以下「科目」という。)の履修、試験及び成績評価について必要な事項を定めることを目的とする。 (科目の履修)
- 第2条 学生は、学則第31条第2項の履修科目届により、履修しようとする科目を登録しなければならない。
- 2 登録した科目の変更又は追加は認めない。
- 3 学科・年次・クラスが指定された科目については、その指定に従い履修するものとする。ただし、科目 担当者が特に認めた場合はこの限りでない。
- 4 同一科目を同一年度に重複して履修することはできない。ただし、教育課程表及び授業時間割表において指示する特定の科目についてはこの限りでない。
- 5 すでに単位を修得した科目を履修することはできない。
- 6 履修に関するその他の事項については、教育課程表、講義要綱及び時間割表に定める方法によるものとする。

(定期試験)

- 第3条 定期試験は、学期末に行う。
- 2 定期試験を受験することができる者は、履修科目届けを提出したものに限る。
- 3 受験できる科目は、登録した科目とする。
- 4 授業料その他の納付金の未納者は、受験することができない。

(追試験)

- 第4条 追試験は、定期試験を実施した科目(レポートにより実施した科目を除く。)を、病気その他やむを得ない理由により受験できなかった者に対し、本学が指定する日にこれを行うことができる。
- 2 追試験を希望する者は、医師の診断書等理由を証明するに足る書類を添え、原則として当該科目の試験日を含む3日以内(ただし、日曜日、祝日は除く。)にその申請をし、教務委員会の許可を得なければならない。
- 3 追試験を許可された者は、所定の期日までに追試験料を納付しなければならない。

(再試験)

- 第5条 卒業年次の学生及び進級年次の学生が、履修登録した科目のうち不合格になった科目に対し、再試験を実施することがある。
- 2 再試験についての必要な事項は、別に定める。
- 3 再試験を許可された者は、所定の期日までに再試験料を納付しなければならない。

(試験の実施)

第6条 第3条、第4条及び第5条の試験に関する事項は別に定める。

(臨時試験)

第7条 臨時試験は、各科目担当者が随時これを行うことがある。

(不正行為)

- 第8条 第3条、第4条及び第5条に定める試験において、不正行為を行なった者は多摩大学学生懲戒規程 に基づき処分する。
- 2 受験中に答案を持ち出した者については、その受験科目を不合格とする。

(成績評価)

第9条 成績の評価は、次の評語及び基準によるものとする。なお、科目によっては下記の基準によらない 場合がある。

経営情報学部

	一般講義科目		ゼミナール科目	
	評価	配分基準	評価	配分基準
	一門叫	(合格者に占める割合)	計画	(合格者に占める割合)
合格	A+	100点~90点		
Н	Α	89点~80点	P	
	В	79点~70点	P	
	С	69点~60点		
不合格	F	59点以下	F	
認定	N		N	

(成績照会)

第10条 成績評価について疑問がある場合は、成績の照会を申出ることができる。

2 成績照会は、次学期授業開始後2週間以内に事務局担当窓口に申出なければならない。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

多摩大学経営情報学部履修細則

(目的)

第1条 この規程は、多摩大学履修規程第11条の規定に基づき、経営情報学部における授業科目の履修に ついて必要な事項を定めることを目的とする。

(履修上限)

第2条 各学期の履修上限単位数及び履修上限外科目は、別表第1のとおりとする。

(認定科目)

第3条 認定科目は、別表第2のとおりとする。

(外国人留学生の授業科目)

第4条 私費外国人留学生等の授業科目の取り扱いについて特例を定めるものとする。

2 私費外国人留学生等に開設する授業科目、及び単位数等は、別表第3のとおりとする。

(前提科目)

第5条 前提科目は、別表第4のとおりとする。

(細則の改廃)

第6条 この細則の改廃は、教務委員会の議を経て委員長が行う。

附 則

この細則は、令和7年4月1日から施行する。

別表第1

履修上限単位数・履修上限外科目【経営情報学部】

(1)令和5(2023)年度以降入学生

各学期20単位まで履修登録することができます。ただし前学期のGPAが2.8以上の場合、各学期24単位まで履修登録することができます。なお、前々学期にGPA2.8以上を修得しても前学期に留学・休学等でGPAが2.8未満もしくは単位修得していない場合、上限単位数の引き上げは適用しません。

履修上限外科目は以下とします。

	履修上限外科目		
GPA算入科目			
ホームゼミI~VI	プログラミング入門	データ分析入門	会計入門
経営管理入門			
GPA 除外科目			
インターンシップⅠ・Ⅱ	Study Abroad	アクティブ・ラーニ	ング実践
教職に関する科目	情報科教育法Ⅰ・Ⅱ	単位互換科目	
ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	フランス語Ⅰ・Ⅱ		

(2)平成31(2019)~令和4(2022)年度入学生

各学期20単位まで履修登録することができます。ただし前学期のGPAが2.8以上の場合、各学期24単位まで履修登録することができます。なお、前々学期にGPA2.8以上を修得しても前学期に留学・休学等でGPAが2.8未満もしくは単位修得していない場合、上限単位数の引き上げは適用しません。

履修上限外科目は以下とします。

	履修上限外科目	
GPA算入科目		
立志特講Ⅰ~Ⅲ	問題解決学特講Ⅰ~Ⅲ	ホームゼミI~WI
GPA除外科目		
インターンシップⅠ・Ⅱ	AP数学	Study Abroad
アクティブ・ラーニング実践	教職に関する科目	情報科教育法Ⅰ・Ⅱ
単位互換科目	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	フランス語Ⅰ・Ⅱ

(3)平成30(2018)年度入学生

各学期24単位まで履修登録することができます。

履修上限外科目は以下とします。

	履修上限外科目	
GPA算入科目		
立志特講Ⅰ~Ⅲ	問題解決学特講Ⅰ~Ⅲ	
GPA除外科目		
インターンシップⅠ・Ⅱ	キャリア・デザインⅡ~Ⅳ	AP数学
Study Abroad	アクティブ・ラーニング実践	教職に関する科目
情報科教育法Ⅰ・Ⅱ	単位互換科目	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ
フランス語Ⅰ・Ⅱ		

別表第2 認定科目【経営情報学部】

(1)平成31(2019)年度以降入学生

	認定科目	
インターンシップⅠ・Ⅱ	キャリア・デザインⅣ	AP数学
Study Abroad	アクティブ・ラーニング実践	単位互換科目
ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	フランス語Ⅰ・Ⅱ	

(2)平成30(2018)年度以前入学生

認定科目						
インターンシップⅠ・Ⅱ	キャリア・デザインⅡ~Ⅳ	AP数学				
Study Abroad	アクティブ・ラーニング実践	単位互換科目				
ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	フランス語Ⅰ・Ⅱ					

以上

別表第3 特例科目一覧表【経営情報学部】

科目群		分野	授業科目の名称	年次	学期	単位数	科目区分	適用する入学
								(カリキュラム)年度
基礎	教養・	人文·歴史	日本事情I	1	秋	2	選択必修	2024年度以降入学生
			日本事情Ⅱ	2	春	2	選択必修	2023年度以降入学生
		社会科学	日本事情Ⅲ	2	春	2	選択必修	2023年度以降入学生
			日本事情IV	2	秋	2	選択必修	2023年度以降入学生
		語学	日本語講座:初級	1	春	2	選択必修	2023年度以降入学生
			日本語講座:中級 I	1	春	2	選択必修	2023年度以降入学生
			日本語講座:中級Ⅱ	1	秋	2	選択必修	2023年度以降入学生
			日本語講座:上級	1	秋	2	選択必修	2023年度以降入学生
	専門基礎	AL 留学	アクティブ・ラーニング 実践(日本語能力試験 (N1)対策講座)	1	秋	2	選択	2024年度以降入学生
			アクティブ・ラーニング 実践(日本語能力試験 (N2)対策講座)	1	秋	2	選択	2024年度以降入学生
			アクティブ・ラーニング 実践(日本理解)	1	秋	2	選択	2024年度以降入学生

注1: 私費外国人留学生は、「多摩大学外国人留学生規程」第2条第1号にて定める。

注2:私費外国人留学生は、「日本語講座」4科目(8単位)の内、2科目(4単位)以上修得することを卒業要件

として定める。

注3: 「日本語講座」は「多摩大学外国人留学生規程」第2条にて定める留学生が履修できるものとする。

別表第4 前提科目【経営情報学部】

下記の科目を履修するには、前提科目の単位修得が必要であり、前提科目の単位を修得していない場合、履修できない。

【語学系】

科目名	配当年次	前提科目名(配当年次)
韓国ビジネスコミュニケーションI	2年	韓国語I(1年)
韓国ビジネスコミュニケーションⅡ	2年	韓国語 (1年)
中国ビジネスコミュニケーションI	2年	中国語I(1年) -中国語II(1年)
中国ビジネスコミュニケーションII	2年	日本語講座初級(1年)
Basic Office English I	2年	日本語講座中級I(1年)
Basic Office English II	2年	日本語講座中級II(1年)
Practical English Conversation I	2年	日本語講座上級(1年)
Practical English Conversation II	2年	English Expression I(1年) English Expression II(1年)
TOEIC I	2年	*上記から同一言語にこだわらず
TOEIC II	2年	2科目の単位修得が必要である。
TOEIC III	3年	TOEIC I
TOEIC IV	3年	TOEIC II *上記2科目の単位修得が必要である。

【その他】

科目名	配当年次	前提科目名(配当年次)	
原価計算	2年		
中級簿記	2年		
財務会計	2年	初級簿記(1年)	
財務分析	経営情報学科:4年		
烈 7 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	事業構想学科:3年		
財務管理	経営情報学科:4年	財務分析(経営情報学科:4年、	
划务官连	事業構想学科:3年	事業構想学科:3年)	
マクロ経済学	2年	ミクロ経済学(1年)	
マーケティング・データ分析	2年	マーケティング・リサーチ(2年)	
アドバンスド・ライティング・スキル	2年	ライティング・スキル(1年)	

多摩大学外国人留学生規程(抜粋)

第2条 留学生の定義は、次の各号の一に該当する者をいう。

- (1)私費外国人留学生
- (2)国費外国人留学生
- (3)科目等履修生
- (4)特別聴講生(大学間交流協定に基づく外国人留学生)
- (5)研究生

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

多摩大学早期卒業規程(抜粋)

(対象学生)

第2条 早期卒業の対象学生は、学則第38条第2項に規定する者とする。ただし、再入学、編入学及び転入学した学生又は教職課程科目の履修者は、対象とならない。

(早期卒業要件)

- 第5条 早期卒業の要件は、3年又は3年半在学して所定の科目を履修し、多摩大学履修規程に規定する卒業要件単位数以上を修得しなければならない。ただし、休学した期間は在学期間に含まれない。
- 2 早期卒業要件について必要な事項は、別に細則で定める。

(申請の取下げ)

第6条 早期卒業希望者は、卒業の1ヶ月前までに早期卒業申請を取下げることができる。

(卒業の時期)

第7条 早期卒業の時期は、春季入学生にあっては3年次の3月以降、秋季入学生にあっては3年次の9月 以降とする。

R(d ⊟I

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

多摩大学経営情報学部早期卒業細則(抜粋)

(認定要件)

- 第2条 早期卒業の認定要件は、早期卒業規程第3条第1項に定めるもののほか、2年次終了時において、 以下のすべての要件を満たしていなければならない。
 - (1)以下の単位を修得していること。

卒業に必要な必修・特別選択必修科目の単位の全てと卒業に必要な合計単位数の75%以上。(小数点以下の端数は切り上げとする)

- (2) GPA が 3.2以上であること。
- (3) ホームゼミナールに所属し、担当教員の推薦を得ていること。ホームゼミナールに所属しない場合は 専任教員2名の推薦状を得ていること。
- (4)早期卒業の意志及び理由が明確であること。

(学習指導体制)

第3条 学習指導体制として、ホームゼミナール担当教員、教務委員長及びホームゼミナール担当教員が指名した教員1名(合計3名)又はホームゼミナール未所属の場合は教務委員長及び学生を推薦した専任教員2名(計3名)を配置する。

(早期卒業要件)

- 第4条 早期卒業の要件は、早期卒業規程第5条第1項に定めるもののほか、以下のすべての要件を満たしていなければならない。
 - (1) GPAが3.2以上であること。
- (2) 本学大学院の入学許可を得ていること。

(GPA)

- 第5条 成績評価の評定平均値(GPA)は、次の方法で算出する。
 - $\{(4.0 \times A + \& P の修得単位数) + (3.0 \times A の修得単位数) + (2.0 \times B の修得単位数) + (1.0 \times C の修得単位数) + (2.0 \times B の修得単位数) + (1.0 \times C の修得単位数) + (2.0 \times B の修得単位数) + (1.0 \times C の修得単位数) + (2.0 \times B の修得単位数) + (1.0 \times C の修得単位数) + (2.0 \times B の修得単位数) + (1.0 \times C now C$

附 則

この細則は、平成26年10月1日から施行し、平成24年度入学生より適用する。

多摩大学成績評価規程(抜粋)

(目的)

第1条 この規程は、多摩大学学則第34条に基づき、成績評価について必要な事項を定めることを目的と する。

(GPA)

第2条 成績評価の評定平均値(GPA)は、次の方法で算出する。

(卒業)

第3条 卒業判定にGPAを使用する場合、多摩大学早期卒業規程による。

(面談の実施)

第4条 成績不振者の基準は、各学期の修得単位数が4単位未満の者とし、成績不振者に対する履修指導面 談、就学の意思確認面談は、各年度に1回以上行い、3月31日までに実施する。

(退学勧告)

第5条 5年を超えて在籍し、GPAが1.0以下、かつ修得単位数が60単位未満の学生については、就学の意思確認面談を実施し、必要に応じて退学勧告を行うものとする。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

多摩大学奨学金規程(抜粋)

(目的)

第1条 この規程は、多摩大学学則第49条に基づき、多摩大学(以下「大学」という。)に在籍する学生に対し、能力があるにもかかわらず経済的理由によって就学が困難な者及び特に学力が優れている者に対して、多摩大学奨学金(以下「奨学金」という。)の給付又は貸与について必要な事項を定めることを目的とする。

(奨学金の種類)

- 第2条 奨学金は、次の各号のいずれかに該当する種類とし、各別表に掲げる。
 - (1)特別給費生奨学金(別表第1)
 - (2)成績優秀者奨学金(別表第2)
- (3)海外留学奨学金(別表第3)
- (4)多摩チャレンジ奨学金(別表第4)

(選考)

- 第3条 奨学金受給者(以下「奨学生」という。)の選考は、各学部において奨学生審査委員会(以下「審査委員会」という。)が行い、学長に申請する。学長は、各学部教授会の議を経て理事長に推薦する。理事長は、 奨学生及び奨学金支給額を決定する。
- 2 奨学生は、同一期間に複数の奨学金を重複して受給することができない。ただし、第2条第1項第3号 に規定する海外留学奨学金は除く。
- 3 多摩大学私費外国人留学生授業料減免規程に基づき、減免を受けている者の奨学金の支給額は、授業料の金額を上限とする。ただし、第2条第1項第3号に規定する海外留学奨学金は除く。
- 4 各奨学金の選考区分については、各別表のとおりとする。

(審查委員会)

- 第4条 各審査委員会の構成及び運営については、各別表のとおりとする。
- 2 各審査委員会の庶務担当事務局部課については、各別表のとおりとする。

(支給額)

- 第5条 各奨学金の支給額は、各別表のとおりとする。
- 2 奨学金は、返還を求めない。ただし、審査時の事項に不正の事実が判明した場合は、支給された奨学金を直ちに返納しなければならない。
- 3 奨学金は、次の各号のいずれかにより支給する。
- (1)学費の減免をもってこれに充てる。
- (2)現金振込又は現金をもって支給する。

(支給の停止、保留)

- 第7条 学業成績、健康、その他の理由により休学若しくは留年した場合及び奨学生として選考された事由 が消滅した場合は支給を停止する。
- 2 前項のほか奨学生に相応しくないと審査委員会が判断した場合には、学長経由理事長の了承を得て支給 を停止または一時保留することができる。
- 3 審査委員会は、第1項又は第2項の規定によって停止又は保留されている奨学金支給の復活を申請する ことができる。
- 4 審査委員会は、第2項及び第3項の規定に係る審議を原則として3月及び9月に行う。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。ただし、第2条第1項第2号(別表第2)については、令和2年12月1日から施行する。

別表第2

440	当人		
		成績優秀者奨学金	
委	員会名	成績優秀者奨学金奨学生審査委員会	
委員	員会構成	学部長、教務委員長、学生委員長、事務長、教務課長※各学部で行う。	
委員:	長(議長)	学部長	
委員会庶務事務局部課		教務課	
審	査時期	5月及び11月	
		(1)各学期毎、学年別成績が上位の者から順に候補者を選出する。ただ	
		し、当該学期学費未納者は、対象外とする。	
		(2)教職に関する授業科目を除く5科目以上の履修者とする。	
		(3)区分1の奨学生候補者選出については、以下とする。	
	経営情報学部	①評定平均が3.2以上の者	
審査方法	性名用報子司 	②複数者が対象となった場合は、評定平均最上位の者	
		③評定平均最上位の者が複数名の場合は、修得単位の多い者	
		④修得単位数が同一の場合は、その者全員を区分1とする。	
		(4)区分1の候補者選出後、区分2の候補者は、区分1及び区分2の合計	
		で各年次生毎に20名以内となるよう選出する。	
	※特別給費生とし	て奨学金を支給されている者は、原則対象外とする。	
審査基準			

	区分	1	2
		各学期毎に	各学期毎に
		1 年次生 1 名	1年次生 20名以内
奨学生数	経営情報学部	2年次生 1名	2年次生 20名以内
		3年次生 1名	3年次生 20名以内
		※区分1及び区分2の合計で各年次生毎	に20名以内
支	を給額	各学期分の授業料相当額	5万円
支	給期間	1 学期間毎に現金又は現金振込で支給す	る。
報	告事項	なし	
	/#- *	区分1の定員を超える人数分については	区分2の支給額を加え、均等に配分する。
	備考	なお、均等に分配できない場合は、小数	点を切り捨てる。

5.カリキュラム(教育課程) カリキュラム表(科目一覧) カリキュラムマップ カリキュラムツリー 履修モデル

EV.				年 70.0000		年
科目	目群	区分	春学期 科目	秋学期 科目	春学期 科目	秋学期 科目
Т		準必修	アジアと日本の歴史	グローバルヒストリー	71H	7º11
	文・			日本事情 I(※3・10)	哲学入門	世界の宗教
	歴史	選択必修			多摩の歴史	歴史学実践(※1)
	系				日本事情 II(※3)	
		準必修		法学(憲法)		
	21.0		ライフ・デザイン	余暇マネジメント	サブカルチャー論	現代メディア論
	社会科学			情報倫理	情報法	ライフ・デザイン(2年生以上)
	系	選択必修			ビジネス法	社会科学概論
					文化人類学(異文化理解)	防災学概論
					日本事情 III(※3)	日本事情 IV(※3)
		167(6)	English Expression I (%2)	English Expression II (%2)	English Expression I · II (再)	English Expression I · II (再)
教		修 (語	韓国語 I 中国語 I	韓国語 II 中国語 II		
雅		学)	中国四 I 日本語講座初級・中級I:留学生用(※3)	中国語 II 日本語講座中級II・上級:留学生用(※3)		
			E-FRINCEDIM (1862 - B) EDI(M2)	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	韓国ビジネスコミュニケーションI	韓国ビジネスコミュニケーションⅡ
					中国ビジネスコミュニケーションI	中国ビジネスコミュニケーションⅡ
	語学				Basic Office English I	Basic Office English II
					Practical English Conversation I	Practical English Conversation II
		選択必修			TOEIC I	TOEICII
					ドイツ語I(※7)	ドイツ語I(※7)
					ドイツ語II(※7)	ドイツ語II(※7)
					フランス語I(※7)	フランス語I(※7)
					フランス語II(※7)	フランス語II(※7)
	スポーツ	選択		スポーツ I	スポーツⅡ	
				スポーツと健康	4+DiDBWY v	4+ 042HeV w
L	特別講座	特別選択必须		12 mm 1 10 10 TES	特別講座I	特別講座Ⅱ
+		必修		ビジネススキル基礎	ナムリフ・デゼ ハ・*	ナムリフ・デザノン **
tr	キャリア	準必修		ライティング・スキル(※1)	キャリア・デザイン I 業界研究	キャリア・デザイン II アドバンスド・ライティング・スキル
リ		選択必修		フィティング・スキル(※1) ビジネススキル実践	pro restZti	, , ハンヘい・フィティンン・スキル
ア		選択		CZ-PAAT/PAIX		
\vdash		必修	スタディースキル入門			
			IT活用法	ICTビジネス入門		
		準必修	ビジネス数学基礎			
			ビジネス数学実践(※9)	コンピュータ概論	IT概論 I (※1)	IT概論Ⅱ(※1)
	情報系		ICTコミュニケーション入門(※9)	ICTコミュニケーション実践	情報ネットワーク	情報セキュリティ
		選択必修		AIの活用基礎	情報工学概論	
専						
門基						
礎		準必修	グローカルビジネス入門	多摩学		
	経営	4000	経営学入門	マーケティングマネジメント論		
	経済		経済学入門	ミクロ経済学	マクロ経済学	社会心理学
	系	選択必修			認知心理学	消費心理学
					時事問題研究基礎	時事問題研究実践
	AL 留学	選択	Study Abroad(※5) アクティブ・ラーニング実践(※5)	Study Abroad(※5) アクティブ・ラーニング実践(※5)		
H		必修	アンティン・ソーニンジ夫戌(※5)	アジティン・フーニンジ夫戌(※5)	経営情報論	
	学科 内系	準必修				図化技術概論
	共通				クラウドサービス活用	経営科学
	推奨	選択必修			ビジネス数学 I (線形代数)	ビジネス数学 Ⅱ (解析)
	科目				调查実験入門	先端情報技術概論
経	情報				クリエイティブデザイン I (動画編集)	クリエイティブデザインⅡ(3DCG)
営情	デザイン	選択必修			ユーザインタフェース	知覚心理学
報	系					
学	分析	100 APR 2- 17			マーケティング・リサーチ	マーケティング・データ分析
科	系	選択必修			データサイエンス I (データ利活用の基礎スキル)	データサイエンス II (推定・検定)
専	<u> </u>				データベース I (Access)	データベースII (SQL)
P9	開発	選択必修			テータベース I (Access) プログラミング言語 (C#)	テータベースII (SQL) Webプログラミング入門
科曰	系	ALJ/10/2198			プログラミング言語(C#) Webデザイン	
				初級簿記	中級簿記	コンピュータ・サイエンス 財務会計
	学科				サービス産業論	経営シミュレーションゲーム
1	共通	選択必修				経営情報特講
1						原価計算
1	コース	選択	プログラミング入門	データ分析入門	マーケティング・心理実践 I	マーケティング・心理実践Ⅱ
Г						
1	アジ					
	アユー					
_	ラシ					
事業	ア系					
莱構	<u> </u>					
想						
学	地域系	選択				
科	-0-0676	ALL 2011				
専						
門科				1		
科目	l					
13	経営系					
1	学科共通					
	コース		会計入門	経営管理入門	BE実践 I(戦略)	BE実践 II (組織)
345	SSEN C	必修	プレゼミ I (※2)	プレゼミⅡ(※2)	ホームゼミ I (※8)	ホームゼミI(※8)
演	習科目	選択			インターゼミ I ~VI	インターゼミ I 〜VI
_		卒業要件		教職概論(※6)	生徒指導・進路指導論(※6)	特別活動・総合的な学習の時間の指導法(
裁專	門科目群	外 (教職課程		教育原理(※6)	教育制度論(※6)	特別支援教育概論(※6)
		専用科目)			教育課程総論(※6)	教育方法(ICTを活用した教育の理論及び方法含む)

The same of the sa	年 Elizabeth		年 Edumano	F1 C
春学期 科目	秋学期 科目	春学期 科目	秋学期 科目	科目
科目	村目	科目	科目	
				文・
				歴史 系
				Mc.
青報と職業				
				社会
				科学
				系
				教
				赘
OEICII	TOEICIV			
				語学
				1
		I		
				\dashv
				スポーツ
				特別講座
	+	+		1000 PRINCE
トムリフ・ゴザ ハ・II	キャリア・デザインⅣ	1		+
Fャリア・デザインⅢ	+ャリア・テザインIV			7
		I		***** y
インターンシップ I (※4)	インターンシップ Ⅱ (※4)			
				7
	+			-
				情報系
				动
				P9
				華
				碰
				経営
				経済
				系
				AL
				留学
				学科
				内系
・ジタル産業特論				共通
				推奨
				科目
・ザイン思考	+			情報 経
・ソインから				
				> 45
	ビッグデータ・マーケティング(※11)			シ 情報
	ビッグデータ・マーケティング(※11) データサイエンスIV(多変量解析・分類)			ン系報
タサイエンスⅢ(データの要約と因果関係)				シ 情報
データサイエンスⅢ(データの要約と因果関係) 経営と意思決定(※1)				ン系分析系の
- ータサイエンス車(データの要約と因果関係) 経営と意思決定(※1) コンピュータネットワーク活用	データサイエンスIV(多変量解析・分類) ITセキュリティ(高度セキュリティ)			ン系分析系開発
- ータサイエンス車(データの要約と因果関係) 経営と意思決定(※1) コンピュータネットワーク活用	データサイエンスIV(多変量解析・分類)			ン系分析系の
- タサイエンスII(データの要約と因果関係) 経営と意思決定(※1) ンピュータネットワーク活用	データサイエンスIV(多変量解析・分類) ITセキュリティ(高度セキュリティ)			ン系分析系開発
データサイエンス皿(データの要約と因果関係) 経営と意思決定(※1) コンピュータネットワーク活用	データサイエンスIV(多変量解析・分類) ITセキュリティ(高度セキュリティ)			ン系
データサイエンス皿(データの要約と因果関係) 経営と意思決定(※1) コンピュータネットワーク活用	データサイエンスIV(多変量解析・分類) ITセキュリティ(高度セキュリティ)			ン系 が系 開系 学科 専門 科目
データサイエンス皿(データの要約と因果関係) 経営と意思決定(※1) コンピュータネットワーク活用	データサイエンスIV(多変量解析・分類) ITセキュリティ(高度セキュリティ)			ン系
データサイエンス車(データの要約と処果原係) 置営と慶思末定(※1) コンピュータネットワーク活用 Web プログラミング実践	データサイエンスW(多変量解析・分類) 「ドセキュリティ(高度セキュリティ) Webサービス開発			→ 系 析系 開系 学科通
データサイエンス車(データの要約と処果原係) 書客と慶思支定(※1) コンピュータネットワーク活用 Web プログラミング実践	データサイエンスIV(多変量解析・分類) ITゼキュリティ(周度ゼキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践IV	マーケティング・心理実践V	マーケティング・心理実践VI	ン系 が系 開系 学科 専門 科目
データサイエンス目(データの要的と回果原係) 容器と意思水更(※1) コンピュータネットワーク活用 Web プログラミング実践 マーケティング・心理実践目	データサイエンスW(多変量解析・分類) 「ドセキュリティ(高度セキュリティ) Webサービス開発	マーケティング・心理実践V アジア接系論	マーケティング・心理実践VI 韓国経済論	→ 系 析系 開系 学科通
データサイエンスⅡ(データの要的と回果原係) 器と思想決定(※1) コンピュータネットワーク活用 Veb プログラミング実践 マーケティング・心理実践Ⅲ 平葉模切論	データサイエンスIV(多変量解析・分類) ITゼキュリティ(周度ゼキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践IV			ン系 が系 開系 学共 コーアジ
マーケティング・データ分析実践 デークサイエンス=(データの契約と風寒関係) 含型と最級決定(※1) コンピュータネットワーク活用 Web プログラミング実践 マーケティング・心理実践Ⅲ 東葉規型論 国際経済学 国際経済学	データサイエンスN(多変量解析・分類) ITセキュリティ(高度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践IV 事業構造版新事情	アジア経済論	韓国経済論 華僑華人経済論	ン系 が 系 開発系 学科通 コース アジア
タサイエンスⅡ(データの要的と回果原係) 容器と應取定(※1) 2 シビュータネットワーク活用 Web プログラミング実践 マーケティング・心理実践Ⅲ 国際経済学 回原経済学 回原関係論	データサイエンスIV(多変量解析・分類) ITセキュリティ(周度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践IV 事業税に認みる場合 アジアダル論	アジア経済論 国際ビジネス論II	韓国経済論 華僑華人経済論 ロシア経済論(※1)	ン系 が系 院系 学科画 コージアユー
データウイエンスⅡ(データの要的と図果原係) 器と意思決定(※1) コンピュータネットワーク活用 Veb プログラミング実践 マーケティング・心理実践Ⅲ 草葉構想論 間障経済学 間障路係論 R代欧州論	データサイエンスN(多変量解析・分類) ITセキュリティ(周度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践N 事業構想動新事情 国際ビシネス油 アジアダ化論 中国語画の社会	アジア経済論 国際ビジネス論II	韓国経済論 華僑華人経済論	ン系が系 開系 料通 コース アアーシ
- 一クサイエンス国(データの要的と図果原係) 潜と意思決定(※1) ンピュータネットフーク活用 /eb プログラミング実践 アーグティング・心理実践回 「環構想論 「関経済学 「開経済学 「開発所法 は代数州論	データサイエンスN/多変量解析・分類) ITセキュリティ(高度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践IV 事業帳児服新甲育 国際ビジネス論I アジア文化論 中国語圏の社会 東南アシア経済論	アジア経済論 国際ビジネス論II	韓国経済論 華僑華人経済論 ロシア経済論(※1)	ン系が系列系を対し、アアフランスを対し、アファンスをできりになり、アファンスを対してアファンスを対してアファンスを対してアファンスを対してアファンスを対してアファンスをできりになりでできりになり、アファンスをできりになりになりになりになりになりになりになりになりになりになりになりになりになり
ニータサイエンス国(データの要的と図果原係) 潜と便能決定(※1) コンピュータネンク Veb プログラミング実践 マーケティング・心理実践Ⅲ 実験保証等 間限短済 間限短済 間限関係論 北アジア入門	データサイエンスIV(多変量解析・分類) ITセキュリティ(周度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践IV 事業税の服新事有 国際・ジアダ化論 中国服用シア経済論 現代実際論 現代実際論	アジア経済論 国際ビジネス論II 中国経済論	韓国経済論 華盛華人経済論 ロシア経済論(※1) アジアユーラシア論	ン系が系 開系 学共 コー アアユシ系
ニータサイエンスⅡ(データの要的と回果原係) 容器と應要決定(※1) 2分ピュータネットワーク活用 Neb プログラミング実践 RPM保証論 国際経済学 国際関係協 RRU欧州論 東アジア入門	データサイエンスN(多変量解析・分類) ITセキュリティ(周度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践N 事業構想動新事所 国際ビシネス論 中国語画の社会 東南アシア経済論 現代米国論 NPO・NGO論	アジア経済論 国際ビジネス論II 中国経済論 事業構想実践論	韓国経済論 華僑華人経済論 ロシア経済論(※1) アジアユーラシア論 ショッピングセンター論(※1)	ン系 分系 開系 学科通 ス ジアーシ系 事業構
ニータサイエンス国(データの要的と図果原係) 潜と便能決定(※1) コンピュータネンク Veb プログラミング実践 マーケティング・心理実践Ⅲ 実験保証等 間限短済 間限短済 間限関係論 北アジア入門	データサイエンスN/多変量解析・分類) ITセキュリティ(高度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践N/ 事業院認動事所 国際ビシネス論 アンア文化論 中国語酬の社会 東南アジア経済論 現代米国論 NPO・NGO論 金融論	アジア経済論 国際ビジネス論II 中国経済論 事業模想実践論 行動経済学	韓国経済論 韓保章人接済論 ロシア経済済(※1) アジアユーラシア論 ショッピングセンター論(※1) ソーシャルマーケティング	ン系 が系 開系 学科通 ス ジアーシ系 事業 構想学 事業 構想学
ニータサイエンス国(データの要的と図果原係) 潜と便能決定(※1) コンピュータネンク Veb プログラミング実践 マーケティング・心理実践Ⅲ 実験保証等 間限短済 間限短済 間限関係論 北アジア入門	データサイエンスN(多変量解析・分類) ITセキュリティ(周度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践N 事業構想動新事所 国際ビシネス論 中国語画の社会 東南アシア経済論 現代米国論 NPO・NGO論	アジア経済論 国際ビジネス論II 中国経済論 事業構想実践論 行動経済学 地域金融論	韓国経済論 華僑華人経済論 ロシア経済論(※1) アジアユーラシア論 ショッピングセンター論(※1)	ン系 分系 開系 学科通 スタアニラア 事業構想学 事業構想学
ニータサイエンスⅡ(データの要的と回果原係) 容器と應要決定(※1) 2分ピュータネットワーク活用 Neb プログラミング実践 RPM保証論 国際経済学 国際関係協 RRU欧州論 東アジア入門	データサイエンスN/多変量解析・分類) ITセキュリティ(高度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践N 事業院認新事情 国際ビシネス論 アンア文化論 中国語酬の社会 東南アジア経済論 現代米国論 NPO・NGO論 金融論	アジア経済論 国際ビジネス論II 中国経済論 事業模想実践論 行動経済学	韓国経済論 韓保章人接済論 ロシア経済済(※1) アジアユーラシア論 ショッピングセンター論(※1) ソーシャルマーケティング	ン系 が系 開発 学科連 コス ジアユラア アアユラア アアユラア 地域 想学科
ニータサイエンスⅡ(データの要的と回果原係) 容器と應要決定(※1) 2分ピュータネットワーク活用 Neb プログラミング実践 RPM保証論 国際経済学 国際関係協 RRU欧州論 東アジア入門	データサイエンスIV(多変量解析・分類) ITセキュリティ(周度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践IV 事業規度新事所 国際ビジネス直 アジア文化論 中国語館の社会 現代大国論 NPO・NGO論 金融論 地域政策プランニング	アジア経済論 国際ビジネス論II 中国経済論 事業構想実践論 行動経済学 地域金融論	韓国経済論 華信華人経済論 ロシア経済論(※1) アジアユーラシア論 ショッピングセンター論(※1) ソーシャルマーケティング 日本経済論	ン系 分系 開系 学科通 スタアニラア 事業構想学 事業構想学
データウイエンスⅡ(データの要的と回果原係) 器と意思大定(※1) コンピュータネットワーク活用 Veb プログラミング実践 マーケティング・心理実践Ⅲ 事業構想論 国際経済学 国際経済学 国際経済学 記述が外胎 東アジア入門	データサイエンスN/多変量解析・分類) ITセキュリティ(周度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践N 事業構想般新事情 国際ビシネス論 アシアダ化論 中国語簡の社会 東南アシア経済論 現成のことを 地域政策ブランニング スポーツ・マネジメント論 地域スポーツ論	アジア経濟論 国際ビジネス論II 中国経済論 事業模想実践論 行動経済学 地域会議論 中小企業高 ビジネスモデル総計	韓国経済論 韓保華人経済論 のシア経済論(※1) アジアユーラシア論 ショッピングセンター論(※1) ソーシャルマーケティング 世域観光論 地域産業論	ン系 が系 開系 学共 コー アアユラア 地域
今サイエンスⅡ(データの要的と回果原係) 書祭と慶郎末定(※1) コンピュータネットワーク活用 Web プログラミング実践 マーケティング・心理実践Ⅲ 平準構理論 国際関係論 R代欧州論 東アジア入門 ラ地ビジネスプランニング	データサイエンスN(多変量解析・分類) ITセキュリティ(周度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践N 事業規則最新事所 国際の社会 中国展開の社会 現代米国論 NPO・NGO論 金融論 地域政策プランニング スポーツ・マネシメント語 地域スポーツ論 経営思想史	アジア経済論 国際ビジネス論II 中国経済論 事業構想実践論 行動経済学 地域企業論 中小企業論 ビジネスモデル設計 対勢分析	韓国経済論 韓保華人経済論 ロシア経済論(※1) アジアユーラシア論 ショッピングセンター論(※1) ソーシャルマーケティング 日本経済論 地域経光論 地域経光論 財務管理	ン系 が系 開系 学科連 ス ジアユラア 単端
ニータサイエンス国(データの要的と図果原係) 潜と連載決定(※1) コンピュータネットフーク活用 Web プログラミング実践 マーケティング・心理実践Ⅲ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	データサイエンスN/多変量解析・分類) ITセキュリティ(周度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践N 事業構想般新事情 国際ビシネス論 アシアダ化論 中国語簡の社会 東南アシア経済論 現成のことを 地域政策ブランニング スポーツ・マネジメント論 地域スポーツ論	アジア経済論 国際ビジネス油II 中国経済論 事業構想実践論 行動経済学 地域金融論 中小企業論 ビジネスモデル設計 財政分析 ICTマーケティング	韓国経済論 韓信章人経済論 ロシア経済(※1) アジアユーラシア論 ショッピングセンター論(※1) ソーシャルマーケティング 日本経済論 地域観光論 地域観光論 地域観光論 境高 東京	ン系 が系 開系 学共 コー アアユラア 地域
ニータサイエンス国(データの要的と図果原係) 潜と連載決定(※1) コンピュータネットフーク活用 Web プログラミング実践 マーケティング・心理実践Ⅲ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	データサイエンスN(多変量解析・分類) ITセキュリティ(周度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践N 事業規則最新事所 国際の社会 中国展開の社会 現代米国論 NPO・NGO論 金融論 地域政策プランニング スポーツ・マネシメント語 地域スポーツ論 経営思想史	アジア経濟論 国際ビジネス施II 中国経済論 事業様想実践論 行動経濟学 地域企 が は が は に じ い な ス と ジ み ス に と が は 的 い の と 送 治 的 ー の い を と と り い り の と り と り と り と り と り と り と り と り に り に し に て し て り と り に し に て と り に し に し と り と り と り と り と り と り と り と り と り と	韓国経済論 韓保華人経済論 ロシア経済論(※1) アジアユーラシア論 ショッピングセンター論(※1) ソーシャルマーケティング 日本経済論 地域経光論 地域経光論 財務管理	ン系 が系 開系 学科連 ス ジアユラア 単端
ニータサイエンス国(データの要的と図果原係) 潜と悪意大定(※1) コンピュータネットフーク活用 Web プログラミング実践 マーケティング・心理実践Ⅲ 薬薬模型論 温際関係論 程代欧州論 表アジア入門 記域ビジネスプランニング	データサイエンスN(多変量解析・分類) ITセキュリティ(周度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践N 事業規則最新事所 国際の社会 中国展開の社会 現代米国論 NPO・NGO論 金融論 地域政策プランニング スポーツ・マネシメント語 地域スポーツ論 経営思想史	アジア経済論 国際ビジネス油II 中国経済論 事業構想実践論 行動経済学 地域金融論 中小企業論 ビジネスモデル設計 財政分析 ICTマーケティング	韓国経済論 韓信章人経済論 ロシア経済(※1) アジアユーラシア論 ショッピングセンター論(※1) ソーシャルマーケティング 日本経済論 地域観光論 地域観光論 地域観光論 境高 東京	ン系 分系 開系 学共通 ス ジーシ系 城縣 学科専門科目 アアユラア 地域 経営系
ニータサイエンスⅡ(データの要的と回果原係) 器と意思水定(※1) コンピュータネットワーク活用 Web プログラミング実践 マーケティング・心理実践Ⅲ 環境短論 国際関係協 R代欧州論 敦アジア入門 型域ビジネスプランニング	データサイエンスN(多変量解析・分類) ITセキュリティ(周度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践N 事業規則最新事所 国際の社会 中国展開の社会 現代米国論 NPO・NGO論 金融論 地域政策プランニング スポーツ・マネシメント語 地域スポーツ論 経営思想史	アジア経濟論 国際ビジネス施II 中国経済論 事業様想実践論 行動経濟学 地域企 が は が は に じ い な ス と ジ み ス に と が は 的 い の と 送 治 的 ー の い を と と り い り の と り と り と り と り と り と り と り と り に り に し に て し て り と り に し に て と り に し に し と り と り と り と り と り と り と り と り と り と	韓国経済論 韓信章人経済論 ロシア経済(※1) アジアユーラシア論 ショッピングセンター論(※1) ソーシャルマーケティング 日本経済論 地域観光論 地域観光論 地域観光論 境高 東京	ン系 が系 開系 学科連 ス ジアユラア 単端
ニータサイエンス国(データの要的と図果原係) 潜と速度決定(※1) コンピュータネットフーク選用 Web プログラミング実践 マーケティング・心埋実技皿 環境経済 関連経済 関連経済 関連経済 関連経済 関連関係 通常 対策が	データサイエンスN(多変量解析・分類) ITセキュリティ(周度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践N 事業規則最新事所 国際の社会 中国展開の社会 現代米国論 NPO・NGO論 金融論 地域政策プランニング スポーツ・マネシメント語 地域スポーツ論 経営思想史	アジア経濟論 国際ビジネス施II 中国経済論 事業様想実践論 行動経濟学 地域企 が は が は に じ い な ス と ジ み ス に と が は 的 い の と 送 治 的 ー の い を と と り い り の と り と り と り と り と り と り と り と り に り に し に て し て り と り に し に て と り に し に し と り と り と り と り と り と り と り と り と り と	韓国経済論 韓信章人経済論 ロシア経済(※1) アジアユーラシア論 ショッピングセンター論(※1) ソーシャルマーケティング 日本経済論 地域観光論 地域観光論 地域観光論 境高 東京	ン系 分系 開系 学共通 ス ジーシ系 城縣 学科専門科目 アアユラア 地域 経営系
データウイエンス里(データの要的と図果原係) 潜とを観光定(※1) コンピュータネットワーク返用 Web プログラミング実践 マーケティング・心理実践Ⅲ 事業構想論 国際経済学 国際関係論 RT ジア入門 おばビジネスブランニング アントレブレナーシップ論 芸芸戦略 正要構想特済 正要構想特済 正要構想特済 正要構想特済 正要構想特済 正要機能特務 正要規則(特務)	データサイエンスN(多変量解析・分類) ITセキュリティ(周度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践N 事業構想般新事所 国際ビシネス油 アジアダ化論 中国語艦の社会 東南アシア経済治 現代米国論 NPO・NGO論 金融論 地域政策ブランニング スポーツ・マネシメント論 地域スポーツ・マネシメント論 地域スポーツ・マネシメント論	アジア経済論 国際ビジネス論II 中国経済論 事業構想実践論 行動経済学 地域金融論 中小企業論 ビジネスモデル設計 財務分析 ICTマーケティング 経営組織 プランドマネジメント	韓国経済論 韓信章人経済論 ロシア経済(※1) アジアユーラシア論 ショッピングセンター論(※1) ソーシャルマーケティング 日本経済論 地域観光論 地域観光論 地域観光論 東楽戦略	ン系 が系 開系 学共 コーアアユラア 地域
ニータサイエンスⅡ(データの要的と図果原係) 富と意味支定(※1) コンピュータネットワーク活用 Web プログラミング実践 マーケティング・心理実践Ⅲ 平原構理論 関際関係論 R代政州論 東アジア入門 アントレプレナーシップ論 登戦戦略論 非業構理特殊 近天教徒 (野務) RームゼミⅢ・V(※8)	データサイエンスN(多変量解析・分類) ITセキュリティ(周度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践N 平果県即最新甲市 日間時の社会 東国アジア経済論 現代米国論 地域政策プランニング スポーツ・マネシメント論 地域カボブランニング スポーツ・マネシメント論 世球スポーツ論 経歴思想史 ヘンチャー企業論	アジア経濟論 国際ビジネス論II 中国経済論 事業模想実践論 行動経済学 地域金融治 中小企業論 ビジネスモデル総計 財務分析 ICTマーケティング 経路組織 ブランドマネジメント BE実践V	韓国経済論 韓保章人経済論 ロシア経済論(※1) アジアユーラシア論 ショッピングセンター論(※1) ソーシャルマーケティング 世域観光論 地域経業論 財務管理 流通論 事業戦略	ン系 が系 開系 学共 コーアアユラア 地域 経営 1941年 1841年 18
ニータサイエンスⅡ(データの要的と回果原係) 器と意思え定(※1) コンピュータネットワーク活用 Web プログラミング実践 マーケティング・心理実践Ⅲ 国際経済学 国際財産協 程代欧州論 東アジア入門 地域ビジネスブランニング アントレブレナーシップ論 芸芸版Ⅲ 東美族Ⅲ 東美族Ⅲ 東美族Ⅲ 東美族Ⅲ 東美族Ⅲ 東美族Ⅲ 東美族Ⅲ 東美族	データサイエンスIV(多変量解析・分類) ITゼキュリティ(周度ゼキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践IV 事業機理解析事情 国際ビジネス油I アジア文化論 中国脳階の社会 業用アジア経論 NPO・NGO論 金融論 NPO・NGO論 地域及東フランニング スポーツ・マネジメント論 地域スポーツ治 経営思想 ベンチャー企業論 DE実践IV (総合) ホームゼミIV・VI(※8) インターゼミI・VI	アジア経済論 国際ビジネス論II 中国経済論 事業構想実践論 行動経済学 地域金融論 中小企業語 ビジネスモデル総計 財務分析 ICTマーケティング 経営組織 プランドマネジメント BE実践V インターゼミI~VI	韓国経済論 静信章人経済論 ロシア経済(※1) アジアユーラシア論 ショッピングセンター論(※1) ソーシャルマーケティング 日本経済論 地域観光論 地域観光論 地域観光論 地域観光 高速論 事業戦略	ン系 が系 開系 学共 コーアアユラア 地域
ニータサイエンス国(データの要的と図果原係) 激と悪態大定(※1) コンピュータネング・心理実践Ⅲ 栗原担論 「原理・原理・原理・原理・原理・原理・原理・原理・原理・原理・原理・原理・原理・原	データサイエンスN(多変量解析・分類) ITセキュリティ(周度セキュリティ) Webサービス開発 マーケティング・心理実践N 平果県即最新甲市 国際の社会 中国開催の社会 増成アジア経済論 現代米国論 地域政策プランニング スポーツ・マネシメント論 地域及ボブランニング スポーツ・マネシメント論 世球スポーツ論 経歴思想史 ヘンチャー企業論	アジア経濟論 国際ビジネス論II 中国経済論 事業模想実践論 行動経済学 地域金融治 中小企業論 ビジネスモデル総計 財務分析 ICTマーケティング 経路組織 ブランドマネジメント BE実践V	韓国経済論 韓保章人経済論 ロシア経済論(※1) アジアユーラシア論 ショッピングセンター論(※1) ソーシャルマーケティング 世域観光論 地域経業論 財務管理 流通論 事業戦略	ン系 が系 開系 学共 コーアアユラア 地域

^{| ※5:}履修登録不可。単位認定後、成績が付与されます。 ※6:卒業要件に含まれません。 ※9:2025年度入学生以外は、履修不可 ※10:2024年度以降入学生のみ履修可

【2023~2025年度入学生】経営情報学部事業構想学科 2025年度カリキュラム表

				【2023~2025年度入子生】	経営情報学部事業構想学科 2	2025年度カリキュラム表	年
1	4	目群	区分		秋学期	春学期	平 秋学期
				科目	科目	科目	科目
			準必修	アジアと日本の歴史	グローバルヒストリー		
		人文・			日本事情I(※3・10)	哲学入門	世界の宗教
		歴史系	選択必修			多摩の歴史	歴史学実践(※1)
						日本事情 II(※3)	
			準必修		法学(憲法)		
				ライフ・デザイン	余暇マネジメント	サブカルチャー論	現代メディア論
		社会			情報倫理	情報法	ライフ・デザイン(2年生以上)
		科学系	選択必修		ITS TIA IIIIS-CE	ビジネス法	社会科学概論
			227 (101)			文化人類学(異文化理解)	防災学概論
						i i	
						日本事情 III(※3)	日本事情 IV(※3)
				English Expression I (%2)	English Expression II (%2)	English Expression I · II (再)	English Expression I · II (再)
			選択必修	韓国語 I	韓国語I		
	教		(語学)	中国語 I	中国語I		
	簽			日本語講座初級・中級I: 留学生用(※3)	日本語講座中級II・上級:留学生用(※3)		
						韓国ビジネスコミュニケーションI	韓国ビジネスコミュニケーションⅡ
						中国ビジネスコミュニケーションI	中国ビジネスコミュニケーションⅡ
		語学				Basic Office English I	Basic Office English II
						Practical English Conversation I	Practical English Conversation II
			選択必修			TOEIC I	TOEICII
						ドイツ語I(※7)	ドイツ語I(※7)
						ドイツ語II(※7)	ドイツ語II(※7)
						フランス語I(※7)	フランス語I(※7)
基						フランス語II(※7)	フランス語II(※7)
礎					スポーツI	スポーツⅡ	
- See		スポーツ	選択		スポーツと健康		
		AEDWA	特別選択必修		ヘハ・ソ こ延原	A土DIII草店T T	ALCHITECT Y
	H	特別講座			12 × 4 = = = 4 1 1978	特別講座 I	特別講座Ⅱ
	+		必修		ビジネススキル基礎		
	ヤ		準必修			キャリア・デザイン I	キャリア・デザインⅡ
	IJ	キャリア	選択必修		ライティング・スキル(※1)	業界研究	アドバンスド・ライティング・スキル(※1)
	ア		00199		ビジネススキル実践		
			選択				
	Г		必修	スタディースキル入門			
				IT活用法	ICTビジネス入門		
			準必修	ビジネス数学基礎			
				ビジネス数学実践(※9)	コンピュータ概論	IT概論 I (※1)	IT概論Ⅱ(※1)
		情報系		ICTコミュニケーション入門(※9)	ICTコミュニケーション実践	情報ネットワーク	情報セキュリティ
			選択必修	1013(12) 232(1)(83)	AIの活用基礎	情報工学概論	時報とデュックコ
	専		2537 (45/150		AIの石州亜ル	1H+R工子 (AGM	
	P9						
	並						
	礎		準必修	グローカルビジネス入門	多摩学		
		経営		経営学入門	マーケティングマネジメント論		
		経済系		経済学入門	ミクロ経済学	マクロ経済学	社会心理学
			選択必修			認知心理学	消費心理学
						時事問題研究基礎	時事問題研究実践
		AL	選択	Study Abroad(%5)	Study Abroad(%5)		
		留学	2231	アクティブ・ラーニング実践(※5)	アクティブ・ラーニング実践(※5)		
	Г	学科内系 共通推奨	必修			事業構想論	
		料田	準必修				事業構想最新事情
						国際経済学	国際ビジネス論I
		アジア				国際関係論	アジア文化論
		ユーラ	選択必修			現代欧州淪	中国語圏の社会
		シ ア系				東アジア入門	東南アジア経済論
	事	<i>7</i> 78					現代米国論
	業					地域ビジネスプランニング	NPO · NGO‰
	構					J	金融論
	想	地域系	選択必修				
	学	心場常	ARTH CHANGE				地域政策プランニング
	科						スポーツ・マネジメント論
	専					1	地域スポーツ論
	P9				初級簿記	サービス産業論	経営思想史
	科					アントレプレナーシップ論	ベンチャー企業論
	目	経営系	選択必修			中級簿記	財務会計
			,,			経営戦略論	経営シミュレーションゲーム
							原価計算
-			2004D > A**			マーケティング・リサーチ	マーケティング・データ分析
専門		学科共通	選択必修			事業構想特講	
Là		コース	選択	会計入門	経営管理入門	BE実践 I (戦略)	BE実践 I (組織)
	Г						
		学科内 系					
		共通推					
		奨					
	経	科目					
	営	情報					
	情如	THYR デザイ					
	報	>					
	学科	系	選択				
	科専						
	門	分析系					
	科						
	科目						
	-	開発系					
		学科共通					
		コース		プログラミング入門	データ分析入門	マーケティング・心理実践 I	マーケティング・心理実践 Ⅱ
	348	101 EV C	必修	プレゼミ I (※2)	プレゼミⅡ(※2)	ホームゼミ I (※8)	ホームゼミI(※8)
	溥	習科目	選択			インターゼミ I ~VI	インターゼミ I ~VI
<u> </u>			FOR THE REPORT EX	 日 ※2・2025年度3 学生以外は 東		■ 東田科日 ※4・漢年科日は秋学期に成	

「他性 他性 他性 他性 他性 他性 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一	春学期	秋学期	春学期	年 秋学期	区分	科	P
RECORD					E //	17	
## 1985 日本					準必修		Г
19 19 19 19 19 19 19 19							
### 1998 ### 1998					選択必修		
## 19 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						系	
					準必修		
TODECE TODECY	青報と職業					2+	
TODICY							
TOGICE TOGICE TOGICE					選択必修		
TOGICE							
TOGICE							
TOGGE							
TOSICIS							
TORICY					(語学)		
関係の							3
日本の日本 日本	TOEICII	TOEICIV					
200 20							
						語学	
####################################					選択必修		
####################################							
####################################							
####################################							
####################################							
####################################		+	+		 	 	1
中ツリア・デザイン国 キャリア・デザイン (選択	スポーツ	1
中でリア・デザイン国 キャリア・デザイン () () () () () () () () () (+	+		6200000 ~ /**	47.00-	ł
### 1 *********************************		-	+		_	texis IRE	₽
# マンディング (1941)	±-117 === 0 =	**************************************	+		_	1	=
1/20	+ヤッグ・アザインⅢ	+ャリア・テ ワ インⅣ	+		準必修	-	1
マークテーンシップ以(※4) インターンシップ以(※4) 通照を					選択必修	キャリア	Ļ
### 2008 単立機 単立模	and the second second	75 M 5 5 mbmm 2	+			ł	7
東の個 東の側	インターンシップ፤((※4)	インターンシップII(※4)				₩.	ļ
東の地					必修	4	
					準必修		
東の地 東の 東の地 東の地 東の 東の 東の 東の地 東の						1	
単一 単一 単一 単一 単一 単一 単一 単一						情報系	ė
選択の他 第2					選択必修		1
選択							
選択							
経済 接接 接接 接接 接接 接接 接接 接接					淮水峰		
選択必修					4400795	経営	
選択 A							
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本					選択必修	系	
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本							
20		+				AL	1
関照ビジネス油II 韓国経済論					選択		
関係とうえん語		+			必修	学科内原	t
関係と学れス論!		+					
アンア経済論	国際ビジネス論Ⅱ	韓国経済論					1
中国経済論							
アジアユーラシア論 - フランフス アジアユーランア論 - フランフス アジアユーランア論 - フランフス アジアユーランアは フランフス 現民必修 地域高度論 - 世域経済論 - 世域経済論 - 世域経済論 - 世域経済論 - ピジネスモデル設計 地域産産論 - ピジネスモデル設計 地域産産論 - ピジネスシー 北通論 - 東東戦略 - 野田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田					選択心格		
ファス ファ	-T-144-7-X-7-4-088				223/40/19		
#要模切実践論 ショッピングセンター論(※1) ソーシャルマーケティング 地域企能論 リード化業論 地域設計論 地域変異論 地域変異論 地域変異論 地域変異論 地域変異論 地域変異論 地域変異論 アーア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア) 2) 1 22) iii					18
17動経済学	事業構和宝珠 論	ショッピングセンター論(※1)	-				- 3
世域企業論 日本経済論 知り企業論 といる人工 ((アークリス) (日本経済論 別務が析 別務管理 ICTマークティング 成造論 事業戦略 BE実践型 (財務) BE実践型 (サインスの (サインの (リカリス・アークライング(※11)) アークサイエンス (財務・分類) BE実践型 (リカリス・アークライング(※11)) アークサイエンス (リカリス・アークライング (リカリス・アークライング (リカリス・アークライング (リカリス・アークライング (リカリス・アークライング (リース・アークライング (リース・アークティング (リース・アークライング (リース・アークライング (リース・アークティング (リース・アークティング (リース・アークティング (リース・アークティング (リース・アークティング (リース・アークティング (リース・アーク (リース・アークティング (リース・アーク・アーク・アーク・アーク・アーク・アーク・アーク・アーク・アーク・アーク							
日本					選択,以修	地域家	
世紀産業論 地域産業論 地域産業論 地域産業論 地域産業論 地域産業論 地域産業論 地域産業論 地域産業					2531/16/195	-0-0010	4
関係分析							
ECTマーケティング			+			\vdash	
経済的機 現状必修 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日							
選択必修 2000							
選択必修 2000		尹業戦略			選択必修	経営系	ľ
BE実践 (原称) BE実践 (原称) BE実践 DE実践 DE実 DE実践 DEST	フランドマネジメント						1
BE実践 (別務) BE実践 (別務) BE実践 (別務) BE実践 (別称) BE実践 (別称) BE実践 (別称) BE実践 (別称) BE実践 (別称) BE実践 (別形代数) BE実践 (別形代数) BE対象学 (別形代数) DUエイティブデザイン (動画編集) DUエイティブデザイン (動画編集) DUエイティブデザイン (動画編集) DUエイティブデザイン (動画編集) DUエイティブデザイン (動画編集) DUエイティブデザイン (動画編集) DUエイティブデザイン (地元の理学 DUエイティブデザイン (ボーンス (地元の理解の) アークサイエンス (地元の理解の) Fークサイエンス (ボーンス							1
BE実践 (別務) BE実践 (別務) BE実践 (別務) BE実践 (別称) BE実践 (別称) BE実践 (別称) BE実践 (別称) BE実践 (別称) BE実践 (別形代数) BE実践 (別形代数) BE対象学 (別形代数) DUエイティブデザイン (動画編集) DUエイティブデザイン (動画編集) DUエイティブデザイン (動画編集) DUエイティブデザイン (動画編集) DUエイティブデザイン (動画編集) DUエイティブデザイン (動画編集) DUエイティブデザイン (地元の理学 DUエイティブデザイン (ボーンス (地元の理解の) アークサイエンス (地元の理解の) Fークサイエンス (ボーンス						\vdash	1
BE実践 (原称) BE実践 (原称) BE実践 DE実践 DE実 DE実践 DEST					選択必修	学科共进	
プラウドサービス语用 図化技術機論 デジタル産業特論 デジタル産業特論 ビジネス数字 I (線形代数) 経営科学 ビジネス数字 I (線形代数) 経営科学 ビジネス数字 I (線形代数) 経営情報論 た端情報技術概論 だってティブデザイン I (動画編集) クリエイティブデザイン I (動画編集) クリエイティブデザイン I (動画編集) クリエイティブデザイン I (地元・検定) マーケティング・データ分析実践 ビッグデータ・マーケティング(※11) データサイエンス II (推定・検定) マーケティング・データ分析実践 ビッグデータ・マーケティング(※11) データサイエンス II (体定・検定) コンピュータネットワーグ活用 ITセキュリティ(高度セキュリティ) Web プログラミング票路 (Web プログラミング手段 Web プログラミング手段 Web プログラミング手段 マーケティング・心理実践 アーケディング・心理実践 マーケティング・心理実践 マーケティング・心理実践 アーケティング・心理実践 アーケティング・心理実践 アーケディング・心理実践 アーケディング・心理実践 アーケディング・心理実践 マーケティング・心理実践 アーケティング・心理実践 アーケディング・心理実践 アーケディング・心理実践 アーケティング・心理実践 アーケティング・心理実践 アーケティング・心理実践 アーケティング・心理実践 アーケティング・心理実践 アーケティング・心理実践 アーケディング・小理実践 アーケティング・心理実践 アーケティング・心理実践 アーケティング・小理実践 アーケティング・小理実践 アーケティング・小理実践 アーケティング・小理実践 アーケティング・小理実践 アーケティング・小理実践 アーケティング・クライスグ・クライス 小理実践 アーケティング・クライスグ・クークスグ・クライスグ・クライスグ・クークスグ・クライスグ・クライスグ・クライスグ・クライスグ・クライスグ・クライスグ・クライスグ・クライスグ・クライスグ・クライスグ・クライスグ・クライスグ・クースグースグースグ・クースグースグースグ・クースグースグースグースグースグースグースグースグースグースグースグースグースグー	DC=9± m /8+2k)	pc字性n/ (WA)	premit v	DETPREW	Spries		1
ビジネス数字 I (解形代数) 経営特等				のこ大はない	进灯		t
調査実験入門			ナンツル性栗荷属				
接受情報論 先端情報技術概論							
お目 おして おして おして おして おして お目 お目 おして お目 おして お目 お目 お目 おして から から から から から から から か							
クリエイティブデザイン I (動画編集) カリエイティブデザイン II (3 DCS) デザイン思考 知覚心理学 知覚心理学 知覚心理学 アークサイエンス II (借生・検定) マーケティング・データ分析実践 データサイエンス II (借生・検定) マーケティング・データ分析実践 データサイエンス II (原生・検定) アータサイエンス II (原生・検定) アータサイエンス II (原生・検定) アータサイエンス II (原生・検定) アータサイエンス II (原生・クリカイエンス II (原生・検定) アークティング・心理実践 II (原生・クリカイエンス II (经国情報論	先端情報技術概論					
コーザインタフェース 知覚心理学 フーヴィンス (信定・検定) マーケティング・データが有実践 ビッグデータ・マーケティング(※11) データサイエンス I (行・夕和高用の基根スキル) データサイエンス I (信定・検定) マーケティング・データが有実践 ビッグデータ・マーケティング(※11) データサイエンス II (SQL) コンピュータネットワーク活用 II ではコリティ(高度でキュリティ) 関係 Webプログラミング A P Webプログラミングス P Webプログラミングス II (SQL) コンピュータ・サイエンス II (SQL) マーケティング・心理実践 V マーケティング・心理実践 V マーケティング・心理実践 V マーケティング・心理実践 V ボームゼミ II・VI(※8)							1
ユーサインタフェース 知恵心理学 デークサイエンス II (推定・検定) マーケティング・データ分析実践 ビッグデータ・マーケティング(※11) データサイエンス II (推定・検定) マーケティング・データウ析実践 データサイエンス II (海に・検定) アータサイエンス II (海に・検定) アータサイエンス II (海に・検定) アータサイエンス II (海に・クの要称と DI型原係) 経営と悪免決(※1) アータサイエンス II (Access) アータバース II (SQL) Web プログラミング PI Web PI W			デザイン思考				1
アークサイエンス I (データ和送馬の雑樫スキル) データサイエンス I (推定・検定) マーケティング・データ分析実践 データサイエンス I (推定・検定) マーケティング・データ分析実践 データサイエンス II (第2・検定) アータサイエンス II (第2・検定) アータ・フィング・(第2・大田・フィーの選用 II Tセキュリティ (高度 セキュリティ) Web プログラミング 英語 Web プログラミング X II (第2・検定) Web プログラミング X II (第3・レース II アーケティング・小理実践 II アーケティング・小理実践 II マーケティング・小理実践 II マーケティング・小理実践 II マーケティング・小理実践 II マーケティング・小理実践 II マーケティング・小理実践 II (※8) 本ームセミ II・V (II (※8)	ユーザインタフェース	知覚心理学					
データサイエンス I (第一タ利3県の基礎スキル) データサイエンス I (推定・検定) マーケティング・データ分析実践 ピッグデータ・マーケティング(※11) データサイエンス II (第2 に 検定) ドータサイエンス II (第2 に 検定) ドータサイエンス II (第2 に 検定) ドータサイエンス II (第2 に 検定) ドータ・ベーケティング (※11) アータサイエンス II (Access) データベース II (SQL) コンピュータネットワーク活用 II ロードコリティ(高度セキュリティ) Web プログラミング J Web J We					選択		4
データウイエンスは(アーツの受けの政策的) アーダウイエンスは(多変無所称・万戒) 経営を要決定(※1) コンピュータネットワーク活用 ITセキュリティ(高度セキュリティ) プログラミング言語(C #) Webプログラミング入門 Web プログラミング実践 Webサービス開発 Webデザイン コンピュータ・サイエンス 経営情報特請 マーケティング・心理実践 マーケティング・心理実践 マーケティング・心理実践 マーケティング・心理実践 ボームゼミ■・V(※8) ホームゼミN・VI(※8) グ修 本部科	データサイエンスI(データ利活用の基礎スキル)	データサイエンス II (推定・検定)	マーケティング・データ分析実践	ビッグデータ・マーケティング(※11)	~		11.
経営と電視決定(※1)			データサイエンスⅢ(データの要約と因果関係)	データサイエンスIV(多変量解析・分類)			11.
データベース I (Access) データベース II (SQL) コンピュータネットワーク活用 ITゼキュリティ(高度ゼキュリティ) 関発 ITゼキュリティ(高度 Tキュリティ) 関発 ITゼキュリティ(高度 Tキュリティ) Webプログラミング素務 Webサービス開発 ITゼキュリティ(高度 Tキュリティ) Webプログラミング素務 Webサービス開発 ITゼキュリティ(高度 Tキュリティ) Webプログラミング素務 Webサービス開発 ITゼキュリティ(高度 Tキュリティ) Webプログラミング素務 ITゼキュリティ(高度 Tキュリティ) ITゼキュリティ(高度 Tキュリティ) ITゼキュリティ(高度 Tキュリティ) ITゼキュリティ(高度 Tキュリティ) Webプログラミング素務 ITゼキュリティ(高度 Tキュリティ) Webプログラミング素務 ITゼキュリティ(高度 Tキュリティ) ITゼキュリティ(高度 Tキュリティ) Webプログラミング素務 ITゼキュリティ(高度 Tキュリティ) Webプログラミング素務 ITゼキュリティ(高度 Tキュリティ) ITゼキュリティ(高度 Tキュリティ) ITゼキュリティ(高度 Tキュリティ) Webプログラミング素務 ITゼキュリティ(高度 Tキュリティ) Webプログラミング素素 ITゼース			経営と意思決定(※1)			100	1
Web プログラミング高語 (C #) Web プログラミング入門 Web プログラミング実践 Webサービス開発 開発 Web デザイン	データベース I (Access)	データベース II(SQL)		ITセキュリティ(高度セキュリティ)	1		11
Webデザイン コンピュータ・サイエンス ア							ľ
経営情報特別						ना रे	
マーケティング・心理実践 マーケティング・心理実践N マーケティング・心理実践N マーケティング・心理実践N マーケティング・心理実践N ホームゼミN・VI(※8) ホームゼミN・VI(※8) が修			+		1		1
ホームゼミ皿・V(※8) ホームゼミN・VI(※8) 必修 海園科						1 376	4
演習科	マーケティング・心理実践Ⅲ		マーケティング・心理実践V	マーケティング・心理実践VI	-		
		マーケティング・心理実践IV	マーケティング・心理実践V	マーケティング・心理実践VI	必修	コース	_
************************************		マーケティング・心理実践IV	マーケティング・心理実践 V インターゼミ I ~VI	マーケティング・心理実践VI インターゼミ I ~VI	必修選択	コース	_

と5:履修登録不可。単位認定後、成績が付与されます。 ※6:卒業要件に含まれません。 ※7:放送大学での受講となります。卒業要件の語学(4単位)の対象科目とはなりません。 ※11:ビッグデータ・マーケティングは2023年度以降入学生を対象としたクラスのみで履修可能です。

Eu -	3 BH	EZ		年 14,896.00		年 14-244-118
科目	目群	区分	春学期 科目	秋学期科目	春学期 科目	秋学期科目
1			スタディースキル入門	多摩学	170	179
		必修		ビジネススキル入門		
		特別選択必修			特別講座I	特別講座II
			アジアと日本の歴史	ICTコミュニケーション実践	アントレプレナーシップ論	アドバンスド・ライティング・スキル(※8
			ビジネス数学基礎	グローバルヒストリー	サブカルチャー論	社会科学概論
		選択必修	ICTコミュニケーション入門(※9)	ライティング・スキル(※8)	多摩の歴史	スポーツ・マネジメント論
		選択必修			哲学入門	世界の宗教
					文化人類学(異文化理解)	歴史学実践(※8)
						防災学概論
	教		English Expression I(%1)	English Expression II(%1)	Basic Office English I	Basic Office English II
	養		韓国語I	韓国語II	English Expression I(再履修用)	English Expression I(再履修用)
			中国語I	中国語II	English Expression II(再履修用)	English Expression II(再履修用)
産			日本語講座初級:留学生用(※2)	日本語講座中級II: 留学生用(※2)	Practical English Conversation I	Practical English Conversation II
業			日本語講座中級I:留学生用(※2)	日本語講座上級:留学生用(※2)	TOEIC I	TOEIC II
社		選択必修(請学)			韓国ビジネスコミュニケーションI	韓国ビジネスコミュニケーションII
숲					中国ビジネスコミュニケーションI	中国ビジネスコミュニケーションII
科目					ドイツ語I(※7)	ドイツ語I(※7)
群					ドイツ語II(※7)	ドイツ語II(※7)
					フランス語I(※7)	フランス語I(※7)
					フランス語II(※7)	フランス語II(※7)
		選択必修			キャリア・デザインI	キャリア・デザインII
			IT活用法	コンピュータ概論	業界研究	経営シミュレーションゲーム
			経営学入門	スポーツI	サービス産業論	時事問題研究実践
	ا در		経済学入門	スポーツと健康	時事問題研究基礎	社会心理学
	ビジ		ライフ・デザイン	マーケティングマネジメント論	スポーツII	ライフ・デザイン(2年生以上)
	ネ	選択		ミクロ経済学	認知心理学	
	ス			余暇マネジメント	マクロ経済学	
				法学(憲法)	ビジネス法	
			Study Abroad (%5)	Study Abroad (%5)		
			アクティブ・ラーニング実践 (※5)	アクティブ・ラーニング実践 (※5)		
			単位互換科目I~V(※5)	単位互換科目I~V(※5)		
		必修			経営情報論	図化技術概論
			グローカルビジネス入門	ICTビジネス入門	IT概論I(※8)	IT概論II(※8)
				情報倫理	ITパスポート(※8)	Webプログラミング入門
				初級簿記	Webデザイン	クリエイティブデザインII(3DCG)
					クラウドサービス活用	経営科学
					クリエイティブデザインI(動画編集)	経営思想史
					情報工学概論	経営情報特講
					情報ネットワーク	原価計算
					中級簿記	コンピュータ・サイエンス
		122.4FT >: 64+			調査実験入門	財務会計
		選択必修				情報セキュリティ
					データベースI(Access)	先端情報技術概論
					ビジネス数学I(線形代数)	データサイエンスII(推定・検定)
	経				プログラミング言語(C#)	データベースII(SQL)
	100				マーケティング・リサーチ	ビジネス数学II(解析)
	情				情報法	プログラミング入門III(※8)
問題	報				ユーザインタフェース	ベンチャー企業論
解	学科				経営戦略論	マーケティング・データ分析
決	再					AIの活用基礎
学				経営管理入門	DCSE091(19908)	知覚心理学
	門		△=+ 1 88		BE実践I(戦略)	BE実践II(組織)
科	科		会計入門		和 4- Ph 44-19	NDO - NCOS
目			会計入門 プログラミング入門	データ分析入門	現代欧州論	NPO・NGO論
科目群	科				国際関係論	アジア文化論
目	科				国際関係論 国際経済学	アジア文化論 金融論
目	科				国際関係論 国際経済学 事業構想特講	アジア文化論 金融論 現代米国論
目	科				国際関係論 国際経済学 事業構想特講 事業構想論	アジア文化論 金融論 現代米国論 現代メディア論
目	科				国際関係論 国際経済学 事業構想特講 事業構想論 地域ビジネスプランニング	アジア文化論 金融論 現代米国論 現代メディア論 国際ビジネス論I
目	科	選択			国際関係論 国際経済学 事業構想特講 事業構想論 地域ビジネスプランニング 東アジア入門	アジア文化論 金融論 現代米国論 現代メディア論 国際ビジネス論I 事業構想最新事情
目	科	選択			国際関係論 国際経済学 事業構想特講 事業構想論 地域ビジネスプランニング	アジア文化論 金融論 現代米国論 現代メディア論 国際ビジネス:論 事業構想最新事情 消費心理学
目	科	選択			国際関係論 国際経済学 事業構想特講 事業構想論 地域ビジネスプランニング 東アジア入門	アジア文化論 金融論 現代米国論 現代米アイア論 国際ビジネス論 事業構想最新事情 消費心理学 地域スポーツ論
目	科	選択			国際関係論 国際経済学 事業構想特講 事業構想論 地域ビジネスプランニング 東アジア入門	アジア文化論 金融論 現代米国論 現代米国論 現代大アイア論 国際ビジネス論 国際ビジネス論 事業構想是新事情 消費心理学 地域スポーツ論 地域政策プランニング
目	科	選択			国際関係論 国際経済学 事業構想特講 事業構想論 地域ビジネスプランニング 東アジア入門	アジア文化論 金融論 現代米国論 現代米国法 現代メディア論 国際ビジネス論 事業構想最新事情 消費心理学 地域スポーツ論 地域政策プランニング 中国語圏の社会
目	科	選択			国際関係論 国際経済学 事業構想特講 事業構想論 地域ビジネスプランニング 東アジア入門	アジア文化論 会融論 現代米国論 現代米国海 現代メディア論 国際ビジネス論 事業構想最新事情 消費心理学 地域スポーツ論 地域数策プランニング 中国語圏の社会 マーケティング・心理実践II
目	科	選択			国際関係論 国際経済学 事業構想特講 事業構想論 地域ビジネスプランニング 東アジア入門	アジア文化論 金融論 現代米国論 現代米不戸論 国際ビジネス論 事業構想最新事情 消費心理学 地域スポーツ論 地域政策プランニング 中国語圏の社会
目	科	選択			国際関係論 国際経済学 事業構想特講 事業構想論 地域ビジネスプランニング 東アジア入門	アジア文化論 金融論 現代米国論 現代米国海 現代メディア論 国際ビジネス論 事業構想最新事情 消費心理学 地域スポーツ論 地域数策プランニング 中国語圏の社会 マーケティング・心理実践II
目	科		プログラミング入門	データ分析入門	国際関係論 国際経済学 事業機能論 事業機能論 地域ビシネスプランニング 東アジアス門 マーケティング・心理実践I	アジア文化論 全融論 現代米国論 現代米ディア論 国際ビジネス論 事業構想最新事情 消費心理学 地域スポーツ論 地域政策ブランニング 中国語側の社会 マーケティング・心理実践II 東南アジア経済論
目	科目	必修		データ分析入門 プレゼミII(※1)	国際関係論 国際経済学 事業機能特遇 事業機能制 事業機能論 地域ビジネスブランニング 東アジア入門 マーケティング・心理実践I	アジア文化論 金融論 現代米国論 現代米丁イア論 国際ビジネス論 事業構想患新事情 消費心理学 地域スポーツ論 地域政策ブランニング 中国語圏の社会 マーケティング・心理実践II 東南アジア経済論
目	科目 演習科		プログラミング入門	データ分析入門	国際関係論 国際経済学 事業機能論 事業機能論 地域ビシネスプランニング 東アジアス門 マーケティング・心理実践I	アジア文化論 全融論 現代米国論 現代米ディア論 国際ビジネス論 事業構想最新明情 消費心理学 地域スポーツ論 地域政策ブランニング 中国語側の社会 マーケティング・心理実践II 東南アジア経済論
目	科目	必修	プログラミング入門	データ分析入門 プレゼミII(※1) インターゼミI~VII	国際関係論 国際経済学 事業機関特請 事業機関結 事業機関論 地域ビジネスプランニング 東アジア入門 マーケティング・心理実践 ホームゼミI(※3) インターゼミI~VII	アジア文化論 会融論 現代米国論 現代米写河湾 国際ビジネス論 事業構想最新事情 消費心理学 地域スポーツ論 地域政策ブランニング 中域国際の社会 マーケティング・心理実践II 東南アジア経済論 ホームゼミII(※3) インターゼミI~VII
目群	科目 演習科目	必修	プログラミング入門	データ分析入門 プレゼミII(※1)	国際関係論 国際経済学 事業機能特遇 事業機能制 事業機能論 地域ビジネスブランニング 東アジア入門 マーケティング・心理実践I	アジア文化論 金融論 現代米国論 現代メディア論 国際ビジネス論 事業構想患新事情 消費心理学 地域スポーツ論 地域政策ブランニング 中国語圏の社会 マーケティング・心理実践II 東南アジア経済論

^{※1:2025}年度入学生以外は、再履修クラスのみ履修可能です。 ※2:留学生専用科目です。

^{※4:}インターンシップは通年での成績となります。そのため、秋学期に成績がつきますのでご注意ください。

^{※7:} 放送大学での受講となります。卒業要件の語学(4単位)の対象科目ではありません。 ※8: 非開講科目 ※9: 履修不可

	年		4 年		EVI	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	区分	科	日も
科目	科目	科目	科目			Ļ
				必修		
				~ ,,		
				特別選択必修		
				選択必修		
TOEIC III	TOEIC IV				教	
					赛	
						j
						3
				選択必修(語学)		3
						5
						3
						1
						i
						1
		+	+	yee		-
キャリア・デザインIII	キャリア・デザインIV			選択必修		1
インターンシップI(※4)	インターンシップII(※4)					1
教育心理学	教育相談					1
行動経済学						1
					ピ	1
					ジ	1
				選択	ネ	
					ス	
				24 649		╁
				必修		
Webプログラミング実践	ITセキュリティ(高度セキュリティ)					
経営と意思決定(※8)	Webサービス開発					
コンピュータネットワーク活用	データサイエンスIV(多変量解析・分類)					
情報と職業						
データサイエンスIII(データの要約と因果関係)						
デジタル産業特論						
マーケティング・データ分析実践						
デザイン思考						
				選択必修		
					経	
					経営	
					経営情	
					営	
					営情	;
					営情報	;
					営情報学	1
OC#9111/848V	OCTOR NAME AND ADDRESS OF THE ADDRES	のに実際が	DESPONI		営情報学科	1
BE実践III(財務)	BE実践IV(総合)	BE実践V	BE実践VI		営情報学科専門科	1
ICTマーケティング	アジアユーラシア論	BE実践V マーケティング・心理実践V	BE実践VI マーケティング・心理実践VI		営情報学科専門	1 1 1
					営情報学科専門科	1
ICTマーケティング	アジアユーラシア論				営情報学科専門科	1 1 1
ICTマーケティング アジア経済論	アジアユーラシア論 華僑華人経済論				営情報学科専門科	1 1 1
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理				営情報学科専門科	1 1 1
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略				営情報学科専門科	1 1 1
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 國際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論	アジアユーラシア論 準信華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8)				営情報学科専門科	1 1 1
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 関際ビジネス論II 財務分析 事業機想実践論 地域金融論	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域観光論			選択	営情報学科専門科	1 1 1
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 國際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論	アジアユーラシア論 準信華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8)			選択	営情報学科専門科	1 1 1
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 関際ビジネス論II 財務分析 事業機想実践論 地域金融論	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域観光論			選択	営情報学科専門科	1 1 1
ICTマーケティング アジア経済論 経営問題 国際ビジネス論II 財務分析 事業機想実践論 地域金融論 中国経済論	アジアユーラシア論 事億華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域観光論 地域産業論 日本経済論			選択	営情報学科専門科	1 1 1
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビラネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中国経済論 中小企業論 マーケティング・心理実践III	アジアユーラシア論 準億華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域観光論 地域産業論 日本経済論 ピッグデータ・マーケティング(※10)			選択	営情報学科専門科	1 1 1
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中国経済論 中中小企業論 マーケティング・心理実践III ビジネスモデル殺計	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域観光論 地域産業論 日本経済論 ピッグデータ・マーケティング(※10) マーケティング・心理実践IV			選択	営情報学科専門科	1 1 1
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中国経済論 中中小企業論 マーケティング・心理実践III ビジネスモデル殺計	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域観光論 地域産業論 日本経済論 ヒッグデータ・マーケティング(※10) マーケティング・心理実践IV 浓速論			選択	営情報学科専門科	1 1 1
ICTマーケティング アジア球済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中国経済論 中中の業論 マーケティング・心理実践III ビジネスモデル殺計	アジアユーラシア論 華徳華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域経光論 地域産業論 日本経済論 ビッグデータ・マーケティング(※10) マーケティング・心理実践IV 遠通論 ロシア経済論(※8)			選択	営情報学科専門科	1 1 1
ICTマーケティング アジア球済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中国経済論 中中企業論 マーケティング・心理実践III ビジネスモデル殺計	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域観光論 地域産業論 日本経済論 ヒッグデータ・マーケティング(※10) マーケティング・心理実践IV 浓速論			選択	営情報学科専門科	:
ICTマーケティング アジア球済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中国経済論 中中の業論 マーケティング・心理実践III ビジネスモデル殺計	アジアユーラシア論 華徳華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域経光論 地域産業論 日本経済論 ビッグデータ・マーケティング(※10) マーケティング・心理実践IV 遠通論 ロシア経済論(※8)			選択	営情報学科専門科	1 1 1
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビラネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中国経済論 中小企業論 マーケティング・心理実践III	アジアユーラシア論 華徳華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域経光論 地域産業論 日本経済論 ビッグデータ・マーケティング(※10) マーケティング・心理実践IV 遠通論 ロシア経済論(※8)			選択	営情報学科専門科目 演	1 1 1
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中国経済論 中小企業論 マーケティング・心理実践III ビジネスモデル殺計 ブランドマネジメント	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域配業論 地域産業論 日本経済論 ヒッグデータ・マーケティング(※10) マーケティング・心理実践IV 返適論 ロシア経済論(※8) ソーシャルマーケティング(※8)	マーケティング・心理実践V	マーケティング・心理実践VI	必修	営情報学科専門科目 演習	1 1 1
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中四経済油 中小企業論 マーケティング・心埋実践III ビジネスモデル設計 ブランドマネジメント	アジアユーラシア論 報信華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域観光論 地域産業論 日本経済論 ヒッグデータ・マーケティング(※10) マーケティング・心理実践IV 波通論 ロシア経済論(※8) ソーシャルマーケティング(※8) ホームゼミIV・VI(※3) インターゼミIV ~VII	マーケティング・心理実践V インターゼミI〜VII	マーケティング・心理実践VI インターゼミI~VII		営情報学科専門科目 演習科	1 1 1
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中国経済論 中小企業論 マナイング・心理実践III ビジネスモデル設計 ブランドマネジメント	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域配業論 セルグデータ・マーケティング(※10) マーケティング・心理実践IV 遠通論 ロシア経済論(※8) ソーシャルマーケティング(※8) ホームゼミIV-VII(※3) インターゼミIV-VIII(※3)	マーケティング・心理実践V インターゼミI~VII ホームゼミVII~VIII(※3)	マーケティング・心理実践VI インターゼミI~VII ホームゼミVII~VIII(※3)	必修	営情報学科専門科目 演習	1 1 1
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 風間ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中型経済論 中小企業論 マーケティング・心埋実践III ビジネスモデル設計 ブランドマネジメント ホームゼミIII・V(※3)	アジアユーラシア論 報信華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域観光論 地域産業論 日本経済論 ヒッグデータ・マーケティング(※10) マーケティング・心理実践IV 波通論 ロシア経済論(※8) ソーシャルマーケティング(※8) ホームゼミIV・VI(※3) インターゼミIV ~VII	マーケティング・心理実践V インターゼミI〜VII	マーケティング・心理実践VI インターゼミI~VII	必修	営情報学科 専門科目 演習科目	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

^{%5:} 単位認定後、教務課が登録を行う科目です。よって、履修登録はできません。 %6: 卒業要件単位に含まれません。

^{%10}: ビッグデータ・マーケティングは2022年度以前入学生を対象としたクラスのみで履修可能です。

			1	年	2	年
科目	目群	区分	春学期	秋学期	春学期	秋学期
			科目	科目	科目	科目
		必修	スタディースキル入門	多摩学		
				ビジネススキル入門		
		特別選択必修			特別講座I	特別講座II
			アジアと日本の歴史	ICTコミュニケーション実践	アントレプレナーシップ論	アドバンスド・ライティング・スキル(※8)
			ビジネス数学基礎	グローバルヒストリー	サブカルチャー論	社会科学概論
		選択必修	ICTコミュニケーション入門(※8)	ライティング・スキル(※8)	多摩の歴史 哲学入門	スポーツ・マネジメント論 世界の宗教
		进机化等			当子人门 文化人類学(異文化理解)	
					又10人烘子(共又10注册)	歴史学実践(※8) 防災学概論
						197X T-TAGERE
	教		English Expression I(%1)	English Expression II(%1)	Basic Office English I	Basic Office English II
	養		韓国語I	韓国語II	English Expression I (再履修用)	English Expression I (再履修用)
			中国語I	中国語II	English Expression II(再履修用)	English Expression II(再履修用)
産			日本語講座初級:留学生用(※2)	日本語講座中級II: 留学生用(※2)	Practical English Conversation I	Practical English Conversation II
業社			日本語講座中級I:留学生用(※2)	日本語講座上級:留学生用(※2)	TOEIC I	TOEIC II
会		選択必修(語学)			韓国ビジネスコミュニケーションI	韓国ビジネスコミュニケーションII
科					中国ビジネスコミュニケーションI	中国ビジネスコミュニケーションII
目					ドイツ語I(※6)	ドイツ語I(※6)
群					ドイツ語II(※6)	ドイツ語II(※6)
					フランス語I(※6)	フランス語I(※6)
		1224m 3v 4m			フランス語II(※6)	フランス語II(※6)
		選択必修	IT活用法		キャリア・デザインI 業界研究	キャリア・デザインII
				コンピュータ概論 スポーツI		経営シミュレーションゲーム 時事問題研究実践
			経営学入門経済学入門	スポーツと健康	サービス産業論時事問題研究基礎	社会心理学
	ビ		ライフ・デザイン	マーケティングマネジメント論	スポーツII	ライフ・デザイン(2年生以上)
	ジ		313 3313	ミクロ経済学	認知心理学) 10 75 15 (2 + 1 - 1
	ネス	選択		余暇マネジメント	マクロ経済学	
	^			法学(憲法)	ビジネス法	
			Study Abroad (%5)	Study Abroad (※5)		
			アクティブ・ラーニング実践 (※5)	アクティブ・ラーニング実践 (※5)		
			単位互換科目I~V(※5)	単位互換科目I~V(※5)		
		必修			事業構想論	事業構想最新事情
			グローカルビジネス入門	ICTビジネス入門	IT概論I(※7)	IT概論II(※7)
				初級簿記	ITパスポート(※8)	NPO · NGO論
					現代欧州論	アジア文化論 金融論
					国際関係論 国際経済学	経営思想史
					事業構想特講	原価計算
					地域ビジネスプランニング	現代米国論
					中級簿記	現代メディア論
		選択必修			東アジア入門	国際ビジネス論I
					経営戦略論	財務会計
						消費心理学
	事					地域スポーツ論
	業					地域政策プランニング
	構					中国語圏の社会
問題	想					ベンチャー企業論
解	学					AIの活用基礎
決	科専		△=↓ 2.88	47 ₩₩₩₩₩₩	propertions.	東南アジア経済論
学	門		会計入門 プログラミング入門	経営管理入門 情報倫理	BE実践I(戦略)	BE実践II(組織)
科	科		フロノフベンツ人口	育報信理 データ分析入門	Webデザイン クラウドサービス活用	Webプログラミング入門 クリエイティブデザインII(3DCG)
目群	目			> >>>\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	クリエイティブデザインI(動画編集)	クリエイティフテザインII(3DCG) 経営科学
SIT					経営情報論	経営情報特講
					情報工学概論	コンピュータ・サイエンス
					情報ネットワーク	情報セキュリティ
		選択			調査実験入門	図化技術概論
		进灯			データサイエンスI(データ利活用の基礎スキル)	先端情報技術概論
					データベースI(Access)	データサイエンスII(推定・検定)
					ビジネス数学I(線形代数)	データベースII(SQL)
					プログラミング言語(C#)	ビジネス数学II(解析)
					マーケティング・心理実践I	プログラミング入門III(※7)
					マーケティング・リサーチ	マーケティング・心理実践II
					ユーザインタフェース	マーケティング・データ分析
	260			-0. 18-xx/14-	情報法	知覚心理学
	演習	必修	ブレゼミI(※1)	プレゼミII(※1)	ホームゼミI(※3)	ホームゼミII(※3)
	科目	選択		インターゼミI~VII	インターゼミI~VII	インターゼミI~VII
× 1		F在帝 3 学	ナリカナ 五屋体カニフの12屋体可能です	₩2. 研学生専用利用元才	 ムゼミ(志含む)は、各学期1科目のみ履修可能	

^{※1:2025}年度入学生以外は、再履修クラスのみ履修可能です。 ※2:留学生専用科目です。 ※3:ホームゼミ(志含む)は、各学期1科目のみ履修可能です。(Iから順番に履修してください。) 74 ※5:単位認定後、教務課が登録を行う科目です。よって、履修登録はできません。 ※6:放送大学での受講となります。卒業要件の語学(4単位)の対象科目ではありません。 ※7:非開講科目

3	年	4	年			
春学期	秋学期	春学期	秋学期	区分	科目	目群
科目	科目	科目	科目			- "
110	176	170	110			
				必修		
				特別選択必修		
				選択必修		
					教	
TOEIC III	TOEIC IV				教	
					24	
						産
				98+D N		業
				選択必修		社
				(語学)		会
				(861)		科
						目
						群
キャリア・デザインIII	キャリア・デザインIV			選択必修		Ī
インターンシップI(※4)	インターンシップII(※4)					
教育心理学	教育相談					
行動経済学						
1 a monta (P1 T					Ľ	
					ジ	
				選択	ネ	
					ス	
				必修		
ICTマーケティング	アジアフーラシア治			.c. is		
ICTマーケティング	アジアユーラシア論					
アジア経済論	華僑華人経済論					
経営組織	韓国経済論					
国際ビジネス論II	財務管理					
財務分析	事業戦略					
事業構想実践論	ショッピングセンター論(※7)					
地域金融論	地域観光論					
中国経済論	地域産業論					
中小企業論	日本経済論			選択必修		
ビジネスモデル設計	ロ 中 社 月 調 ビッグデータ・マーケティング(※9)			ACL (40/89		
ブランドマネジメント	流通論					
	ロシア経済論(※7)				事	
	ソーシャルマーケティング				業	
					構	
					想	問
					学	題
					科	解
BE実践III(財務)	BE実践IV(総合)	BE実践V	BE実践VI		専	決
Webプログラミング実践	ITセキュリティ(高度セキュリティ)	マーケティング・心理実践V	マーケティング・心理実践VI		門	学
	Webサービス開発	、 ファインフ 心生大成V	、 ファインフ 心生大成VI		科	科
経営と意思決定(※7)					目	目
コンピュータネットワーク活用	データサイエンスIV(多変量解析・分類)					群
情報と職業	マーケティング・心理実践IV					
データサイエンスIII(データの要約と因果関係)						
プンタル 充世(計画)						
デジタル産業特論				4200 1		
マーケティング・心理実践III				選択		
マーケティング・心理実践III						
マーケティング・心理実践III マーケティング・データ分析実践						1
マーケティング・心理実践III						
マーケティング・心理実践III マーケティング・データ分析実践						
マーケティング・心理実践III マーケティング・データ分析実践						
マーケティング・心理実践III マーケティング・データ分析実践						
マーケティング・心理実践III マーケティング・データ分析実践						
マーケティング・心理実践III マーケティング・データ分析実践						
マーケティング・心理実践III マーケティング・データ分析実践						
マーケティング・心理実践III マーケティング・データ分析実践 デザイン思考	ホームゼミIV・VI(※3)			aix 468	演	
マーケティング・心理実践III マーケティング・データ分析実践 デザイン思考 ホームゼミIII・V(※3)	ホームゼミIV・VI(※3) インターゼミI・-VII	インターゼミ!~VII	インターゼミ[~VII	必修	꺌	
マーケティング・心理実践III マーケティング・データ分析実践 デザイン思考	ホームゼミIV·VI(※3) インターゼミI~VII ホームゼミVII~VIII(※3)	インターゼミI~VII ホームゼミVII~VIII(※3)	インターゼミI~VII ホームゼミVII~VIII(※3)	必修選択		

			1	年	2	年
科目	目群	区分	春学期	秋学期	春学期	秋学期
			科目	科目	科目	科目
		必修	スタディースキル入門	多摩学		
				ビジネススキル入門		
		特別選択必修	77710+0Et	10T3 7 = 6 2 - 2 stone	特別講座I アントレプレナーシップ論	特別講座II
			アジアと日本の歴史 ビジネス数学基礎	ICTコミュニケーション実践 グローバルヒストリー	アントレノレナーシッノ浦 サブカルチャー論	アドバンスド・ライティング・スキル(※8) 社会科学概論
		選択必修	Lンイス数子参収 ICTコミュニケーション入門(※9)	ライティング・スキル(※8)	多摩の歴史	スポーツ・マネジメント論
		220012	1013(12) 232X(1(x3)	313133 2476(80)	哲学入門	世界の宗教
					文化人類学(異文化理解)	歴史学実践(※8)
	教		English Expression I(%1)	English Expression II(%1)	Basic Office English I	Basic Office English II
	教養		韓国語I	韓国語II	English Expression I(再履修用)	English Expression I(再履修用)
			中国語I	中国語II	English Expression II(再履修用)	English Expression II(再履修用)
産			日本語講座初級:留学生用(※2)	日本語講座中級II: 留学生用(※2)	Practical English Conversation I	Practical English Conversation II
業			日本語講座中級I:留学生用(※2)	日本語講座上級:留学生用(※2)	TOEIC I	TOEIC II
社会		選択必修(請学)			韓国ビジネスコミュニケーションI 中国ビジネスコミュニケーションI	韓国ビジネスコミュニケーションII 中国ビジネスコミュニケーションII
科					中国にジネスコミュニグーション1 ドイツ語I(※7)	中国にジネスコミュニグーションII ドイツ語I(※7)
目					ドイツ語I(※7)	ドイツ語I(※7)
群					フランス語[(※7)	フランス語I(※7)
					フランス語II(※7)	フランス語II(※7)
			IT活用法	コンピュータ概論	キャリア・デザインI	キャリア・デザインII
			経営学入門	スポーツI	業界研究	経営シミュレーションゲーム
			経済学入門	スポーツと健康	サービス産業論	時事問題研究実践
	Ľ		ライフ・デザイン	マーケティングマネジメント論	時事問題研究基礎	社会心理学
	ジネ	選択		ミクロ経済学	スポーツII	ライフ・デザイン(2年生以上)
	イス			余暇マネジメント 法学(憲法)	認知心理学 マクロ経済学	
			Study Abroad(%5)	Study Abroad(%5)	ビジネス法	
			アクティブ・ラーニング実践(※5)	アクティブ・ラーニング実践(※5)		
			単位互換科目I~V(※5)	単位互換科目I∼V(※5)		
		必修			経営情報論	図化技術概論
			グローカルビジネス入門	ICTビジネス入門	IT概論I(※8)	IT概論II(※8)
				情報倫理	ITパスポート(※8)	Webプログラミング入門
				初級簿記	Webデザイン	クリエイティブデザインII(3DCG)
					クラウドサービス活用	経営科学
					クリエイティブデザインI(動画編集) 情報工学概論	経営思想史経営情報特講
					情報ネットワーク	原価計算
					中級簿記	コンピュータ・サイエンス
					調査実験入門	財務会計
		選択必修			データサイエンスI(データ利活用の基礎スキル)	情報セキュリティ
					データベースI(Access)	先端情報技術概論
					ビジネス数学፤(線形代数)	データサイエンスII(推定・検定)
	経				プログラミング言語(C#)	データベースII(SQL)
	営				マーケティング・リサーチ	ビジネス数学II(解析)
問	倩				情報法	プログラミング入門III(※8)
題	報				ユーザインタフェース	ベンチャー企業論
解	学科				経営戦略論	マーケティング・データ分析 AIの活用基礎
決	専					知覚心理学
学科	P9		会計入門	経営管理入門	BE実践I(戦略)(※9)	BE実践II(組織)(※9)
科目	科目		プログラミング入門	データ分析入門	現代欧州論	NPO・NGO論
群	Ħ				国際関係論	アジア文化論
					国際経済学	金融論
					事業構想特講	現代米国論
					事業構想論	現代メディア論
					地域ビジネスプランニング	国際ビジネス論Ⅰ
		選択			東アジア入門	事業構想最新事情
					マーケティング・心理実践I(※9)	消費心理学 地域スポーツ論
						地域政策プランニング
						中国語圏の社会
						マーケティング・心理実践II(※9)
						東南アジア経済論
	演習	必修	プレゼミI(※1)	プレゼミII(※1)	ホームゼミI(※3)	(
	料	選択必修		インターゼミI~VII	インターゼミI~VII	インターゼミI〜VII
\vdash	目			教育原理(※6)	教育課程総論(※6)	ホームゼミII~VIII(※3) 教育方法(ICTを活用した教育の理論及び方法含む)(※6)
麬	職車の	門科目群		教職概論(※6)	教育制度論(※6)	教育方法(ICTを活用した教育の理論及び方法含む)(※6) 特別支援教育概論(※6)
1 37	121			20 mmmann (10 mm)	生徒指導・進路指導論(※6)	特別活動・総合的な学習の時間の指導法(※6)
Ц.,	_		学生!!!	 		

^{※4:}インターンシップは通年での成績となります。そのため、秋学期に成績がつきますのでご注意ください。

^{※7:}放送大学での受講となります。卒業要件の語学(4単位)の対象科目ではありません。 ※8:非開講科目 ※9:履修不可

	年		年	A	EN	目標
春学期	秋学期	春学期	秋学期	区分	科	日任
科目	科目	科目	科目			-
				必修		
				特別選択必修		
				選択必修		
TOEIC III	TOEIC IV					
					教	
					養	
						ž
						200
				選択必修(語学)		1
						1
						į
						1
						1
キャリア・デザインIII	キャリア・デザインIV					1
インターンシップI(※4)	インターンシップII(※4)					
教育心理学	教育相談					
行動経済学					Ĕ	
				\ IO	ジ	
				選択	ネ	
					ス	
				必修		t
Webプログラミング実践	ITセキュリティ(高度セキュリティ)(※8)					
経営と意思決定(※8)	Webサービス開発					
コンピュータネットワーク活用	データサイエンスIV(多変量解析・分類)					
情報と職業						
データサイエンスIII(データの要約と因果関係)						
デジタル産業特論						
マーケティング・データ分析実践						
デザイン思考						
				選択必修		
					経	
					営信	
					情	F
						F
					情報学科	ž p
					情報学科專	A A
BE実践III(財務)(※9)	BE実践IV(総合)(※9)	BE実践V(※9)	BE実践VI(※9)		情報学科専門	# P
	BE実践IV(総合)(※9) アシアユーラシア論	BE実践V(※9) マーケティング・心理実践V(※9)	BE実践VI(※9) マーケティング・心理実践VI(※9)		情報学科専門科	572
					情報学科専門	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #
ICTマーケティング アジア経済論	アジアユーラシア論				情報学科専門科	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織	アジアユーラシア論 華僑華人経済論				情報学科専門科	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論				情報学科専門科	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #
BE実践III(財務)(※9) ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理				情報学科専門科	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略				情報学科専門科	3 3 3 4
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8)			遊択	情報学科専門科	3 3 3 4
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構長実践論 地域金融論 中国経済論	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域観光論			選択	情報学科専門科	3 3 3 4
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中国経済論 中小企業論	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域配業論 日本経済論			選択	情報学科専門科	3 3 3 4
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中国経済論 中小企業論 マーケティング・心理実践III(※9)	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域観光論 地域産業論			選択	情報学科専門科	1
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中国経済論 中小企業論 マーケティング・心理実践III(※9) ビジネスモデル級計	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域観光論 地域観光論 世域産業論 日本経済論 ピッグデータ・マーケティング(※10)			選択	情報学科専門科	3 3 3 4
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中国経済論 中小企業論 マーケティング・心理実践III(※9) ビジネスモデル級計	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域観光論 地域産業論 日本経済論 ヒッグデータ・マーケティング(※10) マーケティング・心理実践IV(※9) 流通論			選択	情報学科専門科	1
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中国経済論 中小企業論 マーケティング・心理実践III(※9) ビジネスモデル級計	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域観光論 地域産業論 日本経済論 ビッグデータ・マーケティング(※10) マーケティング・心理実践IV(※9) 流通論 ロシア経済論(※8)			選択	情報学科専門科	1
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中国経済論 中小企業論 マーケティング・心理実践III(※9) ビジネスモデル級計	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域観光論 地域産業論 日本経済論 ヒッグデータ・マーケティング(※10) マーケティング・心理実践IV(※9) 流通論			選択	情報学科専門科	1
ICTマーケティング アシア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域観光論 地域産業論 日本経済論 ビッグデータ・マーケティング(※10) マーケティング・心理実践IV(※9) 流通論 ロシア経済論(※8)				情報学科専門科	# # A
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビシネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中国経済論 中小企業論 マーケティング・心理実践III(※9) ビジネスモデル殺針 ブランドマネジメント	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域産業論 日本経済論 ビッグデータ・マーケティング(※10) マーケティング・心理実践IV(※9) 流通論 ロシア経済論(※8) ソーシャルマーケティング	マーケティング・心理実践V(※9)	マーケティング・心理実践VI(※9)	必修	情報学科専門科目演習	3 3 3 4
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中国接済論 中小企業論 マーケティング・心理実践III(※9) ビジネスモデル設計 ブランドマネジメント	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業歌略 ショッピングセンター論(※8) 地域産業論 日本経済論 ビッグデータ・マーケティング(※10) マーケティング・心理実践IV(※9) 流通論 ロシア経済論(※8) ソーシャルマーケティング	マーケティング・心理実践V(※9) インターゼミI~VII	マーケティング・心理実践VI(※9) インターゼミI~VII		情報学科専門科目	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中国経済論 中小企業論 マトマイング・心理実践III(※9) ビジネスモデル設計 ブランドマネジメント	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 特別管理 事業戦略 ショッピングセンター論(※8) 地域観光論 地域産業論 日本経済論 ビッグデータ・マーケティング(※10) マーケティング・心理実践IV(※9) 流通論 ロシア経済論(※8) ソーシャルマーケティング インターゼミI~VII ホームゼミII~VIII(※3)	マーケティング・心理実践V(※9) インターゼミI~VII ホームゼミII~VIII(※3)	マーケティング・心理実践VI(※9) インターゼミI~VII ホームゼミII~VIII	必修	情報学科専門科目演習	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #
ICTマーケティング アジア経済論 経営組織 国際ビジネス論II 財務分析 事業構想実践論 地域金融論 中国経済論 中小企業論 マーケティング・心理実践III(※9) ビジネスモデル設計 ブランドマネジメント	アジアユーラシア論 華僑華人経済論 韓国経済論 財務管理 事業歌略 ショッピングセンター論(※8) 地域産業論 日本経済論 ビッグデータ・マーケティング(※10) マーケティング・心理実践IV(※9) 流通論 ロシア経済論(※8) ソーシャルマーケティング	マーケティング・心理実践V(※9) インターゼミI~VII	マーケティング・心理実践VI(※9) インターゼミI~VII	必修	情報学科專門科目	

^{※3:}ホームゼミ(志含む)は、各学期1科目のみ履修可能です。(Iから順番に履修してください。)

^{※5:}単位認定後、教務課が登録を行う科目です。よって、履修登録はできません。 ※6:卒業要件単位に含まれません。

^{※10:}ビッグデータ・マーケティングは2022年度以前入学生を対象としたクラスのみで履修可能です。

科目	7 #¥	区分		1 年		年 4425年
14 =	111+		春学期 科目	秋学期科目	春学期 科目	秋学期科目
1			スタディースキル入門	多摩学	191	191
		必修	227-1 24702(1)	ビジネススキル入門		
	ŀ	特別選択必修		25-1500(478)(1)	特別講座I	特別講座II
		10000001010	アジアと日本の歴史	ICTコミュニケーション実践	アントレプレナーシップ論	アドバンスド・ライティング・スキル(※
			ビジネス数学基礎	グローバルヒストリー	サブカルチャー論	社会科学概論
		選択必修	ICTコミュニケーション入門(※8)	ライティング・スキル(※7)	多摩の歴史	スポーツ・マネジメント論
			10.1111	3 13 133 X(1)2(m)	哲学入門	世界の宗教
					文化人類学(異文化理解)	歴史学実践(※7)
	ŀ		English Expression I(%1)	English Expression II(%1)	Basic Office English I	Basic Office English II
	教		韓国語I	韓国語II	English Expression I (再履修用)	English Expression I (再履修用)
	養		中国語I	中国語II	English Expression II (再履修用)	English Expression II (再履修用)
_			日本語講座初級:留学生用(※2)	日本語講座中級II: 留学生用(※2)	Practical English Conversation I	Practical English Conversation II
産業			日本語講座中級I: 留学生用(※2)	日本語講座上級:留学生用(※2)	TOEIC I	TOEIC II
坐 社		選択必修(語学)	,	,	韓国ビジネスコミュニケーションI	韓国ビジネスコミュニケーションII
会					中国ビジネスコミュニケーションI	中国ビジネスコミュニケーションII
科					ドイツ語I(※6)	ドイツ語I(※6)
目					ドイツ語II(※6)	ドイツ語II(※6)
群					フランス語I(※6)	フランス語I(※6)
					フランス語II(※6)	フランス語II(※6)
H			IT活用法	コンピュータ概論	キャリア・デザインI	キャリア・デザインII
			経営学入門	スポーツI	業界研究	経営シミュレーションゲーム
			経済学入門	スポーツと健康	サービス産業論	時事問題研究実践
	Ľ		ライフ・デザイン	マーケティングマネジメント論	時事問題研究基礎	社会心理学
	ジ		313 3313	ミクロ経済学	スポーツII	ライフ・デザイン(2年生以上)
	ネ	選択		余暇マネジメント	認知心理学) 10 00 10 (E+±%±)
	ス			法学(憲法)	マクロ経済学	
			Study Abroad(%5)	Study Abroad(%5)	ビジネス法	
			アクティブ・ラーニング実践(※5)	アクティブ・ラーニング実践(※5)	25-150/12	
			単位互換科目I~V(※5)	単位互換科目I~V(※5)		
		必修	+E3KH01 V(N3)	+ MAINTHIA * ((()	事業構想論	事業構想最新事情
	-	10 15	グローカルビジネス入門	ICTビジネス入門	IT概論I(※7)	IT概論II(※7)
			22 22 22 23 23 23 23 23 23 23 23 23 23 2	初級簿記	ITパスポート(※7)	NPO · NGO論
				DANA NG	現代欧州論	アジア文化論
					国際関係論	金融論
					国際経済学	経営思想史
					事業構想特講	原価計算
					地域ビジネスブランニング	現代米国論
					中級簿記	現代メディア論
					東アジア入門	国際ビジネス論Ⅰ
		選択必修			経営戦略論	財務会計
					TE STATE UND	消費心理学
	事					地域スポーツ論
	事業					地域スポーツ論 地域政策プランニング
						地域スポーツ論 地域政策プランニング 中国語圏の社会
問	業					地域スポーツ論 地域政策プランニング 中国語圏の社会 ベンチャー企業論
題	業構想学					地域スポーツ論 地域政策プランニング 中国語圏の社会 ベンチャー企業論 経営戦略論
	業構想学科					地域スポーツ論 地域政策ブランニング 中国語圏の社会 ベンチャー企業論 経営戦略論 東南アジア経済論
題	業構想学科専		会計入門	経営管理入門	BE実践I(戦終)(※R)	地域スポーツ論 地域政策ブランニング 中国語圏の社会 ベンチャー企業論 経営戦略論 東南アジア経済論 AIの活用基礎
題解決	業構想学科専門		会計入門 プログラミング入門	経営管理入門信紹倫理	BE実践I(戦略)(※8) Webデザイン	地域スポーツ論 地域政策ブランニング 中国語圏の社会 ベンチャー企業論 経営戦略論 東南アジア経済論 AIの活用基礎 BE実践II(組織)
題解決学	業構想学科専門科		会計入門 プログラミング入門	情報倫理	Webデザイン	地域スポーツ論 地域政策プランニング 中国語側の社会 ベンチャー企業論 経営戦略論 東南アシア経済論 Aの活用基礎 BE実践II(組織) Webプログラミング入門
題解決学科	業構想学科専門				Webデザイン クラウドサービス活用	地域スポーツ論 地域政策プランニング 中国諸側の社会 ベンチャー企業論 経営戦略論 東南アジア経済論 AIの活用基礎 BE実践II(組織) Webプログラミング入門 クリエイティブデザインII(3DCG)
題解決学科目	業構想学科専門科			情報倫理	Webデザイン クラウドサービス活用 クリエイティブデザインI(動画編集)	地域スポーツ論 地域政策ブランニング 中国語圏の社会 ベンチャー企業論 経営戦略論 東雨アジア経済論 AIの活用基礎 B天賞紅[紅組織) Webプログラミング入門 クリエイティブデザインII(3DCG) 経営科学
題解決学科目	業構想学科専門科			情報倫理	Webデザイン クラウドサービス活用 クリエイティブデザインI(動画編集) 経営情報論	地域スポーツ論 地域政策ブランニング 中国語圏の社会 ベンチャー企業論 経営戦略論 東南アジア経済論 ALの活用基礎 BE実践II(組織) Webプログラミング入門 クリエイティブデザインII(3DCG) 経営科学 経営情報特講
題解決学科目	業構想学科専門科			情報倫理	Webデザイン クラウドサービス活用 クリエイティブデザインI(動画編集) 経営情報論 情報工学概論	地域スポーツ論 地域政策ブランニング 中国語圏の社会 ベンチャー企業論 経営戦略論 東南アジア経済論 ALの活用基礎 BE実践I(組織) Webプログラミング入門 クリエイティブデザインII(3DCG) 経営科学 経営情報特講 コンピュータ・サイエンス
題解決学科目	業構想学科専門科			情報倫理	Webデザイン クラウドサービス活用 クリエイティブデザインI(動画編集) 経営情報論 情報工学概論 情報ネットワーク	地域スポーツ論 地域政策プランニング 中国語圏の社会 ベンチャー企業論 経営戦略論 東南アシア経済論 AIの活用基礎 BE実践II(組織) Webプログラミング入門 クリエイティブデザインII(3DCG) 経営科学 経営情報特講 コンピュータ・サイエンス 情報セキュリティ
題解決学科目	業構想学科専門科	選択		情報倫理	Webデザイン クラウドサービス活用 クリエイティブデザインI(動画編集) 経営情報論 情報工学概論 情報ネットワーク 調査実験入門	地域スポーツ論 地域政策プランニング 中国語圏の社会 ペンチャー企業論 経営戦略論 東南アジア経済論 Aの活用基礎 BE実践II(組織) Webプログラミング入門 クリエイティブデザインII(3DCG) 経営科学 経営情報特請 コンピュータ・サイエンス 情報セキュリティ 図化技術概論
題解決学科目	業構想学科専門科	選択		情報倫理	Webデザイン クラウドサービス活用 クリエイティブデザインI(動画編集) 経営情報論 情報工学概論 情報ネットワーク 調査実験入門 データサイエンスI(データ利活用の基礎スキル)	地域スポーツ論 地域政策プランニング 中国語圏の社会 ベンチャー企業論 経営戦略論 東南アシア経済論 Aの活用基礎 BE実践II(組織) Webプログラミング入門 クリエイティブデザインII(3DCG) 経営哲学 経営情報特講 コンピュータ・サイエンス 情報セキュリティ 図化技術概論
題解決学科目	業構想学科専門科	選択		情報倫理	Webデザイン クラウドサービス活用 クリエイティブデザインI(動画編集) 経営情報論 情報エ学概論 情報ネットワーク 調査実験入門 データサイエンスI(データ利活用の基礎スキル) データベースI(Access)	地域スポーツ論 地域政策プランニング 中国語圏の社会 ベンチャー企業論 経営戦略論 東南アジア経済論 AIの活用基礎 BE実践II(組織) Webプログラミング入門 クリエイティブデザインII(3DCG) 経営科学 経営情報特請 コリティ 図化技術観論 先端情報技術根論 データサイエンスII(推定・検定)
題解決学科目	業構想学科専門科	選択		情報倫理	Webデザイン クラウドサービス活用 クリエイティブデザインI(動画編集) 経営情報論 情報工学概論 情報ネットワーク 調査実験入門 データサイエンスI(データ利活用の基礎スキル) データベースI(Access) ビジネス数学I(線形代数)	地域スポーツ論 地域政策ブランニング 中国諸圏の社会 ベンチャー企業論 経営戦略論 東南アジア経済論 Aの活用基礎 B実践II(組織) Webプログラミング入門 クリエイティブデザインII(3DCG) 経営科学 経営情報特請 コンピュータ・サイエンス 情報セキュリティ 図化技術概論 先端情報技術概論 データサイエンスII(推定・検定) データベースII(SQL)
題解決学科目	業構想学科専門科	選択		情報倫理	Webデザイン クラウドサービス活用 クリエイティブデザインI(動画編集) 経営情報論 情報工学概論 情報ネットワーク 調査実験入門 データサイエンスI(データ利活用の基礎スキル) データベースI(Access) ビジネス数学I(線形代数) プログラミング言語(C#)	地域スポーツ論 地域政策ブランニング 中国語圏の社会 ベンチャー企業論 経営戦略論 東南アジア経済論 ALの活用基礎 BE実践II(組織) Webプログラミング入門 クリエイティブデザインII(3DCG) 経営科学 経営情報特講 コンピュータ・サイエンス 情報セキュリティ と応ば病観論 先端情報技術概論 データサイエンスI(推定・検定) データベースII(SQL) ビジネス数学II(解析)
題解決学科目	業構想学科専門科	選択		情報倫理	Webデザイン クラウドサービス活用 クリエイティブデザインI(動画編集) 経営情報論 情報工学概論 情報ネットワーク 調査実験入門 データサイエンスI(データ利活用の基礎スキル) データベースI(Access) ビジネス数学I(線形代数) プログラミング言語(C*) マーケティング・心理実践I(※8)	地域スポーツ論 地域政策ブランニング 中国語圏の社会 ベンチャー企業論 経営戦略論 東南アジア経済論 ALの活用基礎 BE実践II【組織) Webプログラミング入門 クリエイティブデザインII(3DCG) 経営科学 経営情報特講 コンピュータ・サイエンス 情報セキュリティ と応情報技術観論 先時譲技術観論 データサイエンスII(推定・検定) データへスII(SQL) ビジネス数学II(解析) プログラミング入門III(※7)
題解決学科目	業構想学科専門科	選択		情報倫理	Webデザイン クラウドサービス活用 クリエイティブデザインI(動画編集) 経営情報論 情報工学概論 情報ネットワーク 調査実験入門 データサイエンスI(データ利活用の基礎スキル) データベースI(Access) ビジネス数学I(練形代数) プログラミング言語(C#) マーケティング・心理実践I(※8) マーケティング・リサーチ	地域スポーツ論 地域政策プランニング 中国語圏の社会 ベンチャー企業論 経営戦略論 東南アジア経済論 ALの活用基礎 BE実践II(組織) Webプログラミング入門 クリエイティブデザインII(3DCG) 経営科学 経営情報特請 コンピュータ・サイエンス 情報セキュリティ 図化技術概論 データサイエンスII(推定・検定) データベースII(SQL) ビジネス数学II(解析) プログラミング入門III(※7) マーケティング・心理実践II(※8)
題解決学科目	業構想学科専門科	選択		情報倫理	Webデザイン クラウドサービス活用 クリエイティブデザインI(動画編集) 経営情報論 情報エ学概論 情報ネットワーク 調査実験入門 データサイエンスI(データ利活用の基礎スキル) データベースI(Access) ゼジネス数学1(線形代数) プログラミング言語(C#) マーケティング・心理実践I(※8) マーケティング・リサーチ ユーザインタフェース	地域スポーツ論 地域政策プランニング 中国語圏の社会 ペンチャー企業論 経営戦略論 東南アシア経済論 Aの活用基礎 BE実践II(組織) Webプログラミング入門 クリエイティブデザインII(3DCG) 経営哲学 経営情報特請 コンピュータ・サイエンス 情報セキュリティ 図化技術概論 データサイエンスII(類に) ビジネス数学II(例析) プログラミング入門II(※7) マーケティング・心理実践II(※8) マーケティング・データ分析
題解決学科目	業構想学科専門科目		プログラミング入門	情報倫理データ分析入門	Webデザイン クラウドサービス活用 クリエイティブデザインI(動画編集) 経営情報論 情報工学概論 情報ネットワーク 調査実験入門 データサイエンスI(データ利活用の基礎スキル) データベースI(Access) ビジネス数学I(網形代数) プログラミング言語(C*) マーケティング・心理実践I(※8) マーケティング・心理実践I(※8)	地域スポーツ論 地域政策プランニング 中国語圏の社会 ベンチャー企業論 経営戦略論 東南アジア経済論 AIの活用基礎 BE実践II(組織) Webプログラミング入門 クリエイティブデザインII(3DCG) 経営情報特請 コンピュータ・サイエンス 情報セキュリティ 図化技術概論 データサイエンスII(推定・検定) データベースII(SQL) ビジネス数学II(解析) プログラミング入門III(※7) マーケティング・心理実践II(※8)
題解決学科目	業構想学科専門科			情報倫理	Webデザイン クラウドサービス活用 クリエイティブデザインI(動画編集) 経営情報論 情報エ学概論 情報ネットワーク 調査実験入門 データサイエンスI(データ利活用の基礎スキル) データベースI(Access) ゼジネス数学1(線形代数) プログラミング言語(C#) マーケティング・心理実践I(※8) マーケティング・リサーチ ユーザインタフェース	地域スポーツ論 地域政策プランニング 中国語簡の社会 ベンチャー企業論 経営戦略論 東南アジア経済論 ALの活用基礎 BE実践II(組織) Webプログラミング入門 クリエイディブデザインII(3DCG) 経営制等 経営情報特請 コンスで、 情報セキュリディ 図化技術概論 データサイエンスII(推定・検定) データベースII(SQL) ビジネス数学II(解析) プログラミング入門III(※7) マーケディング・心理実践II(※8) マーケティング・データが析

^{※1:2025}年度入学生以外は、再履修クラスのみ履修可能です。 ※2:留学生専用科目です。

^{※4:}インターンシップは通年での成績となります。そのため、秋学期に成績がつきますのでご注意ください。

^{※6:}放送大学での受講となります。卒業要件の語学(4単位)の対象科目ではありません。 ※7:非開講科目 ※8:履修不可

3	年	4	年			
	秋学期	春学期	秋学期	区分	科目	目群
科目	科目	科目	科目	- ~		
171	110	170	110			
				必修		
				特別選択必修		
				10///02/10/15		
				選択必修		
				2,1012		
TOEIC III	TOEIC IV					
Total III	1021011				教	
					養	
						産
				選択必修(語学)		業
				選択必称(編子)		社
						会科
						目
						群
						мт
キャリア・デザインIII	キャリア・デザインIV					
インターンシップI(※4)	インターンシップII(※4)					
教育心理学	教育相談					
行動経済学					Ľ	
				388 +F3	ジ	
				選択	ネ	
					ス	
				必修		
ICTマーケティング	アジアユーラシア論			90, 18		
アジア経済論	華僑華人経済論					
経営組織	韓国経済論					
国際ビジネス論II	財務管理					
財務分析	事業戦略					
事業構想実践論	ショッピングセンター論(※7)					
地域金融論	地域観光論					
中国経済論	地域産業論					
中小企業論	日本経済論			選択必修		
ビジネスモデル設計	ビッグデータ・マーケティング(※9)			2,1012		
ブランドマネジメント	流通論					
	ロシア経済論(※7)					
	ソーシャルマーケティング				事	
					業	
					構	問
					想	題
					学	
					科	解決
BE実践III(財務)(※8)	BE実践IV(総合)(※8)	BE実践V(※8)	BE実践VI(※8)		科専	解
BE実践III(財務)(※8) Webプログラミング実践	BE実践IV(総合)(※8) ITセキュリティ(高度セキュリティ)(※7)	BE実践V(※8) マーケティング・心理実践V(※8)	BE実践VI(※8) マーケティング・心理実践VI(※8)		再門	解決
Webプログラミング実践	ITセキュリティ(高度セキュリティ)(※7)	BE実践V(※8) マーケティング・心理実践V(※8)	BE実践VI(※8) マーケティング・心理実践VI(※8)		科専	解決学
Webプログラミング実践 経営と意思決定(※7)	ITセキュリティ(高度セキュリティ)(※7) Webサービス開発				科専門科	解決学科
Webプログラミング実践 経営と意思決定(※7) コンピュータネットワーク活用	ITセキュリティ(高度セキュリティ)(※7) Webサービス開発 データサイエンスIV(多変量解析・分類)				科専門科	解決学科目
Webプログラミング実践 経営と意思決定(※7) コンピュータネットワーク活用 情報と職業	ITセキュリティ(高度セキュリティ)(※7) Webサービス開発				科専門科	解決学科目
Webプログラミング実践 経営と意思決定(※7) コンピュータネットワーク活用 情報と職業 データサイエンスIII(データの要約と因果開係)	ITセキュリティ(高度セキュリティ)(※7) Webサービス開発 データサイエンスIV(多変量解析・分類)				科専門科	解決学科目
Webプログラミング実践 経営と意思決定(※7) コンピュータネットワーク活用 情報と職業 データサイエンスIII(データの要約と因果関係) デジタル産業特論	ITセキュリティ(高度セキュリティ)(※7) Webサービス開発 データサイエンスIV(多変量解析・分類)				科専門科	解決学科目
Webプログラミング実践 経営と意思決定(※7) コンピュータネットワーク活用 情報と職業 データサイエンスIII(データの要約と因果関係) デジタル産業特論 マーケティング・心理実践III(※8)	ITセキュリティ(高度セキュリティ)(※7) Webサービス開発 データサイエンスIV(多変量解析・分類)			選択	科専門科	解決学科目
Webプログラミング実践 経営と意思決定(※7) コンピュータネットワーク活用 情報と職業 テッタサイエンスIII(データの要約と因果関係) デジタル産業特論 マーケティング・心理実践III(※8) マーケティング・データ分析実践	ITセキュリティ(高度セキュリティ)(※7) Webサービス開発 データサイエンスIV(多変量解析・分類)			選択	科専門科	解決学科目
Webプログラミング実践 経営と意思決定(※7) コンピュータネットワーク活用 情報と職業 データサイエンスIII(データの要約と因果関係) デジタル産業特論 マーケティング・心理実践III(※8)	ITセキュリティ(高度セキュリティ)(※7) Webサービス開発 データサイエンスIV(多変量解析・分類)			選択	科専門科	解決学科目
Webプログラミング実践 経営と意思決定(※7) コンピュータネットワーク活用 情報と職業 テッタサイエンスIII(データの要約と因果関係) デジタル産業特論 マーケティング・心理実践III(※8) マーケティング・データ分析実践	ITセキュリティ(高度セキュリティ)(※7) Webサービス開発 データサイエンスIV(多変量解析・分類)			選択	科専門科	解決学科目
Webプログラミング実践 経営と意思決定(※7) コンピュータネットワーク活用 情報と職業 テッタサイエンスIII(データの要約と因果関係) デジタル産業特論 マーケティング・心理実践III(※8) マーケティング・データ分析実践	ITセキュリティ(高度セキュリティ)(※7) Webサービス開発 データサイエンスIV(多変量解析・分類)			選択	科専門科	解決学科目
Webプログラミング実践 経営と意思決定(※7) コンピュータネットワーク活用 情報と職業 テッタサイエンスIII(データの要約と因果関係) デジタル産業特論 マーケティング・心理実践III(※8) マーケティング・データ分析実践	ITセキュリティ(高度セキュリティ)(※7) Webサービス開発 データサイエンスIV(多変量解析・分類)			選択	科専門科	解決学科目
Webプログラミング実践 経営と意思決定(※7) コンゼュータネットワーク活用 情報と職業 データサイエンスIII(データの要約と因果開係) デジタル産業特論 マーケティング・心理実践III(※8) マーケティング・データ分析実践	ITセキュリティ(高度セキュリティ)(※7) Webサービス開発 データサイエンスIV(多変量解析・分類)			遊択	科専門科	解決学科目
Webプログラミング実践 経営と意思決定(※7) コンピュータネットワーク活用 情報と職業 テッタサイエンスIII(データの要約と因果関係) デジタル産業特論 マーケティング・心理実践III(※8) マーケティング・データ分析実践	ITセキュリティ(高度セキュリティ)(※7) Webサービス開発 データサイエンスIV(多変量解析・分類)			選択	科専門科	解決学科目
Webプログラミング実践 経営と意思決定(※7) コンピュータネットワーク活用 情報と職業 テッタサイエンスIII(データの要約と因果関係) デジタル産業特論 マーケティング・心理実践III(※8) マーケティング・データ分析実践	ITセキュリティ(高度セキュリティ)(※7) Webサービス開発 データサイエンスIV(多変量解析・分類)			選択	科専門科	解決学科目
Webプログラミング実践 経営と意思決定(※7) コンピュータネットワーク活用 情報と職業 テッタサイエンスIII(データの要約と因果関係) デジタル産業特論 マーケティング・心理実践III(※8) マーケティング・データ分析実践	ITセキュリティ(高度セキュリティ)(※7) Webサービス開発 データサイエンスIV(多変量解析・分類)			選択必修	科専門科	解決学科目
Webプログラミング実践 経営と意思決定(※7) コンピュータネットワーク活用 情報と職業 テッタサイエンスIII(データの要約と因果関係) デジタル産業特論 マーケティング・心理実践III(※8) マーケティング・データ分析実践	ITセキュリティ(高度セキュリティ)(※7) Webサービス開発 データサイエンスIV(多変量解析・分類)				科専門科目	解決学科目

^{※3:}ホームゼミ(志含む)は、各学期1科目のみ履修可能です。(Iから順番に履修してください。)

^{※5:}単位認定後、教務課が登録を行う科目です。よって、履修登録はできません。

^{※9:}ビッグデータ・マーケティングは2022年度以前入学生を対象としたクラスのみで履修可能です。

2024年度からの変更点について (2023年度以降入学生)

(1)科目ごとの変更点

【科目新設】

No.	科目名称	適用する入学年度
1	日本事情 I	2024年度以降入学生(私費外国人留学生対象)
2	日本事情Ⅱ	2023年度以降入学生(私費外国人留学生対象)
3	日本事情Ⅲ	"
4	日本事情Ⅳ	//
5	防災学概論	2019年度以降入学生

【科目名称変更】

No.	変更前科目名称	変更後科目名称
6	Study Abroad I~VIII	Study Abroad
7	アクティブ・ラーニング実践 I~VIII	アクティブ・ラーニング実践

[※]単位数は受講するプログラムによる

【放送大学の科目】

No.	科目名称	変更内容
8	フランス語Ⅰ・Ⅱ	・履修上限外科目に追加する
9	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	・一般科目から認定科目に変更する

【留学生の語学科目】

No.	科目名称	変更内容	適用する入学年度
10	日本語講座:初級		
11	日本語講座:中級I	留学生は No.10~13の日本語講座4科目(8単位)の中から、2科目(4単	2023年度以降入学生(私費外国
12	日本語講座:中級Ⅱ	位)以上を修得することを必須とする。	人留学生対象)
13	日本語講座:上級		

【科目の非開講】

No.	科目名称	備考
14	経営と意思決定	
15	ショッピングセンター論	 2024年度から継続して非開講
16	IT概論I	2024年度がり配配して利用語
17	IT概論Ⅱ	
18	ライティング・スキル	_
19	アドバンスド・ライティング・スキル	_
20	歴史学実践	_
21	ロシア経済論	_

(2) その他の変更点

※下記赤字のとおり要件を一部変更する

【進級要件】

No.	変更前	変更後
INO.		
22	3年次終了時点で卒業要件として算入される124 単位の内88単位以上を修得し、GPA1.8以上であ ること。	3年次終了時点で卒業要件として算入される124単位の内88 単位以上を修得し、通算 GPA1.0以上であること。

【卒業要件】下記のとおり要件を一部変更する

No.	変更前	変更後
00	演習科目群の卒業要件として算入される単位数	演習科目群の卒業要件として算入される単位数の上限は32
23		単位までとする。

【履修上限】下記のとおり要件を一部変更する

No.	変更前	変更後
		各学期20単位まで履修登録することができる。ただし前学期のGPAが2.8
24	ができる。ただし、前期のGPAが2.8	以上の場合、各学期24単位まで履修登録することができる。なお、前々学期に GPA2.8以上を修得しても前学期に留学・休学等で GPA が2.8未満も
24	以上の場合は、各学期24単位まで履修	期にGPA2.8以上を修得しても前学期に留学・休学等でGPAが2.8未満も
	登録することができる。	しくは単位修得していない場合、上限単位数の引き上げは適用しない。

2024年度からの変更点について(2022年度以前入学生)

(1)科目ごとの変更点

【科目新設】

No.	科目名称	適用する入学年度
1	防災学概論	2019年度以降入学生

【科目名称変更】

No.	変更前科目名称	変更後科目名称
2	Study Abroad I~VIII	Study Abroad
3	アクティブ・ラーニング実践 l~VIII	アクティブ・ラーニング実践

[※]単位数は受講するプログラムによる

【放送大学の科目】

No.	科目名称	変更内容	適用する入学年度
4	フランス語Ⅰ・Ⅱ	・履修上限外科目に追加する	2010年度以降1 尚生
5	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	・一般科目から認定科目に変更する	2018年度以降入学生

【科目の非開講】

No.	科目名称	備考
6	経営と意思決定	
7	ショッピングセンター論	
8	IT概論I	2024年度から継続して非開講
9	IT概論II	
10	プログラミング入門Ⅲ	
11	ライティング・スキル	
12	アドバンスド・ライティング・スキル	_
13	歴史学実践	_
14	ロシア経済論	

(2) その他の変更点

※下記赤字のとおり要件を一部変更する

【履修上限】下記のとおり要件を一部変更する

No.	変更前	変更後	適用する入学年度
15	とができる。ただし、前期のGPAが	各学期20単位まで履修登録することができる。ただし前学期のGPAが2.8以上の場合、各学期24単位まで履修登録することができる。なお、前々学期にGPA2.8以上を修得しても前学期に留学・休学等でGPAが2.8未満もしくは単位修得していない場合、上限単位数の引き上げは適用しない。	

2023年度以降入学生適用 カリキュラムマップ
カリキュラムマップとは、学生の皆さんが卒業までに身につけるべき知識・技能・態度といった能力について、大学がディブロマボリシーで示す学修成果目標(DP1-DP5)

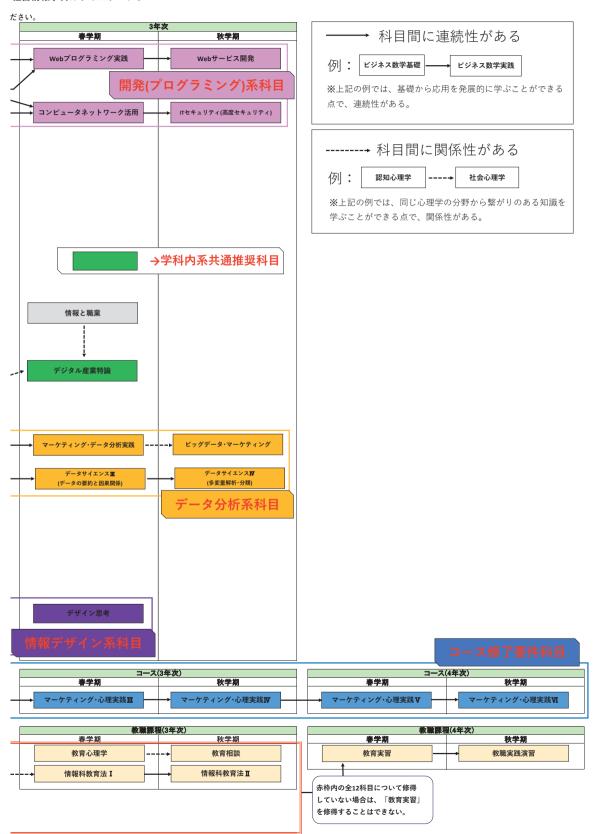
(基:教-人) アジアと日本の歴史 -東アジアにおける日本・中国の歴史的位置付けの考察-	(基: 教-人) 哲学入門 -東洋思想と西洋思想から見る「考え方」の多様性-
(基: 教-人) グローバルヒストリー・歴史はなぜ必要なのか・ (基: 教-社会) 法学(憲法)・生活と憲法・	(基:教-人)世界の宗教・宗教史・宗教史より見る世界の宗教・ (基:教-人)歴史学実践・現代社会に被さす歴史的背景を探る・
(基:教・社会)ライフ・デザイン・クオリティ・オブ・ライフについて考える- (基:教・社会)余級マネジメント・文化やレジャーから社会を凋襲する-	(基: 較-社会) サブカルチャー論 - 日本のサブカルチャー- (基: 較-社会) 文化人類学 - 世界で活躍する人材となるために人類文化の基層について知ろう-
(基: 鉄・社会) 日本事情 I-日本文化と現代日本- (基: 鉄・語学) 中国語 II -中国語さらに一歩-	(基: 教-社会) 社会科学概論-社会科学の考え方・研究方法論の基礎を学ぶ- (基: 教-社会) 情報法・情報をめぐる法的問題を把握する-
(基: 軟-S) スポーツと健康 - スポーツ文化と健康に関する基礎知識を学ぶ-(基: C-C) ビジネススキル基礎 - ビジネス能力検定ジョブバス3級-	(基:教・社会) ビジネス法・企業における法務およびビジネスを取り悪く法- (基:教・社会) 日本事情に日本を世界とのつながりから考える-
(基:C-C) ビジネススキル実践-ビジネス能力核定ジョブバス2級- (基:専基・債報) スタディースキル入門-IT活用と多摩大学での「学びの方法」-	(基: 較-社会) 日本事情(V-より豊かな生活を日本で送るために・ (基: 較-社会) 防災学療論
(基:専基・情報) ビジネス数学基礎・実社会で必要な数学スキル基礎- (基:専基・情報) ビジネス数学実践・実社会で必要な数学スキル基礎-	(基: 教・届学) TOEIC I - 特に英語検定試験受験を必要とする海外活動のために- (基: 教・届学) TOEIC II - 特に英語検定試験受験を必要とする海外活動のために-
(基:専基・情報) コンピュータ網論・コンピュータの仕組みを理解して有効に利用する- (基:専基・情報) ICTビジネス入門 -ICTシステムを開発運用する際に必要なマネジメント-	(基:数:特別) 特別議座 I - 寺島実監学長監修リレー議座- (基:数:特別) 特別議座 II - 寺島実監学長監修リレー議座-
【基:専基・情報】ICTコミュニケーション入門・エクセル活用法・ 【基:専基・情報】AIの活用基礎・数理・データサイエンス・AIで拓く次世代のビジネス・	(基:C-C) キャリア・デザイン -社会の変化を知る、自己を知る、業界・企業を知る- (基:C-C) キャリア・デザインⅡ -社会の変化を知る、自己を知る、業界・企業を知る-
(基: 專基·経経) 経営学入門 -経営学への誘い- (基: 專基-経経) 経済学入門 -経済学入門-	(基: 專基:情報) 「概論 Ⅰ -現代社会に必要不可欠なIT全般についての概要知識を習得する- (基: 專基:情報) 「概論 Ⅱ - ITと、社会やデジタルトランスフォーメーションとの関係、その応用分野の概要を学ぶ-
(基:専基-経経) ミクロ経済学・ミクロ経済学・ (専:経情-コ) データ分析入門・データ分析のための基礎国め・	(基:專基·情報)情報工学販論・情報技術と情報社会・ (基:專基·情報)情報ネットワーク・社会における情報ネットワークについて学習する・
(専:事構-コ)会計入門-実践的ビジネスエンジニアリングコース導入科日 -(専:事構-コ)経営管理入門-実践的ビジネスエンジニアリングコース導入科日 -	(基:等基-情報)情報セキュリティ・情報化社会に対応する企業活動の変化と情報セキュリティー (基:等基-経経)社会心理学-歴史に残るさまざまな心理学実験を通じ、人間の本質について考える。
(専: 教職) 教職類論 - 白らの教職親を構築する-(専: 教職) 教育原理 - 教育の歴史的展開と教育の原理-	(基: 専基・経経) 消費心理学 - 消費者の消費行動理解と、それを仕掛ける企業側の心理学- (専: 経情・共推) 経営情報論 - 経営情報・経営情報学とは-
	(専:経情・共散) クラウドサービス活用・リポジトリ管理システムを利用した協業・ (専:経情・共散) ビジネス数学1(線形代数)・行列の演算とそのビジネス利用・
	(専:経術-共推) ビジネス数学 I (解析) - ビジネスのための戦分・積分入門- (専:経術-共推) 調査実験入門 - 科学的思考への誘い-
	(専:経情・共推) 先端情報技術概論・インターネットを行き来する情報について考える- (専:経情・情子) 如覚心理学 -私たちは世界をどのように「見て」「聴いて」いるか-
	(専:経情・分析)データサイエンス I (データ利活用の基礎スキル)・データ利活用の基礎的スキルー (専:経情・分析)マーケティング・データ分析・データの特徴や傾向を捉えるための統計分析・
	(専:経情・開発) データベース (Access) - データベースの作成と管理・(専:経情・開発) データベース (SQL) - SQLを用いたデータベースの作成と管理・
	(専:経情・開発)Webデザイン・ソースコード (HTML、CSS)を用いてホームページを作成する- (専:経情・開発)Webプログラミング入門・Javascriptを学んで、動的、インタラクティブなWebページをデザインする-
	(専:経情・共通) サービス産業論 - サービスの市場制造とマネジメント - (専:経情・共通) 原価計算・管理会計入門 -
	(専:事得・共批)事業情想論・創造的問題解決の環論・事例紹介・ (専:事得・ア)国際経済・国際経済・
	(第:事務・ア) 現代設州論・ビジネス環境として家に注目される現代の設州について学療によう。 (第・事務・ア) 東南アジ 定期論・出対を「見える」も、し、東南アンの成長を設で考じよう。 (第・事務・ア) 国際ビジネス論・ビジネスとはビジネスを環境(特代のニーズ)に対する産業均解決策・
	(専:事格-ア)アジア文化論 - 「韓流」で見る韓国、そしてアジア-
	(専:事得-ア)現代米国論 - アメリカ政治の基礎を理解する- (専:事得-ア)中国諸圏の社会-悪人(中国末移民)の視点から学ぶ-
	(専:事構・地域) 地域ビジネスプランニング・都市・地域活性化の経営戦略論- (恵:嘉雄・地域) 余融論・余融論-
	(専・事務・地域) 地域政策プランニング・都市・地域活性化の政治経済学・公共政策論- (専・事務・地域) 地域スポーツ論・地域社会におけるスポーツの可能性と課題・
	(専:事構・経常) サービス産業論・サービスの市場制造とマネジメント- (専:事構・経常) 経常思想史・江戸時代から戦後日本社会に至るまでの日本的「マネジメント」-
	(専:事構・経営)原係計算・密理会計入門・(専:事構・共通)事業構想特講・グローバル化が進む国際社会―日本社会が高面する諸課題を考える。
	(専:事構・共通)マーケティング・データの特・データの特徴や傾向を捉えるための統計分析・ (専:教職)特別支援教育機論・値別の教育的ニーズに対する支援スキル養成・
	(専:教職)教育制度論-教育の法と制度について、比較教育学・教育社会学的な視点を含めて捉える。(専:教職)教育課程総論-教育課程改革の動向を把握し、情報科の単元指導計画を作成する。
(基:教-社会) 情報倫理-情報社会における諸問題と倫理-	(専:教職)教育方法(CTを活用した教育の環論及び方法含む)・情報機器を活用した効果的な授業設計の検討と実践力の養成・ (基:教・社会)現代メディア論・メディアを読む、世界を読む・
(基: 教·S) スポーツ (基: 専基·情報) 「活用法 -初心者のためのプログラミング的思考法入門-	(基: 松-S) スポーツ II (基: C-C) 業界研究 -産業界・経済界の構造を知り、企業を知る-
(基:専基-A留) アクティブ・ラーニング実践 -ALプログラム- (専:経情-共通) 初級簿記 -会計学入門-	(基:専基-経経)マクロ経済学 - マクロ経済学 - (人の認識と問題解決・意思決定・
(専:経情-コ) プログラミング入門 -データ分析のためのプログラミング入門-(専:事構-経営) 初級簿記 -会計学入門-	(基:專基-経経) 時事問題研究基礎 (基:專基-経経) 時事問題研究実践
	(専:経情・共推)経営料所を科学的に行う・ (専:経情・情デ)デザイン思考・ユーザーに共感し課題解決をデザインする思考法・
	(専:経情・情デ)ユーザインタフェース・ユーザとコンピュータの接点・(専:経情・分析)マーケティング・リサーチ・基礎からはじめるマーケティングリサーチ・
	(専・経情・分析)データサイエンスⅡ(推定・検定)・実践的統計学入門・ (専・経情・開発)コンピュータ・サイエンス・C≠を用いたプログラミング中級コース・
	(専:経情・共選) 中級簿記・後式簿記の基礎と会計環論・ (専:経情・共選) 財務会計・会計学の基本問題・
	(専:福信・共選)経営シミュレーションゲーム・経営シミュレーションゲームを選じたアウティブラーニング経営体験プログラム・(専:福信・コ)マーケティング・心理実践1・実践的マーケティング心理コース 演習・
	(専:経情・コ)マーケティング・心理実践 - 実践的マーケティング心理コース 演習・ (専:事件・ア)国際関係論・国際関係はどのような構造なのか・
	(専:事得・地域)スポーツ・マネジメント論 -スポーツが人生にもたらす価値とは- (専:事得・程度) 経営教略論・企業が策定する経営教秘を事例分析を通じて理解する(経営学の基礎~中級レベル) -
	(専:事務・経常) 中級簿記・提式簿記の基礎と会計環論・ (専:事務・経常) 財務会計・会計学の基本問題・
	(専:事得・経常)経営シミュレーションゲーム・経営シミュレーションゲームを通じたアウティブラーニング経営体験プログラム・ (専:事得・共通)マーケティング・リサーチ・基礎からはじめるマーケティングリサーチ・
	(専:事得-コ) BE実践! (仮略) -実践的ビジネスエンジニアリングコース専門科目!- (事:事得-コ) BE実践!! (組織) -実践的ビジネスエンジニアリングコース専門科目!!-
	(ラ・河西) ホームゼミ 「第:演習 ホームゼミ
(基:専基・経経) グローカルビジネス入門 -地域と世界を考える力・	(再:教職)特別活動・総合的な学修の時間の指導法・学校・学板づくりと人格形成と教師の指導性・(再:経情・共通)経営情報特講・企業を取り巻く環境の変化、変化への対応の現場・
(等: 演習) プレゼミ II - 「社会人マイナス四年生」のゼミ入門-	
(W. W. W. M.) F. 11 F. 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(W. B. M.A. CATTER T. B. S. M.
 (基: 教 福宇) English Expression II - 世界でそして地域で活躍するために必要な英語表現力を身に付ける- (基: 教 福宇) English Expression II - 世界でそして地域で活躍するために必要な英語表現力を身に付ける- (基: 教 福宇) 中国語 1 - 中国語へのいさない。 	(番: 教・社会) 日本書館III・マガンの社会・ (番: 教・編字) Basic Office English I ・世界でもして地域で活躍するために必要な英語表現力を身に付ける・ (番: 教・編字) Basic Office English II・世界でもして地域で活躍するために必要な英語表現力を身に付ける・
(基: 欽 福子) 甲国語 平国語へのいさない。 (基: 教・福子) 日本語順接で設定・日本語で大学生派や社会生派を円滑に進めるための表現全般を身に付ける。 (基: 教・福子) 日本語順接上版・社会問題について日本語でディベートをし、課題発見力、論理的思考力を身に付ける。	(基・安・福子) basic Unice English I - 世界でくして地域で流揚するために必要な高級表現力を身に行ける- (基・安・福子) Practical English Conversation - 世界でもして地域で活躍するために必要を表現表現力を身に付ける- (基・安・福子) Practical English Conversation II - 世界でそして地域で活躍するために必要な表演表現力を身に付ける-
(基: 秋 福子) 日本福岡県止北松 社会問題について日本指でティベートをし、課題表見力、福福司を与りを身に付ける。 (基: 水 福子) 日本福岡県中部、B. 日本指西学校社会問題について課題を設定して完美するための表現力全般をつける。 (基: C-C) ライティング・スキル・知的な文量を負在に書く力をつける。	 (基: 枚·福宇) Practical Inglish Conversation I: 世界でもじて地域で流標するために必要な央局を規力を身に付ける。 (基: 枚·福宇) 中国ビジネスコミュニケーション II - 中国人 中国 D ビジネス事情について。 (表: 枚·福宇) 中国ビジネスコミュニケーション II - 中国人 ヒ中国のビジネス事情について。
(基: U-C) フイティング・スキル・知的な文章を目在に書く力をつける- (基: 専基-情報) ICTコミュニケーション実践・プレゼンテーション能力を高める-	 (基: で・) アドウスア コニューケーション ロ・中国人と中国のビシネス事情について・ (基: で・) アドウスア ドライティング・スキル・文章の選人になる・ (事: 経情・共常) 頭化技術機論・様々な耐化技術・
	(原・結婚・共和) 固化反映機論 ・様々な原化反映。 (南:結婚・情子) クリエイティブデザイン (動画編集) -マルチメディア実践/デジタル回形の潰さ方、動画制作はか- (車:送借・情子) クリエイティブデザイン (別OCG) - クリエイティブデザイン ~3 DCG制作とその社会的浸水~-
(年・20年間) 独田田 ロングルのファカ	(専:経情-開発) プログラミング言語 (C#) -C#プログラミング-
(基: 教:語学) 韓国語 ハングルのマスター・ (基: 教:語学) 韓国語 ・初東単語と文法の学修・ (第: 教:語学) 韓国語 ・初東単語と文法の学修・ (第: 東京 (京京) ・京京 (京京) ・赤田() ・カルミ・中田() 『西京 (京京) ・赤田()	 (基: 較人) 多摩の歴史 - 地域の歴史と偉人から生き方を学ぶ・ (基: 較-福宁) 韓国ビジネスコミュニケーション! - 甲級韓国語 (ハングル総力検定試験4・5級款階を目指す) - (第: 数: 要の - 数回 - 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
(基: 専基・経経)多維学・多様間(多様・神奈川)における業界別基礎知識とスタディツアー企画・ (基: 専基・経経)マーケティングマネジメント論・マーケティング論とマネジメント論の状合・	(基:教・届学) 韓国ビジネスコミュニケーション II ・中級韓国語 (ハングル後力技定試験 4級取得を目指す) - (項:事項・共設)事業構想整新事情 「運搬」を輸とした事業構想論・整新事例の研究・
【基:専基-経経】Study Abroad - 志を持って海外活動をする学生のための単位認定-	(事:事得-ア) 東アジア入門-日中間の経済関係- (事:事房-地域) NPO - NGO論-ソーシャルセクター入門-
	(再:事務・地域) アントレブレナーシップ論 - 立立起業業論- (再:事務・地域) ペンチャー企業論 - 事業計画書の作成・
SMISディプロマ・ポリシー(学修成果目標) SMISデ	ィプロマ・ポリシー【育成する人材】「多摩グローカル人
np1:知識と理解【グローカル社会に対する理解】 /	
DP2:思考と判断【考え抜く力】	具体像として、企業経営、情報科学に関する学術と応用を教 レ、高度の経営情報知識と、これを支える豊かな教養とを合

2023年度以降入学生適用 カリキュラムマップ

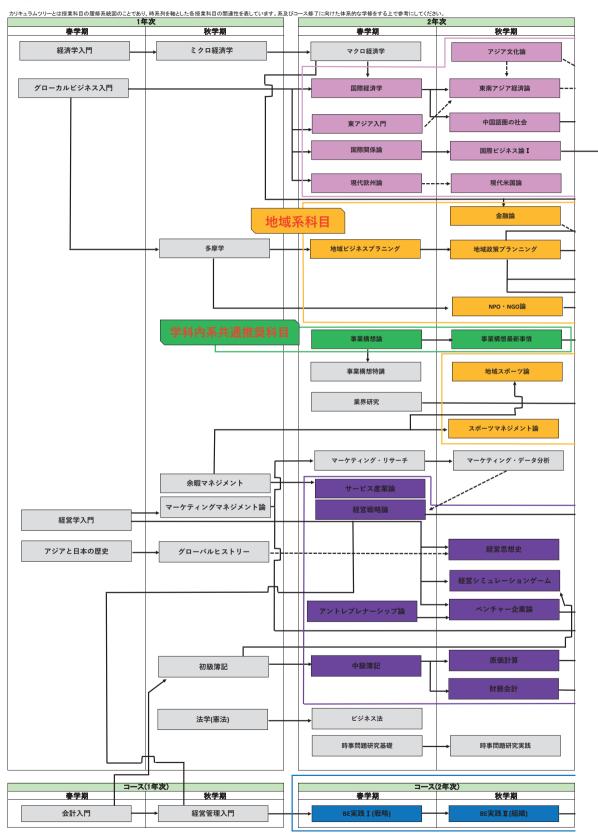
	3年次					4年次					
	(基:教・社会)情報と職業・情報社会における職業人に求められる助労親と職業倫理- (基:教・語学) TOEICIII -特に英語検定試験受験を必要とする海外活動のために-										
	(基:教-語学) TOEICIV -特に英語検定試験受験を必要とする海外活動のために-										
	(基:C-C) キャリア・デザインⅢ -社会の変化を知る・自己を知る・業界と企業を知る-(基:C-C) キャリア・デザインⅣ -自らの職業人生(キャリア)を切り拓くためのスタートラインに立つ-	n /ni . Cris	1 AV 57	D . 11	20452222	x (+====) = 1)					
	(基:C-C) キャリア・デザインN-自らの職業人生 (キャリア) を切り拓 ためのスタートラインに立つ- (基:C-C) インターンシップ 1 インターンシップを選して (数単数) きする- (M:C-C) インターンシップ 1 インターン・プラミー (数単数) きする-	N191 : LATE	日村記	五 : 科 :	目分類記号-科目	<u> 糸統記号」科</u>	,日名-科目做3	ž-			
	[甚:C·C] インターンシップⅡ・インターンシップを通して「飲業体験」をする- (専:経情・分析) データサイエンスIV(多変量解析・分類)・ビジネスで活かすための多変量解析・分類-		41.44								
	 (等: 経営・開発) コンピュータネットラーンのインスを成るで、ノルーでは、2000年 (2000年 (2000	例: [基:	教-特	形) 符	別講座 🛚 -寺島第	(即字長監修	リレー講座-				
	(専:経情・開発)Webサービス開発 -JavaScript + Web API-										
	【寿:総情・開発」 セキュリティ(高度セキュリティ)-攻撃・防御技術の現状と進化- (寿:事構-ア) 国際ビジネス論 -日本企業はどのように国際ビジネスに取り組むべきか-	· 科目記号一覧					~				
	(等:事業・ア)国際ビジネス論=・日本企業はどのように国際ビジネスに取り組むべきか・ (等:事等・ア) 国際活動・日本と中間・大中電車の取り増えなる人材を日後そう・ (等:事等・ア) アンボス論会・対の配列は大力で大きな場としたう・ (等:事等・ア)アジアユーラシア論・音域と共栄の中国・次川を乗を日底して・	科目群	科日	群記号	科目分類	科目分類記号	系統他	科目系統記号			
	(専:事構-ア) アジアユーラシア論-脅威と共栄の中国 求同存異を日指して-						人文・歴史系 社会科学系	社会			
	(専:事構・地域)行動経済学 - 心の働きに着日した新しい経済学の環論を学ぶ-(専:事構・地域)日本経済論 - 日本経済の現在の状況を理解し、今後の展開を考察する-	基礎		JL.	教養	教	14 エイヤナボ 語学	語学			
	(専:事構・地域) 地域観光論・観光による地域活性化・ (事・事構・地域) 地域観光論・観光による地域活性化・	25.00			10.00	20	スポーツ	S			
	(第三第年世紀) 行政政策で、企の第三年日に大学に公共学の政治や学ぶ (第三第年世紀) 石田政治・日本政治・日本政治・日本政治・日本政治・日本政治・日本政治・日本政治・日本						特別講座	特別			
	(専:事構・経常)財務管理・上場企業の財務政策・ (専:事構・経常)流通論・流通の全体像を把握し現実に起きている出来事を流通論の視点から分解する。	基礎		基	キャリア	С	キャリア系	С			
							情報系	情報			
		基礎		基	専門基礎	専基	経営経済系	経経			
							AL・留学	A留			
D							学科内共通推奨	共推			
Р							情報デザイン系	情デ			
1		東門		JL.	経営情報学科専門	経情	分析系	分析			
				_			開発系	開発			
1							学科内共通	共通			
							コース				
							学科内共通推奨 アジアユーラシア系	共推			
1							サンドユーランド糸 地域系	地域			
		専門		基	事業構想学科専門	事構	地域糸 経営系	超域 经营			
1							学科共通	共通			
							コース				
		専門		基	演習科目	演習					
		専門		基	教職課程	教職		-			
			_								
			_								
			_								
	(毎:経路・丹粉)デジタル産業特論・モデル化とジミュレーション・ (毎:経路・分析) マーケティング・データ分析支援・実践を逃してデータ分析予法を身につける・ (毎:経路・分析) データサイエンス田(データの変勢)と限案例も、通常情報のための批計子・ (毎:経路・分析) データサイエンス田(データの変勢)と限案例も、通常情報のための批計子・		(3	写:経情-コ) E・経情-コ)	マーケティング・心理実践	V -実践的マーケティ: VI - 実践的マーケティ:	ング心理コース 演習・				
	(専:経情·分析) データサイエンスIII(データの要約と因果関係) -経営情報のための統計学-		(3)	(専:事構-コ)BE実践V -実践的ビジネスエンジニアリングコース専門科日V-							
	(等:経債・分析)経営と意思決定・量的意思決定支援の方法・(等:経債・分析)ビッグデータ・マーケティング(2022年度以前入学者対象)・ビッグデータの理解と具体的な活用法を理解	し価値を提案する-	(3)	写:事構-コ)	BE実践VI -実践的ビジネス	エンジニアリングコー	ス専門科目VI-				
	(毎・転車/売りにングア・ペーカーグ・ペーカーグ) 「毎・福田/売りドングデータ・マーケティング(位置は高度は大き割割)。セングデータの標準と具体的な出出さる物解 (毎・福田-カープ・ファイング)・心臓支担=「実的アーケティングルボコース 清吾・ 「毎・田田-ファーケティング・心臓支担=「実的アーケティングルボコース 清吾・ 「毎・耳根-コファーケティング・心臓大力・実力を一かった。」 「毎・耳根-コファーケティング・心臓大力・大きなど、大きなど、大きなど、大きなど、大きなど、大きなど、大きなど、大きなど、	し価値を提案する-									
	(寿・経情・コ)マーケティング・心理実践IV-実践的マーケティング心理コース 演習・										
	(専:事構-ア) アジア経済論 - アジア・ユーラシアダイナミズムと企業戦略、そして起業家精神- [専:事構-地域] 事業構想実強論 - 事業構想 (business design) の方法論-										
	「毎:高展・地図) 事業開発支援論・										
	(号 - 等号・48元) ノフンド・イベンス / ドー 同の定論・ (号 - 等等・(35) - 事業後 - 宗規的事業税を 25 (号 - 事博・経常) (CTマーケティング・ICTを利法用したマーケティングの現状と課題・										
D	(専:事構-経常) ICTマーケティング-ICTを利法用したマーケティングの現状と課題- (専:事構-コ) BE実践III (財務) -実践的ビジネスエンジニアリングコース専門科日III-										
P 2	(専:事構-コ) BE実践N (総合) -実践的ビジネスエンジニアリングコース専門科日N-										
2	(専:演習)ホームゼミⅡ (専:溶習)ホームゼミⅣ										
	(等:演習)ホームゼミV										
	(等・検告) ホームセミVI (等: 軟織) 教育相談 -心理・教育的支援およびカウンセリング・コミュニケーションスキル養成-										
			-		•						
			+								
1			_								
\vdash	「(富:重雄-ア) 韓国経済論 -日韓ドジネス-				_						
D	(等) : 第二次第二分 (数取扱列車・日報ビジネス・ (等) : 事事・時候) 地域金融海・社会にはて必要な金融の基礎/地域金融機関のつなぐか。 (等) : 事事・時候) ビジネスモデル会計・社会に出て必定つ金融研究の方法とピクト説やビジネスモデルキャンバスを学ぶ・										
P	(専:事構・地域)ビジネスモデル設計・社会に出て役立つ企業研究の方法とピクト図やビジネスモデルキャンパスを学ぶ- (専:教職)教育心理学・学校教育・社会人教育における心身の発達および学習の心理学-										
3			7								
L											
	(専:教職)情報科教育法 -高等学校「情報」の指導方法研究- (専:教職)情報科教育法 -高等学校「情報」の指導方法研究-				·						
	PPACE SILENGE STREET,										
D			+								
Р											
4			士								
			$- \mathbb{F}$								
\vdash	(専:事構-ア) 環像要人経済論・日本と中国・中草圏の架け橋となる人財を目指そう。		(1	厚: 教職) 教	育実習 - 教科指導の方法や写 職実践演習 - 学生生活と教育	- 級経営等の知識を実践	後の場で表現する-				
D	(専:事構・地域)中小企業論・中小企業の理論と競争戦略 (専:事構・地域)ソーシャルマーケティング・社会変革の方法論・		(3	写:教職〕教I	職実践演習 -学生生活と教育	f実習を振り返り、自己	己の教職観を再確認する	-			
P	(ウ・デカ 70M) / シェルイニリナリング・社工英米V/J在網。										
5											
_											

経営情報学科カリキュラムツリー カリキュラムツリーとは授業科目の履修系統図のことであり、時系列を軸とした各授業科目の関連性を表しています。系及びコース修了に向けた体系的な学修をする上で参考にしてくだ 1年次 2年次 春学期 秋学期 春学期 秋学期 IT活用法 コンピュータ概論 データベース I (Access) データベース II (SQL) Webデザイン Webプログラミング入門 ICTコミュニケーション入門 ICTコミュニケーション実践 プログラミング言語(C#) コンピュータ・サイエンス 情報工学概論 認知心理学 社会心理学 消費心理学 クラウドサービス活用 ビジネス数学基礎 情報ネットワーク 情報セキュリティ ビジネス数学Ⅱ ビジネス数学 I ビジネス数学実践 (線形代数) (解析) 情報法 法学(憲法) 先端情報技術概論 情報倫理 サービス産業論 経営情報特講 AIの活用と基礎 経営科学 経営学入門 ICTビジネス入門 経営情報論 図化技術概論 マーケティング・データ分析 マーケティング・マネジメント論 マーケティング・リサーチ データサイエンス【 データサイエンスⅡ (データ利活用の基礎スキル) (推定・検定) 調査実験入門 経営シミュレーションゲーム 原価計算 初級簿記 中級簿記 財務会計 クリエイティブデザインⅡ クリエイティブデザインI ユーザインタフェース 知覚心理学 コース(1年次) コース(2年次) 春学期 秋学期 春学期 秋学期 マーケティング・心理実践【 マーケティング・心理実践Ⅱ データ分析入門 プログラミング入門 教職課程(1年次) 教職課程(2年次) 秋学期 春学期 秋学期 春学期 教職概論 教育制度論 特別活動・総合的な学習の時間の指導法 教育方法 教育原理 特別支援教育概論 (ICTを活用した教育の理論及び方法を含む) 教育課程総論 生徒指導・進路指導論

経営情報学科カリキュラムツリー



事業構想学科カリキュラムツリー



事業構想学科カリキュラムツリー



多摩大学経営情報学部経営情報学科 2023年度以降入学生適用の履修モデル

経営情報学科では情報技術や情報処理の知識を体系的に学び、実践的な活用能力を身に付ける上で、「情報デザイン」「分析系」「開発系」の科目群を中心に計画的な優修が必要となります。 本服務モデルでは必ず優修しなければいけない利目や推奨する科目についてモデルを示しています。卒業要件や系修了要件と振らし合わせ、体系的な機修を進めるための参考にしてください。 (接收職課程に関する科目については本モデルに含めておりません。またコース修了要件は密度料で説明します。)

最低限膜値(修得単位)単位(必ず膜修が必要な科目の単位数)	1年次春	1年次秋	2年次春	2年次秋
①教養科目	6(6) ← ①~③の料	目の中から。	4~6(0~2)	4~6(0~2)
②キャリア科目	0 選択必能の	区分で8単位 → 2(1)	2(2)	2(2)
②専門基礎科田	12(11)	8(8)	2	2
	0(0)	0(0)	12(4)	12(4)
④専門科日 うち 分析系	0(0)	0(0)	4(0)	4(0)
系科田 開発系	0(0)	0(0)	6(0)	6(0)
⑤演習科田	2	2	2	2
望ましい修得単位数:合計(必ず服修が必要な料目の単位数)	20以上(19)	20以上(19)	22以上(6~8)	22以上(6~8)

					15					2年		
	科目群	区分		香学期		秋学期		香学期			秋学期	
		進必修		授業科日 アジアと日本の歴史 2単位	単位		単位	授業科田		単位	授業科田	_
		40年		アジアと日本の歴史 2単位	1 2	グローバルヒストリー 2単位 日本事情 1: 留学生用 ※2024年寝以降入学生対象	2	哲学入門 7	_	2	世界の宗教	_
	人文・歴史系	選択必修			+	LINGS - MY LIS X2024-QXXXXY LIST	-	多摩の歴史	-	2	歴史学実践(2025年度非開講)	+
								日本事情 II: 留学生用		2		+
		準必修				法学(憲法) 2単位	2					-
			FC	ライフ・デザイン	2	余暇マネジメント	2	サブカルチャー論		2	現代メディア論	\top
	社会科学系					情報倫理	2	情報法		2	ライフ・デザイン	\perp
		選択必修	1 -		_			ビジネス法		2	社会科学概論 防災学概論	┺
			1 –					文化人類学(異文化理解)	_	2		╄
				For Park Francisco V			_	日本事情頁:留学生用 English Expression I · II (再)	_	2	日本事情Ⅳ:留学生用 English Expression I · II (再)	╄
敦			1 (English Expression I 2単位 韓国語 I	2	English Expression II 韓国語 II	2	English Expression 1 · II (#4)		- 2	English Expression 1 · 1 (44)	+
簽		選択必修(請学)	1	中国語「	2	中国語目	2		/			╌
84			11	日本護護症指数・中級[:個学生用	2	日本誘導座中級TI·上級:留堂牛用	2		(21)	₩		Ж
В			_	A commission 1 days and	-			韓国ビジネスコミュニケーションI	\neg	2	韓国ビジネスコミュニケーションⅡ	+
						8学期で2単位ずつ必ず環僚		中国ビジネスコミュニケーションI		2	中国ビジネスコミュニケーションⅡ	+
	語学				細子は1	6子前で2単位9 269版作		Basic Office English I		2	Basic Office English II	1
								Practical English Conversation I		2	Practical English Conversation II	工
		選択必修		選択必修科目かつ基礎科目のため原則1年次	(のうち	に8単位限修		TOEIC I		2	TOEICII	丄
				※春学期は「ICTコミュニケーション入門」を				ドイツ語I	[2	ドイツ語	4
							-	ドイツ語II フランス語I	_	2	ドイツ語II フランス語I	+
				春学期: 4単位 秋学期: 4単位			-		-	2		+-
			-		-	スポーツI	2	フランス請!! スポーツ!!	-	2	フランス請Ⅱ	+
	スポーツ	選択			+	スポーツ1	2	VV-> I	\rightarrow	- 4		
	特別講座	特別選択必修	-		+	◇バーン C 連成	É	特別講座I	単位	2	特別講座Ⅱ	2単位
F	mc	がかり送が(の例 必能	-		+	ビジネススキル基礎 1単位	1	14.03MM/ME I 2		-	マの病能工	W-10.
,		準必修	-		+	しンサハハイル会域 1年以	-	キャリア・デザイン 1 2	単位	2	キャリア・デザインⅡ	2単位
		36.45\48e	-		+	ライティング・スキル(2025年度非関請)	2	単界研究		2	アドバンスド・ライティング・スキル(2025年度)	
J	キャリア				+	ビジネススキル実践 1単位	1	3601000	-	-		. Joseph
7		選択必修			1	MAN LANGITATION AND A	Ť		\rightarrow	-		
착					1				-	-		_
=		選択	1		-				\neg	\neg		_
_		必修		スタディースキル入門 2単位	2		\vdash					_
		第八條		IT活用法 2単位	2	ICTビジネス入門 2単位	2					_
		40%		ビジネス数学基礎 1単位	1							_
	(840.2)			ビジネス数学実践 ※2025年度入学生のみ対象 1単位	1	コンピュータ概論 ICTコミュニケーション実践	2	IT概論 I (2025年度非開講)		2	IT概論Ⅱ(2025年度非開講)	_
耳	III III III						2	情報ネットワーク		2	情報セキュリティ	
9		選択必修	IC	Tコミュニケーション入門 ※2025年度入学生のみ対象	k 2	AIの活用基礎	2	情報工学概論		2		
ij.												
20									\neg	J		$\overline{}$
8		準必修		グローカルビジネス入門 2単位 経営学入門 2単位	2	多摩学 2単位	2	1(2単位	μ		(21)
H	経営・経済系		44			マーケティングマネジメント論 2単位			$\operatorname{\square}$		51.00 × 100.00	_
Ħ	経高・経済氷	選択必備	40	経済学入門	2	ミクロ経済学	2	マクロ経済学		2	社会心理学	
		選択必修			1		<u> </u>	認知心理学	_	2	消費心理学	
			_	Study Abroad	2.4	Study Abroad	2.4	時事問題研究基礎	-	2	時事問題研究実践	_
	AL留学	選択	-	アクティブ・ラーニング実践	2.4	アクティブ・ラーニング実践	2.4		-			_
-		必修					\vdash	経営情報論 2	単位	2		_
		準必修								$\overline{}$	図化技術概論	2単位
	学科内系共通推奨科目	(本40 At)					-			_		2年以
		年6年						クラウドサービス活用	1	2	経営科学	2単位
Œ.		幸心症						ビジネス数学 I (線形代数)	П	2	ビジネス数学 I (解析)	2単位
経世		華心塚						ビジネス数学 I (線形代数) 調査実験入門	П	2	ビジネス数学 I (解析) 先端情報技術概論	2単版
s	date of the w	幸必等						ビジネス数学 I (線形代数) 調査実験入門 クリエイティブデザイン I (動画編集)	П	2 2 2	ビジネス数字 II (解析) 先婚情報技術概論 クリエイティブデザイン II (3 DCG)	2#52
官	情報デザイン系							ビジネス数学 I (線形代数) 調査実験入門	П	2	ビジネス数学 I (解析) 先端情報技術概論	2#52
一首長	情報デザイン系	選択心修						ビジネス数学 [(線形代数) 調査実験入門 クリエイティブデザイン1 (動雨爆集) ユーザインタフェース	П	2 2 2	ビジネス数学 I (解析) 先端情報が有概論 クリエイティブデザイン II (3 DCG) 短覚心理学	2.00
一首青银学	情報デザイン系							ビジネス数学 ((線形代数) 調査系験入門 クリエイティブデザイン (鏡楽編集) ユーザインタフェース マーケティング・リサーチ		2 2 2	ビジネス数学軍(解析) 先端情報技術概論 クリエイディブデザイン軍(3 DCG) 知覚心理学 マーケディング・データ分析	2 10 10
一點青银学科								ビジネス数学 [(線形代数) 調査実験入門 クリエイティブデザイン1 (動雨爆集) ユーザインタフェース		2 2 2 2 2 2	ビジネス数学 E (解析)	
一首青银学								ビジネス飲ま! (場所代数)		2 2 2	ビジネス数字 I (解析) 発頭情報技術型論 クリエイティフテザイン II (3 DCG) 知覚心理学 マーケティング・テータ分析 テータサイエンス II (報定・検定)	
一首青泉学习写								ビジネス参学 1 (原列代数) 東西王族人所 クリエイティブデザイン 1 (新国編集) ユーザインクフェース マーケティング・リサー手 データサイエンス (データ科用の基礎スキ データベース 1 (Access)		2 2 2 2 2 2	ビジネス数字 I (解析) 先駆情報技術型点 クリエイティフラザイン I (3 DCG) 知见心理字 マーケティング・データ分析 データサイエンス I (電変・検定) データペース I (SQL)	
- 古年段 4 年 9 月	分析系							ビジネス飲ま! (場所代数)		2 2 2 2 2 2 2 2	ビジネス数字 I (解析) 発頭情報技術型論 クリエイティフテザイン II (3 DCG) 知覚心理学 マーケティング・テータ分析 テータサイエンス II (報定・検定)	
- 香 等 提 4 年 年 年 4	分析系					が設備と	2	ビジネス等学 ((場所性的)		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4	ビジネス祭字 (解析)	
一皆青泉学斗写号斗	分析系開発系					於能導記	2	ビジネス学 I (IRI) (I		2 2 2 2 2 2 10me	ビジネス祭学 (解析)	
- 香 等 提 4 年 年 年 4	分析系					58080	2	ビジネス等学 ((場所性的)		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4	ビジネス数字 (解析) 元期報報が相信。 クリエイティプテザイン (3000) が成り、 1000 (1000) データケインス (関文・第三) データケインス (関文・第三) データケインス (関文・第三) データケインス (関文・第三) Web/プログラニッグ A 経済シェン・ションゲム 経済が解析項	
- 香 等 提 4 年 年 年 4	分析系 開発系 学科共連	選択必修					2	ビジネス等字 ((場所代数)	JU)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2	ビジネス数学 (保険) 光報報知時報記 クリエイディプラザイン (3 X CO) が現代書学 マーケイング・データ分析 マーケイング・データが アーケイング・データが 地域プログラミング AT 2 とによってオビング 経路台目 財政ジョン・ションゲーム 経済情報時期 海島出身	
- 香 等 提 4 年 年 年 4	分析系開発系			プログラミングス円	2	伝統環境 データが和入門	2	ビジネス等学 ((場所性的)		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4	ビジネス数字 (解析) 元期報報が相信。 クリエイティプテザイン (3000) が成り、 1000 (1000) データケインス (関文・第三) データケインス (関文・第三) データケインス (関文・第三) データケインス (関文・第三) Web/プログラニッグ A 経済シェン・ションゲム 経済が解析項	
- 香 等 提 4 年 年 年 4	分析系 開発系 学科共連	選択必修		プログラミングス所	2		2	ビジネス等字 ((場所代数)	JU)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2	ビジネス数学 (保険) 光報報知時報記 クリエイディプラザイン (3 X CO) が現代書学 マーケイング・データ分析 マーケイング・データが アーケイング・データが 地域プログラミング AT 2 とによってオビング 経路台目 財政ジョン・ションゲーム 経済情報時期 海島出身	
* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	分析系 開発系 学科共通 コース	選択必修		グログラミンガル内	2		2	ビジネス等字 ((場所代数)	JU)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2	ビジネス数学 (保険) 光報報知時報記 クリエイディプラザイン (3 X CO) が現代書学 マーケイング・データ分析 マーケイング・データが アーケイング・データが 地域プログラミング AT 2 とによってオビング 経路台目 財政ジョン・ションゲーム 経済情報時期 海島出身	
5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	分析系 開発系 学科共連	選択必修		プログラミングル内	2		2	ビジネス等字 ((場所代数)	JU)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2	ビジネス数学 (保険) 光報報知時報記 クリエイディプラザイン (3 X CO) が現代書学 マーケイング・データ分析 マーケイング・データが アーケイング・データが 地域プログラミング AT 2 とによってオビング 経路的 財政ジョン・ションゲーム 経済情報時期 海島田学	
	分析系 開発系 学科共通 コース	選択必修		プログラミングス円	2		2	ビジネス等字 ((場所代数)	JU)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2	ビジネス数学 (保険) 光報報知時報記 クリエイディプラザイン (3 X CO) が現代書学 マーケイング・データ分析 マーケイング・データが アーケイング・データが 地域プログラミング AT 2 とによってオビング 経路的 財政ジョン・ションゲーム 経済情報時期 海島田学	
香 等 提 产 斗 字 节 斗 目	分析系 開発系 学科共通 コース	選択必修		プログラミングス円	2		2	ビジネス等字 ((場所代数)	JU)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2	ビジネス数学 (保険) 光報報知時報記 クリエイディプラザイン (3 X CO) が現代書学 マーケイング・データ分析 マーケイング・データが アーケイング・データが 地域プログラミング AT 2 とによってオビング 経路的 財政ジョン・ションゲーム 経済情報時期 海島田学	
	分析系 開発系 学科共通 コース	選択必修		プログラミングス円	2		2	ビジネス等学 ((場所性的)	JU)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2	ビジネス数学 (保険) 光報報知時報記 クリエイディプラザイン (3 X CO) が現代書学 マーケイング・データ分析 マーケイング・データが アーケイング・データが 地域プログラミング AT 2 とによってオビング 経路的 財政ジョン・ションゲーム 経済情報時期 海島田学	
2. 有限产科学与科目 多类有效	分析系 開発系 学科共通 コーム アジアユーラシア系	選択心様		プログラミング入内	2		2	ビジネス等字 ((場所代数)	JU)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2	ビジネス数学 (保険) 光報報知時報記 クリエイディプラザイン (3 X CO) が現代書学 マーケイング・データ分析 マーケイング・データが アーケイング・データが 地域プログラミング AT 2 とによってオビング 経路的 財政ジョン・ションゲーム 経済情報時期 海島田学	
- 常有景色科学門科目	分析系 開発系 学科共通 コース	選択必修		プログラミングル円	2			ビジネス等学 ((場所代報)	JU)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2	ビジネス数学 (保険) 光報報知時報記 クリエイディプラザイン (3 X CO) が現代書学 マーケイング・データ分析 マーケイング・データが アーケイング・データが 地域プログラミング AT 2 とによってオビング 経路的 財政ジョン・ションゲーム 経済情報時期 海島田学	
- 信有限之斗字門斗目	分析系 開発系 学科共通 コーム アジアユーラシア系	選択心様		プログラミング入内	2			ビジネス等学 ((場所性的)	JU)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2	ビジネス数学 (保険) 光報報知時報記 クリエイディプラザイン (3 X CO) が現代書学 マーケイング・データ分析 マーケイング・データが アーケイング・データが 地域プログラミング AT 2 とによってオビング 経路的 財政ジョン・ションゲーム 経済情報時期 海島田学	
一 的 青 最 学 斗 写 斗 目	分析系 開発系 学科共通 コーム アジアユーラシア系	選択心様		プログラミングネ円	2			ビジネス等学 ((場所代報)	JU)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2	ビジネス数学 (保険) 光報報知時報記 クリエイディプラザイン (3 X CO) が現代書学 マーケイング・データ分析 マーケイング・データが アーケイング・データが 地域プログラミング AT 2 とによってオビング 経路的 財政ジョン・ションゲーム 経済情報時期 海島田学	
一 的 青泉 的 科 写 刊 目 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	分析系 開発系 学科共通 コーム アジアユーラシア系	選択心様		プログラミングス円	2			ビジネス等学 ((場所代報)	JU)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2	ビジネス数学 (保険) 光報報知時報記 クリエイディプラザイン (3 X CO) が現代書学 マーケイング・データ分析 マーケイング・データが アーケイング・データが 地域プログラミング AT 2 とによってオビング 経路的 財政ジョン・ションゲーム 経済情報時期 海島田学	
16 青泉学科罗門科田 移業再見学科罗門科	分析系 開発系 学科共通 コーム アジアユーラシア系	選択心様		70493×24XF	2			ビジネス等学 ((場所代報)	JU)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2	ビジネス数学 (保険) 光報報知時報記 クリエイディプラザイン (3 X CO) が現代書学 マーケイング・データ分析 マーケイング・データが アーケイング・データが 地域プログラミング AT 2 とによってオビング 経路的 財政ジョン・ションゲーム 経済情報時期 海島田学	
16 青泉学科罗門科田 移業再見学科罗門科	分析系 開発系 学科共通 コーム アジアユーラシア系	選択心様		プログラミングス円	2			ビジネス等学 ((場所代報)	JU)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2	ビジネス数学 (保険) 光報報知知報報 クリエイディプラザイン (3 X CO) が現代書学 マーケイング・データ分析 マーケイング・データ分析 アーケイング・データー (3 K CO) 地域プログラミング AT 2 とによってオビスン 経路会計 財政ジョン・ションゲーム 経済情報等議 海島出資	
- 含有农产年早月年日	分析系 開発系	選択心様		70 4 9≅≥∕4λΠ	2			ビジネス等学 ((場所代報)	JU)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2	ビジネス数学 (保険) 光報報知知報報 クリエイディプラザイン (3 X CO) が現代書学 マーケイング・データ分析 マーケイング・データ分析 アーケイング・データー (3 K CO) 地域プログラミング AT 2 とによってオビスン 経路会計 財政ジョン・ションゲーム 経済情報等議 海島出資	
- 含有农产年早月年日	分析系 開発系 学科共通 コーム アジアユーラシア系	選択心様				データ分析入門	2:	ビジネス等学 ((場所代報)	1000	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	ビジネス祭91(解例) 売締物料が相談 クリエイティプラヴィンス(ススの) 大変の世界 マーケティング・データが マーケティンス(成立・応え) アーヴァインスを (成立・応え) (MA) フランングスト (現実 解析) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
26 青泉 24 年 7 年 8 年 8 年 8 年 9 年 9 年 9	分割系 開発系 アドリカ コーム アジアユーラシア系 地域系 従業系 デリリス 通	選択心様		янля	2	データ分布入行	2	ビジネス等学 (((((((((((((((((((100	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	ビジネス数学工(解析) 光極等形式を超さ クリエイティフラザイン(130Cの) 実 マーケティング・デーク分析 デークライエンスを「展示・施工」 データーへ上 (50C) Web TOフラミングト コンピューテー・サイエン 経済機能が議 所参加法 アーケティング・・グギス第1 (第2) コレーフングーム	
古有农产科学师科目 多英希腊产科学师科目	分割系 開発系	選択心相 選択			2	データ分析入門	2:	ビジネス等子 ((原料代数)	1000	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	ビジネス数学工(解析) 光極等形式を超さ クリエイティフラザイン(130Cの) 実 マーケティング・デーク分析 デークライエンスを「展示・施工」 データーへ上 (50C) Web TOフラミングト コンピューテー・サイエン 経済機能が議 所参加法 アーケティング・・グギス第1 (第2) コレーフングーム	
一 的 青泉 的 科 写 刊 目 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	分割系 開発系	選択心様		янля	2	データ分布入行	2	ビジネス等学 (((((((((((((((((((100	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	ビジネス数学工(解析) 光極等形式を超さ クリエイティフラザイン(130Cの) 実 マーケティング・デーク分析 デークライエンスを「展示・施工」 データーへ上 (50C) Web TOフラミングト コンピューテー・サイエン 経済機能が議 所参加法 アーケティング・・グギス第1 (第2) コレーフングーム	2單位

3年次春 2~4 2~4(2)			3年次) 2~4 2~4(2				4年次春 2 0			4年次秋 2 0					
2 12(2)			2 12(2))			0 2(2)			0 2(2)					
4(0) 2(0)			4(0) 2(0)				0(0) 0(0)				D(0) D(0)				
2 20以上(4)			2 20以上:	(4)			2 6以上(2)			6.0	2 北上(2)				
		36	Eγ						4£7	,					
香学期 授業科日		単位	秋学斯 授業科田	Ħ	単位		春学期 授業科日		単位	授業	学期	1			
双条行口	_	14117	技条行口		141.77		3X,9R(1412)		19/152	12,941	10	-			
	1			1											
					+							\rightarrow			
情報と阪業		2													
	1			1	+										
	1			+	+	<卒業9	12件~								
	2単位			2単位		14340	科目群	必修	別選択	選択必修・準必修	選択	81			
TOEICII		2	TOEICIV	-	2	1	教養・キャリア	1	必修 2	27 4(語学					
						基礎	専門基礎	2	-	20	22	124			
						専門	学科専門 演習	2 16	-	28					
						W1. D	合計	21	2	79 の科目のうち、卒業	22	124			
							す別選択必修」「選が た科目は、「選択」				受什を超え(. 16:109			
2単位(いずれかの学期で関修)							属している学科以 (択)区分に算入さ		多・準心	修」区分の科目を修行	身した場合(t,			
	,					※3:演	習科目群の卒業要	件として参入	される	単位数の上限は32単	立までとしま	きす。			
キャリア・デザインⅢ	2単位	2	キャリア・デザイ	「ンIV 2単位	2 2					dy Abroad」を合算し は16単位までとしま?					
						=									
					\pm	1—	情報学科 分析	T糸・開発を	_	了要件>	SELEN N. Adv.	=1			
インターンシップ I		2	インターンシッ	ブI	2	1	科目群		火		選択必修	Ħ			
		-(3年次での服修を推奨			基础	情報系			2 6	(4-). (T)	8			
1		Ħ	※通年科目			1—	M471-1-7-1	1.500		(準必修2単	- '				
						١	学科内系共	も		2 2	4	8			
	2単位			$\overline{}$		専	22 01111				16	16%			
	2442			2単位		1	開発系				16				
							# = 007 = -	101 - 1 - 1 - 122		4 28		32			
						※分析	糸・開発糸のい	すれかを選	択し、	選択した科目群か	ら16単位を	化修得			
			,												
デジタル産業特論	7	2													
デザイン思考		2							\vdash						
マーケティング・データ分	折雾跳	2	ピッグデータ・マーク	ティング	2										
データサイエンスⅢ(データの要	(約と因果関係)	2	4章位 データサイエンス IV (多変	量解析・分類)	2				Ħ						
コンピュータネットワーク Web プログラミング実	活用路	2	ITセキュリティ(高度セ Webサービスを	キュリティ)	2				Ħ						
neo y Es y Es y Es		_	2800 1100 250	076											
		.(12	2862		1280	$\overline{}$			Ħ						
マーケティング・心理実践	NA TE	2	マーケティング・心	DRIVERS N.			マーケティング・心理実	96.17		マーケティング	. Alteriores				
マーグテイング・心理実証 事業構想論 国際経済学	O(III	2 2	マーグティング・心 事業構想最新引 国際ビジネスフ	時	2 2 2		マーグティング・心理実 アジア経済論 国際ビジネス論 II	53, V	2 2 2	マーグティング 韓国経 華徳華人	資油				
国際関係論 現代欧州論		2 2	アジア文化制	ì	2 2		中国経済論		2	単例単人 ロシア経済論 (20 アジアユー	25年度非開講)				
現代欧州福 東アジア入門		2	中国諮問の社 東南アジア経済 現代米国論	A	2				H	アンアユー	ノング調				
地域ビジネスプランニン	.9	2		e e e e e e e e e e e e e e e e e e e	2		事業構想実践論		2	ソーシャルマ・					
		L	NPO・NGO 金融論 地域政策ブランコ	ング	2		行動経濟学 地域金融論		2	日本経 地域額	光論				
		Ŀ	スポーツマネジメ 地域スポーツ	ント論 論	2		中小企業論 ビジネスモデル設計		2	地域産					
アントレブレナーシップ 経営戦略論	協	2	経営思想史 ベンチャー企業		2		財務分析 ICTマーケティング	_	2	財務	in				
							経営組織 ブランドマネジメン	,	2	事業行	tek				
事業構想特講 BE実践II (財務)		2	BE実践IV(総名	s)	2		BE実践V		2	BE実	ivi	\rightarrow			
ホームゼミエ・V	2單位	2	ホームゼミル・		2			2単位		DESC		2単位			

多摩大学経営情報学部事業構想学科 2023年度以降入学生適用の履修モデル

経営情報学科では組織マネジメント、国際経済や国際ビジネス、地域ビジネスを体系的に学び、事業を構想する力(能造的問題解決力)本層修モデルでは必ず層修しなければいけない科目や推奨する科目についてモデルを示しています。 辛業業件や消修了業件と振らし合わせ、体系的な機修を進めるための参考にしてください。 (表表数据形に関係とお目についてはモデルに会かされまりません。またコース有了要件に別資料で説明します。)

(双鉄蝋練性に関する付日に)いては今七) ルに目のておりませ	ん。またコーへ形」安什は別貝朴で説明します。」			
最低限膜修(修得単位)単位(必ず膜修が必要な料目の単位数)	1年次春	1年次秋	2年次春	2年次秋
①教養科田	6(6) ← ①~①のB	目の中から。 (6)	4~6(0~2)	4~6(0~2)
②キャリア科目		区分で8単位 → 2(1)	2(2)	2(2)
③専門基礎科目	12(11)	8(8)	2~4	2~4
	0(0)	0(0)	12(4)	12(4)
④専門科日 うち アジアユーラシア系	0(0)	0(0)	6(0)	2(0)
系科 地域系	0(0)	0(0)	0(0)	4(0)
日経常系	0(0)	0(0)	4(0)	4(0)
(5演習科目	2	2	2	2
望ましい修得単位数:合計(必ず履修が必要な科目の単位数)	20以上(19)	20以上(19)	22以上(6~8)	22以上(6~8)

	科田群	区分	春学期	1 [±]	F次 秋学期		春学期		2€	F次 秋学期	
	科田研		授業科田	単位	授業科田	単位			単位	校学期 授業科日	
		準必修	アジアと日本の歴史 2単位	2	グローバルヒストリー 2単位		哲学入門	_	2	世界の宗教	_
	人文・歴史系	選択必修		一	日本事情 I: 留学生用 ※2024年度以降入学生対象	2	多摩の歴史	╌	2	歴史学実践(2025年度非開講)	+
					法学(憲法) 2単位		日本事情 王:留学生用		2		
		準必修	ライフ・デザイン	2	法学(憲法) 2単位 余暇マネジメント	2	サブカルチャー論	+	2	現代メディア論	+
	社会科学系				倩報倫理	2	情報法	+	2	ライフ・デザイン	+
	11.2X14-3-7K	選択必修		I			ビジネス法		2	社会科学概論 防災学概論	
				₩		+	文化人類学(異文化理解) 日本事情証: 韶学生用	+	2	防災子概論	+
教			English Expression I	2	English Expression II	2		+	2	English Expression I · II (再)	+
教養		選択必修(請学)	2単位 韓国語 I	2	2単位 韓国語II	2		1			10
料料			中国語 I 日本語講座初級・中級I: 留学生用	2	中国語II 日本語講座中級II・上級:留学生用	2		1	単位		1
日				1		-	韓国ビジネスコミュニケーションI	+	2	韓国ビジネスコミュニケーションⅡ	
	語学			語学は	B学期で2単位ずつ必ず履修	_	中国ビジネスコミュニケーションI	_	2	中国ビジネスコミュニケーションI	_
	#R-7"		I	=		+	Basic Office English I Practical English Conversation I	+	2	Basic Office English II Practical English Conversation II	+
		選択必修	選択必修科目かつ基礎科目のため原則1年2	次のう	ちに8単位限修		TOEIC I		2	TOEIC II	
			※春学期は「ICTコミュニケーション入門」	を選択			ドイツ語I ドイツ語II	+	2	ドイツ語I ドイツ語II	+
			春学期: 4単位 秋学期: 4単位				フランス語I	+	2	フランス語I	+
				二			フランス語II		2	フランス語II	
	スポーツ	選択		₩	スポーツ I スポーツと健康	2	スポーツⅡ	,	2		\perp
	特別講座	特別選択必修		+		1 2	特別講座 I	2単位	2	特別講座Ⅱ	2単位
+		必修			ビジネススキル基礎 1単位	1					
t		準必修		厂	ライティング・スキル(2025年度非開講)	2	キャリア・デザイン I 業界研究	2単位	2		2単位
リア	キャリア	選択必修		+	フイティング・スキル(2025年度非開講) ビジネススキル実践 1単位		果开切九		- 2	アドバンスド・ライティング・スキル(2025年)	io 7F IHILA
ア科		遊死必帰		t							
日日		道択		₩		_			-		
_		必作	スタディースキル入門 2単位	2		+			+		
		準必修	IT活用法 2単位		ICTビジネス入門 2単位	2					
			ビジネス数学基礎 1単位		コンピュータ概論		IT概論 I (2025年度非開講)		2	IT概論I(2025年度非開講)	
専	情報系		ビジネス数学実践 ※2025年度入学生のみ対象 1単位	1	ICTコミュニケーション実践	2	11位編1(2025年度非同期) * 情報ネットワーク		2	11 (紅細 I (2025年後9年回時) 情報セキュリティ	
P9		選択必修	ICTコミュニケーション入門 ※2025年度入学生のみ対象	2	AIの活用基礎	2	情報工学概論		2		
푮				=							
礎		準必修	グローカルビジネス入門 2単位	2	多摩学 2単位	2		21111		-	211
科		進心部	経営学入門 2単位	JI 2	マーケティングマネジメント論 2単位	2		2411	_		_
H	経営・経済系	選択必修	経済学入門	2	ミクロ経済学	2	マクロ経済学院知心理学		2	社会心理学 消費心理学	
		28/C6/78/EK		+		+	認知心埋字 時事問題研究基礎		2	消費心埋字 時事問題研究実践	
	AL留学	選択	Study Abroad	2.4	Study Abroad	2-4					
		必惟	アクティブ・ラーニング実践	2-4	アクティブ・ラーニング実践	2-4	事業提利論	2単位	2	,	
	学科内系共通推奨科田	準必修		+		+	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2+16	2	事業構想最新事情	2単位
							国際経済学		2		
	アジアユーラシア系			₩		-	国際関係論		2	アジア文化論	
事	7374 337 #			+			東アジア入門		2	東南アジア経済論	
業				L					2	現代米国論	
構				\perp			地域ビジネスブランニング		2	NPO · NGOIG	
想学	地域系			+		-	280			6000 地域政策プランニング	
科科		選択必修		+				10単位		スポーツマネジメント論	10%
専				二				10992	4	地域スポーツ論	\succeq
P9				+			サービス産業論 アントレプレナーシップ論		2	経営思想史 ベンチャー企業論	
科	経営系						中級簿記		4	財務会計	
日			<u> </u>	₩-	初級簿記	2	経営戦略論		2	経営シュミレーションゲーム	
				+						原価計算	
	学科共通			二			マーケティング・リサーチ		2	マーケティング・データ分析	
	3-X	選択	会計入門	2	経営管理入門	2	事業構想特講 BE実践 I (戦略)		2	BE実践I (組織)	
	- ^	7世界	女計入口	+-	社会長班人门	- 4	ロビ英は1(物剤)		1	DE英线 I (組織)	
	学科内系共通推奨科田			I							
経				+		+			1		
				-		\vdash			1		
z	l			F		1	選択科目として				
当情	情報デザイン系			+		4 :	22単位以上履修を推奨		1		
當情報学	情報デザイン系	選択		+		╙			1		
當情報学科	情報デザイン系 分析系	選択		\mathbf{L}							
経営情報学科専		選択				+			1		
當情報学科專門	分析系	選択		+-			I		+		
當情報学科專	分析采問発系	選択		Ħ							
當情報学科專門科	分析采 開発系 学科共通	班		E		┢					
當情報学科專門科目	分析采問発系	遊択	プログラミング入門 フレゼミ! 2乗位	2	データ分析入門 プレゼミエ 2単位	2	マーケティング・心理実践 1 ホームゼミ 1	2排位	2		288
當情報学科専門科田 演	分析系 開発系 学科共週 コース		プログラミング入門 プレゼミI 2単位	2	データ分析入門 プレゼミエ 2単位		マーケティング・心理実践 I ホームゼミ I	2単位		マーケティング・心理実践IIホームゼミII	2単位
當倩報学科専門科目	分析采 開発系 学科共通		プログラミングA円 プレゼミ1 2単位	2	データ分析入門 プレゼミII 2単位		マーケティング・心理実践 I ホームせミ I	2単位		マーケティング・心理実践 E ホームゼミ E	2単位

1975 1975	2 12(2)				2 12(2)				2(2)					2(2)		
### 1975 100	4(0) 4(0)				4(0)				0(0)					0(0)		_
### (1972) 1972 1	4(0)				4(0)				0(0)					0(0)		
1998 1998	20以上(4)			20	以上(4)		$\equiv \dagger$		6以上(2)					6以上(2)		
1998 1998																
1982 1983	春学期		34		秋学期				春学期		4年	次		秋学期		
1			単位	授業特	科目		単位				単位		授			単位
1		1			1						+					╁
1		-									\perp					₩
1																
1982 1982	特報と職業	+	2													+
1982 1982																F
1982 1982																╘
TODICS 2 TODICS TODICS 2 TODICS TODICS 2 TODICS TODICS 2 TODICS 2 TODICS 2 TODICS 2 TODICS 2		+_	L					<卒業事	要件>							⊐
1985年 2 1985年 2 1985年 2 2 2 14(897) 2 2 2 12(4 187) 2 2 2 12(4 187) 2 2 2 2 2 2 2 2 2		C	単位			284	۲	1	科目群	必修		R 選抜	R必修・準必f	多 選択	81	ı
1985 1975 1985 2 2 20 124 124 124 125 124	TOEICII		2	TOEI	ICIV		2	207788	教養・キャリア	1		2	7 4(語等	t)	+	\dashv
1970 1970		+						熱稅	専門基礎					_	124	₄ -
								専門				_	28		1	ŀ
### 11 (特別根別の利用のでは、その前、日から日本日本でとします。 #### 12 (19) (\pm											79	22	124	1
2		+					H					科目の	うち、卒業要	牛を超えて修	(8)	丁
### (1997 - 1994 - 1997)	,											応 区分々	D科目を修得し	た場合は		ļ
### 1977-99479							H	「途	註別区分に算入され	ます。						ŀ
##U7・9942章 126 2 *********************************														までとします	-	ļ
大学学術の形式 2 1985	キャリア・デザイン皿	2単位	2	キャリア・ラ	デザインIV	2単位	2									ŀ
1								=						(4x ye)		=
1								<事業		・アユーラ	_					_
	インターンシップ I		2	インターン	シップI		2				d	必修		選択必修		_
1982 1982 1982 1983 1984 1984 1985								基礎								
## 地域系 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 32 2 6 24 32 2 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7								1	学科内系共	通		2	2		4	
1980 1980				※通年科田	نصل			市日	アジアユー	ラシア系				24		- 1
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								7	地域系					24	249	*
### (1997) (19		_				_			経営系					24		
### A PARTIE AND		28/6	برا			2111	٣		at-			2	6	24	32	7
								※アジ	アユーラシアタ	系・地域系	そ・経営	営系のは	ハずれかを	選択し、i	選択した	=
ファンフーランド語 2 ファンマルス・アクティング 2 ファンマルス・アクティング 2 では、								科目	群から24単位	を修得						
ファンフーランド語 2 ファンマルス・アクティング 2 ファンマルス・アクティング 2 では、																f
ファンフーランド語 2 ファンマルス・アクティング 2 ファンマルス・アクティング 2 では、											\blacksquare					F
ファンフーランド語 2 ファンマルス・アクティング 2 ファンマルス・アクティング 2 では、	国際ビジネス論	1	2	68回线	E済論		2									
ファンフーランド語 2 ファンマルス・アクティング 2 ファンマルス・アクティング 2 では、	アジア経済論 中国経済論	\rightarrow	2	単倍華人 ロシア経済論 (20	、経済論 025年度非開講)	+	2				+					₩
日報日本学 2				アジアユー	-ラシア論		2									F
報金金融図 2 mm (MRT/MRT) 2 mm			2	ソーシャルマ・	ーケティング		2				\pm					\pm
新校学 2 新田田 2 東京田田 2	nesso 助城金融論		2	日本経 地域観	(共高 光倫		2				+					+
新校学 2 新田田 2 東京田田 2	中小企業論 ピジタフエデル:00%		2	地域在	業論		2									\vdash
1013-797/27 2 1989 2	財務分析		2	財務官	管理		2				\pm					\pm
1989 1980							2				+					+
BERRIE (MR) 2 BERRIY (配合) 2 BERRIY (配合) 2 BERRIY 3	ブランドマネジメント		2													F
BERRIE (MR) 2 BERRIY (配合) 2 BERRIY (配合) 2 BERRIY 3																
程度所報節 2 節化が極間 2 万シウルを乗換 2 ブシウルを乗換 2 ブシウルを乗換 2 でラウトサービス所 2 経験程序 2 でラントの乗り (回称性例) 2 ビジネス数字 (回称性例) 2 ビジネス数字 (回称性例) 2 ビジネス数字 (回称性例) 2 でジネス数字 (回称性例) 2 でジネス数字 (回称性例) 2 でジネス数字 (回称性例) 2 アラウオングを乗り 2 アラウオングを乗り 2 アラウオングを乗り 2 アラウオングを乗り 2 アラウオングを乗り 2 アラウオングに (国産・検定) 2 アラウオンズは (アラウオンズは アラウカがた 2 アラウオンズは (アラウオンズは (アラウオンズは アラウカがた 2 アラウオンズは (アラウオンズは アラウカがた 2 アラウオンズは (アラウオンズは アラウカがた 2 アラウオンズは アラウカがた 2 アラウオンズは アラウカがた 2 アラウオンズは (アラウオンズは アラウカがた 2 アラウオンズは アラウカがた 2 アラウオンズは 2 アラウオンズは 2 アラウオンズは 2 アラウオンズは 2 アラウオンズは 2 アラウオング (アラウオング・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ		-	(12)	·		+	_				$+$ \exists					H
クラフドワービス高用 2 資業日享 2 ビジスス度す (原列下島) 2 ビジスス度す (原列下島) 2 前倉業県入門 2 先端報告外的協会 2 ウリエティテップサイン (動業報告) 2 クリエティテップサイン (動業報告) 2 フ・ナインタフェース 2 クリエイティアラサイン (立て) 2 データサイエンス (データの開発の歴史トル) 2 アーウサイエンス (第2 で 検定) 2 データルエンス (「データの開発の歴史 (大学) 2 アーウサイエンス (データの野身に展開的 (大学) 2 データルース (Access) 2 データルース (大学) 2 データルース (Access) 2 データルース (大学) 2 プログラミング国 (キ) 2 Webプログラミング東ス (大学) 2 プログラミング国 (本) 1 2 Webプログラミング東ス (大学) 2 マーケディング・(砂葉大田 と) 2 アーケディング・(砂葉大田 と) 2 マーケディング・(砂葉大田 と) マーケディング・(砂葉大田 と) 2 アーケディング・(砂葉大田 と) 2 マーケディング・(砂葉大田 と) エーレス (大学) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	BE実践II(財務)	\Rightarrow	2	BE実践IV	(総合)	F	2		BE実践V デジタリを集件体				BE)	EB,VI		2
図言葉以入行 2	クラウドサービス活用		2	経営	科学		2		ノンフル生乗付締		- 2					
クリエイティブラザイン [(協議報) 2 クリエイティブラザイン [(30KG) 2 アザインを含 2 2 アザインを含 2 アザインを含 2 アザインを含 2 アナクサイエンス [(原文・検定) 2 ア・クサイエンス [(原文・検定) 2 ア・クサイエンス (データがお客覧) 2 ア・クサイエンス (原文・サント・ファイング・データがお客覧) 2 ア・クサイエンス (原文・検定) 2 ア・クサイエンス (原文・サント・ファイング・データが (原文・サント・ファイング・データ・ファイング・データ・ファイング・データ・ファイング・ファイ	調査実験入門	\dashv	2	先端情報	技術概論	+	2				+					+
データサイエンス1 (データ所品所の確認スキル) 2 データサイエンス1 (第2・検定) 2 マークティング・データ分布実施 2 ビッグデータ・マークティング 2 データサイエンス(原子の原用の確認を) 2 データサイエンス(原子の原用の確認を) 2 データサイエンス(原子の原用の理解的) 2 データサイエンス(原子の原用の理解的) 2 データサイエンス(原子の原用の理解的) 2 データサイエンス(原子の原用の理解的) 2 データサイエンス(原子の原用の理解的) 2 Webプレビス開発 2 Webプレビス(原子のア・プ・プ・プ・ア・プ・プ・ア・プ・ア・プ・ア・プ・ア・プ・ア・プ・ア・プ・ア	クリエイティブデザイン I (動画編集		2	クリエイティブデ!	ザインⅡ(3DCG)	\vdash	2		デザイン思考		2					F
アーヴサイエンス銀(デーの物料に開始的) 2 デーヴサイエンス銀(デーの物料に開始的) 2 デーヴサイエス ((対象策略件・分割) 2 デーヴィース ((Access) 2 デーヴィース ((SQL) 2 コンピュータキッドラーの規則 2 Web プログラミング業員 2 Tiでキュリティ(制度できょりディ) 2 Web プログラミング業員 2 Tiでキュリティ(制度できょりディ) 2 コンピュータ・サイエンス 2 Web プログラミング業員 2 Tiでキュリティ(制度できょりディ) 2 ファーヴァイング・40年末日 2 デーヴァイング・40年末日 2 デーヴァイング・40年末日 2 デーヴァイング・40年末日 2 デーヴァイング・40年末日 2 デーヴァイング・40年末日 2 オームゼミ音マ 1960 2 19						上										上
データベースI (Access) 2 データベースI (Access) 2 フリフラミング書館 (キ) 2 WebプログラミングスFI 2 Webプログラミング表度 2 ITセキュリティ (角度セネリティ) フグラミング書館 (キ) 1 2 Webプログラミング表度 2 ITセキュリティ (角度セネリティ) シンピュータリイ・バファン 2 2 Webプログラミング表度 2 ITセキュリティ (角度セネリティ) マーケディング・心臓実践 2 マーケディング・心臓変数 2 196 2 2 マーケディング・心臓変数 2 </td <td>テータサイエンス [(データ利活用の基礎ス</td> <td>(キル)</td> <td>2</td> <td>データサイエンス</td> <td>Ⅱ(推定・検定)</td> <td>+</td> <td>2</td> <td>データリ</td> <td>?ーケティング・データ分 !イエンスⅢ(データの要!</td> <td>析実践 9と因果関係)</td> <td></td> <td></td> <td>ビッグデータ・ -タサイエンス!</td> <td>マーケティング /(多変量解析・5</td> <td>· 分類)</td> <td></td>	テータサイエンス [(データ利活用の基礎ス	(キル)	2	データサイエンス	Ⅱ(推定・検定)	+	2	データリ	?ーケティング・データ分 !イエンスⅢ(データの要!	析実践 9と因果関係)			ビッグデータ・ -タサイエンス!	マーケティング /(多変量解析・5	· 分類)	
70グラミング音順(4) 2 Web プログラミング共円 2 Web プログラミング実施 2 ITセキュリティ(高度セキュリティ) Web プログラミング業施 2 ITセキュリティ(高度セキュリティ) Web プログラミング業施 2 ITセキュリティ(高度セキュリティ) ### 2 #### 2 #### 2 ### 2 ### 2 ### 2 ### 2 ### 2 ### 2 ### 2 #### 2 ### 2 ### 2 ### 2 #### 2 ### 2 ##	= 86 71 (4)		,	= 5-7	ET (SOL)	\vdash										Ļ
日本語報刊報 2 マーケティング・心理実践 2 マーケティング・心理変数 2 マーケティング・心理変数 2 マーケティング・心理など 2 マーケティング・ヘーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケ	プログラミング言語 (C#)	_+	2	Webプログラ	ラミング入門	L	2		uレニュータネットワーク Web プログラミングル	践	2		Webサー Tセキュリティ(- こ人阿梵 高度セキュリテ	r)	± 2
ホームゼミB-V 1960 2 ホームゼミD-VI 2960 2 2965 1960 1	Webデザイン		2			\mathbf{F}	2			-	H	-		_		F
	マーケティング・心理実践Ⅲ	- 80.00		マーケティング	・心理実践IV				マーケティング・心理実	践V			マーケティン	グ・心理実践VI	-90.00	2
インターゼミ1〜W 2 インターゼミ1〜W 2 インターゼミ1〜W 2 インターゼミ1〜W 2 1〜W 2 1⋅W 2 1	ホームゼミエ・V	2単位	2	ホームゼ	≅IV•VI	2単位	2			2単位					2単位	-
1ンターゼミ1〜幅 2 1ンターゼミ1〜幅 2 1ンターゼミ1〜幅 2 1ンターゼミ1〜幅 2 1ンターゼミ1〜幅 2																F
	インターゼミ I 〜WI		2	インターゼ	!≅ I ~VI		2		インターゼミ I ~VI		2		インター	ゼミI~WI		2

経営情報学部 2025年度「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

教員区分	教員氏名	科目名	単位数	実務経験の内容等
専任	金 美徳	アジア経済論韓国経済論	2	株式会社三井物産戦略研究所にて北東アジア地域を担当・統括し、世界潮流・時代変化の把握、同地域の政治経済動向とビジネストレンドの分析、地政学リスク対応・経済安保の支援、アジア戦略の提案などを行った。具体的には、三井物産株式会社の経営幹部・各部署・国内外支店、二木会(三井グループ社長会)、関係省庁向けに資料・情報の提供やブリーフィングを行った。上述
	小林 英夫	経営組織	2	した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。 日本IBM株式会社でSE およびソリューション営業に従事後、イー・アクセス株式会社(現ソフトバンク)の創業に参画。主に組織管理や経営企画を担い東証 1 部上場に貢献、代表取締役副社長を務める。子会社としてイー・モバイル株式会社(現ソフトバンク・ワイモバイル事業)の創業
		ベンチャー企業論	2	も手掛け、経営戦略本部長・情報システム本部長、副社長を歴任。上述した実務経験を担当科I において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	新西 誠人	デザイン思考	2	日本電信電話株式会社で非接触ICカードの研究に従事。その後、株式会社リコーにおいて、人間中心設計を活用した会議システムやAI・IoTを応用した物流支援システムの研究開発、国内外の組織の技術企画を担当。社内シンクタンクで技術調査と経営層への提案を行う。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
		ユ ー ザ イ ン タフェース	2	
	長島剛	地 域 金 融 論	2	多摩信用金庫の価値創造事業部や地域連携支援部で、多摩市・多摩信用金庫・多摩大学の三者による「多摩市創業支援事業連携協定」締結をはじめ、地域の自治体や大学・高専等との連携や地元企業やNPO等のマッチングに多数関わる。多摩ブルー・グリーン賞、ブルームセンター、課題解決プラットフォームTAMA、創業支援センターTAMA等開設。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。 日本コンベンションサービス株式会社でPCO(Professional Congress Organizer)となり国際航路会議、多摩学長国際会議等数々のMICEの企画・運営、自治体のMICE戦略策定業務に携わる。その後、株式会社プロジェクトブレーンを創業し、企画担当役員・文化事業のプランナーとして活躍。1999年のミツカン水の文化センター創立に当初から参画し、第11回(2010)日本水大賞厚生労働大臣賞を受賞。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
		事業構想最新事情	2	
		多摩 学ビジネスモ	2	
		デ ル 設 計	2	
	中庭 光彦	地 域 観 光 論地 域 政 策 プ	2	
		ランニング 中小企業論	2	
		地 域 ビ ジ ネ ス プ ラ ン ニ ン グ	2	
	バートル	華僑華人経済論	2	株式会社三井物産戦略研究所国際情報部にて、親会社の株式会社三井物産の会長以下経営陣をはじめ、経営企画部、各商品本部(含国内・海外拠点)向けに、大中華圏におけるビジネス戦略の立案・企画と情報支援活動に参画。また、三井グループの関連企業の経営陣向けにも定期的に情報支援活動に従事した。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
		中国経済論	2	
		東アジア入門	2	
		中国語圏の社会	2	
		業 界 研 究	2	- 本田技研工業株式会社、株式会社本田技術研究所にて自動車レースのF1プロジェクトのマネジメントチームに参画。その後株式会社野村総合研究所で経営コンサルタント。独立して株式会社-ケアブレインズ創業。共同ファウンダー。株式会社ジェイ・フィール創業。取締役副社長。その他,別途3社を創業・起業。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教-育を行っている。
		消費心理学 事業戦略	2	
	浜田 正幸	キャリア・	2	
		デ ザ イ ン l キ ャ リ ア・ ニ ザ ィ ン !!	2	
		<u>デ ザ イ ンⅡ</u> キ ャ リ ア・ デ ザ イ ンⅢ	2	
		NPO・NGO 論	2	株式会社シー・エンド・シーにて、国内食品・飲料メーカーの商品開発のための市場調査の企画、実査、分析等に従事、その後株式会社アイアンドディーにて、国内外のIT関連企業のマーケティング、特に顧客開発のための戦略立案・実行を担当。また、学生時代に国際NGO国境なき医師団日本事務局にて、学生NPOの立ち上げと運営を経験している。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	松本 祐一	事業構想実践論	2	
	松本 祝一	事業構想論	2	
		ソーシャルマー ケ テ ィ ン グ	2	

教員区分	教員氏名	科目名	単位数	実務経験の内容等
	平石 隆司	現代欧州論	2	三井物産株式会社調査情報部、及び三井物産戦略研究所国際情報部にて、日米欧の政治、経済、産業、貿易、企業の分析に取り組み、経営幹部、事業部との密な意見交換に基づき、三井物産の経営環境調査や中長期のビジネス戦略策定支援に取り組んだ。その間、2年間の米国ワシントンDC 勤務では、ミレニアム前後のIT 革命、11年間の英国ロンドン勤務では、EUの東方拡大、リーマンショック、欧州ソブリン債務危機、英国のEU離脱、欧州グリーンディール、COVID-19下の構造変化、ウクライナ危機、等を現場で経験した。それに対し、欧州三井物産戦略情報課及び、ベネルクス三井物産戦略情報課のGeneral Managerとして担当地域を飛び回り、部下と共に、三井物産EMEA本部の中長期のビジネス戦略策定支援に取り組んだ。こうした米国及び欧州での激動の現場体験を担当科目において学生に伝えることで実践的教育を行う。
		経済学入門	2	
		現代米国論	2	
		グローカルビ ジネス入門	2	
	望月 明彦	初級簿記	2	大和銀行(現 りそなホールディングス)を経て、監査法人トーマツ(現 有限責任監査法人トーツ)に入所。ビジネススクールでのMBA取得を経て、上場企業の経営企画部長やコンサルティング会社でのM&Aのアドバイザリー業務を行った後、望月公認会計士事務所を開業。上述した第務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
		中 級 簿 記	2	
		財務会計	2	
専任	越田 辰宏	キ ャ リ ア・ デ ザ イ ンI	2	不動産会社に勤務後、国家公務員として内閣府に入府。青年国際交流、男女共同参画、政府広報、 迎賓館なの事業企画・運営を担当。総務省、国土交通省、警察庁に出向・在籍。国家資格キャリ アコンサルタント、行政書士、宅地建物取引士資格を取得。これからの時代を主体的に生き抜く ため、仕事に従事しながら、多摩大学大学院及び青山大学大学院において国際経営論・人的資源 管理論を学ぶ。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
等 任		キャリア・ デザインII	2	
		キャリア・ デザインIII	2	
		イ ン タ - ン シップ I・I	4	
		キャリア・デザイン	2	NEC 日本電気株式会社にて人事・労務・教育業務に従事。主に社員研修の企画運営や講師業務を担当。その後、キャリアコンサルタント、公認心理師として、大学生や社会人を対象としたキャリア支援に永年携わっている。企業においては、キャリアアドバイザーをはじめ、リーダーシップやコミュニケーション研修などの講師業務を遂行。上述した実務経験を担当科目において十分
	葛本 幸枝	キ ャ リ ア・ デ ザ イ ン II キ ャ リ ア・	2	
		キャリア・ デザインIII	2	に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	髙 橋 彰	時事問題研究基礎	2	厚生労働省(国家I種法律職)で新型インフルエンザや東日本大震災の対策など、危機管理や省内 統括部門を中心に勤務。退職後、英国グラスゴー大学で国際安全保障学(社会・文化論)の修士号 取得。帰国後は、参議院議員の秘書として、政策提言や議員立法などに従事。直近はエジンバラ 大学博士課程(中途退学)を経て、株式会社博報堂で大型公共事業の中核チームなどを担当した。 官・民・政での実務経験を担当科目に活かし、実践的教育を行っている。
		時事問題研究実践	2	
非常勤	青木 克彦	経営情報特講	2	三菱商事株式会社、三菱UFJリース株式会社(現、三菱HCキャピタル)で、マネジメント、経理、財務、金融関連の業務を幅広く担当。その後複数の企業の社外役員に就任。特に、数多くの企業買収分野での経験豊富。米国駐在経験も含めグローバルなビジネスに永年携わっている。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	後藤涼子	データベース I (A c c e s s)	2	野村證券株式会社企業情報部を経て、ゼネラルビジネスサービス株式会社にて企業向けMS Office等各種アプリケーション、WEB制作研修等に携わる。その後ITインストラクター及びライターとして、講師活動を行うとともに、IT関連書籍の執筆多数。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	富山篤	東南アジア経済論	2	日本経済新聞社で記者、デスクとして25年間、経済の最前線を取材。ハノイ支局長(カンボジア兼務)を務めたほか、アジア経済を専門に取材するアジア報道ビジネスセンターの初期メンバーに選ばれる。現在でもベトナム及び東南アジアの知見、人脈を生かし、講演、企業からの相談を多数請け負っている。ベトナム語研究者としても活動し、著作2冊(単著)、e ラーニング教材も作成した。
	中 湊 晃	国際ビジネス論Ⅰ	2	三井物産(株)で執行役員を務め、鉄鉱石、エネルギーなど国際資源ビジネスを担当、事業企画、M&A、トレーディングの経験豊富。海外勤務は豪州、英国、米国、インドネシアなど合計14年に及ぶ。鉄鉱石部長、エネルギー業務部長、米国三井物産上級副社長、インドネシア総代表、三井物産戦略研究所社長を歴任。三井グループのシンクタンクである三井業際研究所の運営委員及
		国際ビジネス論Ⅱ	2	が研究主査、日本貿易会の運営委員会座長、経団連の東亜経済人会議日本委員、内閣府個人 が研究主査、日本貿易会の運営委員会座長、経団連の東亜経済人会議日本委員、内閣府個人 保護委員会専門委員等を務める。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、身 的教育を行っている。
	羽田 昭裕	デジタル産業特論	2	BIPROGY株式会社(元日本ユニバック、日本ユニシス)、マネジメント、コンサルティング、設計開発関連の業務を幅広く担当。特に、システム思考を活用したプロジェクトでの経験豊富。米国企業、大学との共同開発に永年携わっている。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。

教員区分	教員氏名	科目名	単位数	実務経験の内容等
非常勤	真壁 昭夫	行 動 経 済 学	2	一橋大学商学部卒業、第一勧業銀行(現みずほ銀行)入行。ロンドン大学大学院修士。ロンドン 券現地法人勤務、市場営業部次長、みずほ総合研究所主席研究員等で金融市場での業務や経済 査等に携わる。信州大学経法学部、法政大学政策創造研究科教授を歴任。旭化成株式会社社外 査役、商工会議所政策委員会学識委員、行動経済学会評議委員等。上述した実務経験を担当科 において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
		日本経済論	2	
	明珍 儀隆	原価計算	2	国内大手金融機関および国内大手システムインテグレーターにおいて、営業企画、商品企画、事業企画等を幅広く担当し、管理会計部門のマネジメントを歴任。特に、金融、IT、キャッシュレス決済分野での経験が豊富である。これらの実務経験に基づき、原価計算の理論と企業実務との繋がりに重点を置いた実践的教育を行う。
	結 城 隆	アジアューラ シア 論	2	金融、製造、流通業で40年にわたって海外での事業展開に関わる調査・企画および企業買収を含む新規事業立ち上げやアドヴァイザリー業務を経験。ロンドン、パリ、ニューヨーク、北京に都合16年在住。特に中国との関わりは20年に及ぶ。上述した幅広い実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	藤 井 健	時事問題研究基礎	2	大学経済学部卒業、旧建設省入省。都市、住宅、道路、内閣官房(小渕内閣の基本政策立案)等様々な政策業務に従事するとともに、扇国土交通大臣秘書官、国交省会計課長、関東地方整備局副局長等を経て、国土政策局長として国土計画策定を推進。また、岡山県企画課長、長崎県副知事に
		時事問題研究実践	2	も従事し、地方行政でも豊富な経験を持つ。更に、十八銀行取締役、首都高代表取締役専 て企業経営も担い、国、地方、民間での豊富な実務経験を有する。これらの経験を活かし 的教育を行っている。
	濱口 和久	防災学概論	2	防衛庁(現・防衛省)陸上自衛隊で災害対応をはじめ危機管理業務に従事。その後、舛添政治経済研究所、日本政策研究センター研究員として安全保障、国民保護を含めた危機管理政策の提言に参画。栃木市首席政策監(防災・危機管理担当兼務)に招聘され地方行政の現場で地域防災力の強化に取り組む。一般財団法人防災教育推進協会理事長として子供から社会人にいたるまで全ての世代に防災教育を実践している。文科省所管国立研究開発法人防災科学技術研究所客員研究員や自治体の防災アドバイザーなども務めている。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	合計:	学部等共通科目	104	単位